

第17回

三郷市市民意識調査報告書



三郷市マスコットキャラクター
「かいちゃん&つぶちゃん」

平成31年 2 月

三郷市

はじめに

本市では、将来都市像である『きらりとひかる田園都市みさと～人にも企業にも選ばれる魅力的なまち～』の実現に向けて、市民の皆様とともに本市のポテンシャルを生かしたまちづくりに取り組んでまいりました。



今後も、さらに住みやすいまちを目指し、「第4次三郷市総合計画」を着実に実行していくとともに、『まちづくりは道づくり』『地域コミュニティの充実』『子どもたちの成長を見守る 夢を育む』の3つの視点を念頭に『ふるさと三郷 みんながほほえむまちづくり』を進めてまいります。

今年度は「第4次三郷市総合計画後期基本計画」における計画期間の中間年度にあたることから、その進捗評価への活用も図るため、調査項目を『住みごちと定住意識』や『三郷市全体』を含めた15項目へと拡大するとともに、年齢や居住地区などの属性別に集計するなど、市民の皆様の市に対するお考えや日常生活の詳細な把握に努めたところです。

このたび皆様から賜りました貴重なご回答につきましては、今後のまちづくりに活用してまいります。

結びに、ご多用の中、本調査にご協力いただきました多くの皆様に厚く御礼を申し上げます。

平成31年2月

三郷市長 木津雅成

目 次

第 1 章 調査の概要

1. 調査実施の目的	2
2. 調査方法	2
3. 調査結果	2
4. 調査結果を見る上での注意事項	2

第 2 章 調査結果の詳細

1. 回答者の属性	4
(1) 性別	4
(2) 年齢	4
(3) 職業	4
(4) 通勤・通学先	5
(5) 通勤・通学にかかる時間	5
(6) 通勤・通学の手段	5
(7) 通勤・通学に利用する駅	6
(8) 住まいの形態	6
(9) 家族構成	6
(10) 子育ての有無	7
(11) 介護・被介護の有無	7
(12) 居住年数	7
(13) 三郷市以前の居住地	8
(14) 居住地区	9
2. 住みごころと定住意識について	10
(1) 住みごころ	10
(2) 居住のきっかけ	12
(3) 三郷市を選んだ理由	13
(4) 定住意向	16
(5) 市外に転居したい理由	18
3. 三郷市全体について	19
(1) 市への誇りや愛着・親しみ	19
(2) 市のイメージの変化	21
(3) 市のイメージについて	23
(4) 三郷のまちの特徴について	24
(5) まちの将来像	26
(6) 力を入れてほしい分野	28
4. 防災について	30
(1) 住宅用火災警報器の設置場所	30
(2) 日頃の防災準備	31

(3) 災害などから家族を守る準備	32
5. 読書のまち三郷について	34
(1) 読書活動の状況	34
(2) 市の図書館サービスの認知状況	35
6. スポーツ・レクリエーションについて	38
(1) 活動頻度	38
(2) 活動の目的	40
(3) 活動をしらない理由	41
7. 男女共同参画について	42
(1) 男女の地位の平等感	42
(2) ワーク・ライフ・バランスの認知状況	43
(3) パートナーから暴力行為を受けた経験	44
(4) 相談の有無	44
(5) 相談相手	45
8. 健康推進について	46
(1) 1日の平均歩数	46
(2) 1日30分以上の運動の頻度	48
(3) 朝食の摂取状況	50
9. 福祉について	52
(1) 市の福祉に関する事柄の認知状況	52
10. 参加と協働のまちづくりについて	53
(1) 市民活動・ボランティア活動への参加状況	53
(2) 参加している活動	54
(3) 参加したい活動や関心のある活動	55
11. 水道について	56
(1) 飲料水について	56
(2) 水道水はおいしいと思うか	57
12. 子育て支援について	58
(1) 市の子育て支援に関する事柄の認知状況	58
13. まちづくりについて	59
(1) 市のまちづくりに関する事柄の認知状況	59
14. 事柄・イベント等について	60
(1) 市に関する事柄・イベント等の認知状況	60
15. 広報について	61
(1) 市の事業やイベント情報の入手先	61
16. 市職員の印象について	63
(1) 市職員の印象	63
17. 自由意見	64

第3章 調査票

1. 第17回三郷市民意識調査 調査票（縮尺版）	648
--------------------------	-----

第1章 調査の概要

第1章 調査の概要

1. 調査実施の目的

本調査は、市政に対する意識や要望、市民の生活実態等を把握し、今後のまちづくりの参考とするとともに、平成28年に策定した「第4次三郷市総合計画後期基本計画」の進捗評価にも活用する。

2. 調査方法

調査地域	三郷市全域
調査対象	三郷市在住の満18歳以上の男女2,000名
対象者抽出方法	住民基本台帳により無作為抽出
調査方法	郵送による配布・回収方式（インターネットからの回答も可能）
調査期間	平成30年7月2日（月）～7月20日（金）

3. 調査結果

有効回収数	944（郵送876、インターネット68）
有効回収率	47.2%

4. 調査結果を見る上での注意事項

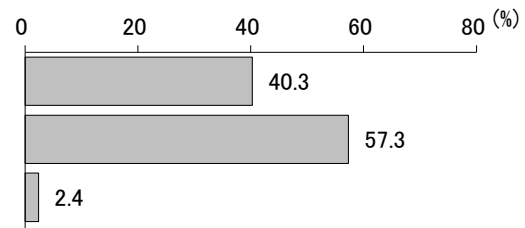
- ・本文、表、グラフなどに使われる「n」は、各問に対する回答者数。
- ・百分率（%）の計算は、小数第2位を四捨五入し、小数第1位まで表示している。したがって、単数回答（1つだけ選ぶ設問）においても、四捨五入の影響で、%を足し合わせて100%にならない場合がある。
- ・複数回答（2つ以上選んでよい設問）においては、%の合計が100%を超える場合がある。
- ・本文、表、グラフは、表示の都合上、調査票の選択肢等の文言を一部簡略化している場合がある。
- ・回答数者が30未満の場合、統計上の誤差が大きくなるため本文中ではふれていない。

第2章 調査結果の詳細

1. 回答者の属性

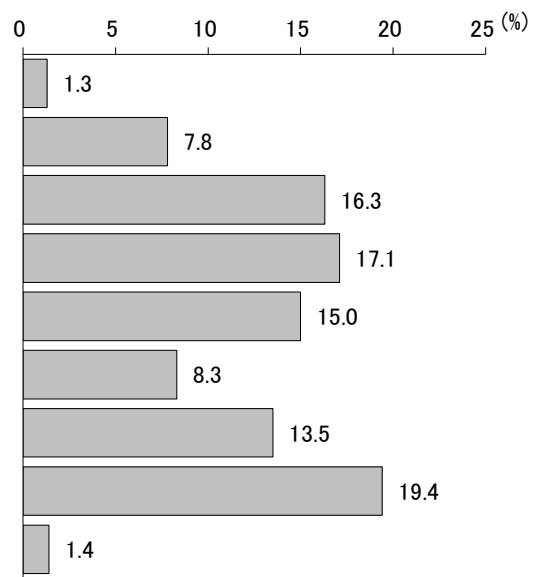
(1) 性別

	回答数	構成比
男性	380	40.3%
女性	541	57.3%
無回答	23	2.4%



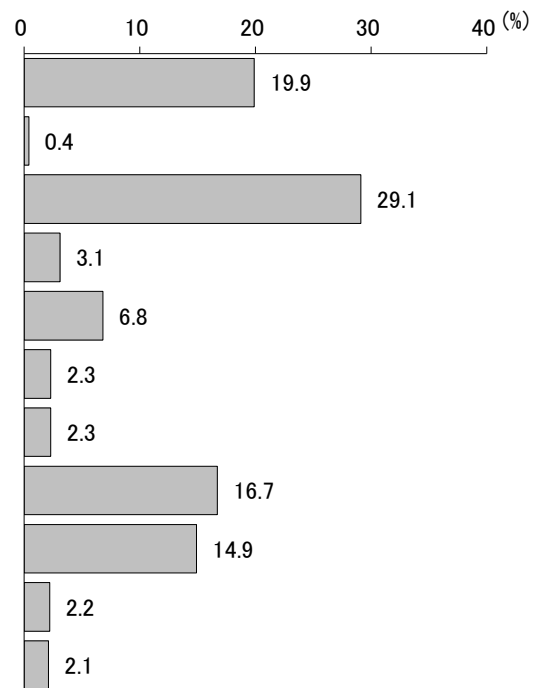
(2) 年齢

	回答数	構成比
18歳・19歳	12	1.3%
20～29歳	74	7.8%
30～39歳	154	16.3%
40～49歳	161	17.1%
50～59歳	142	15.0%
60～64歳	78	8.3%
65～69歳	127	13.5%
70歳以上	183	19.4%
無回答	13	1.4%



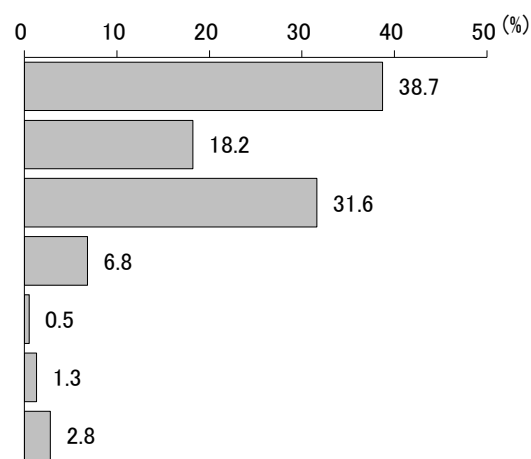
(3) 職業

	回答数	構成比
パートタイマー	188	19.9%
農業(主として)	4	0.4%
会社員	275	29.1%
教員・公務員	29	3.1%
自営業(商工業・サービス)	64	6.8%
会社・団体などの役員	22	2.3%
学生	22	2.3%
家事従業者(主婦・主夫等)	158	16.7%
無職	141	14.9%
その他	21	2.2%
無回答	20	2.1%



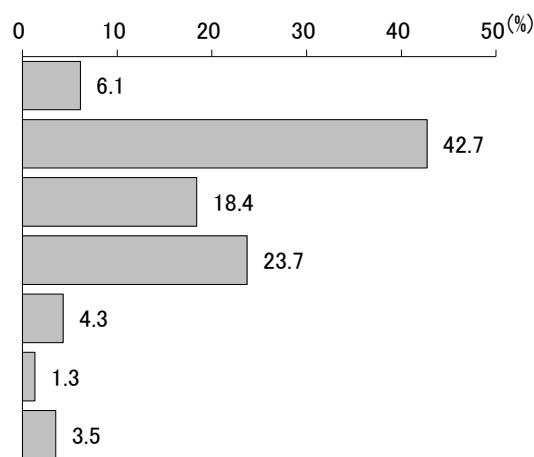
(4) 通勤・通学先

	回答数	構成比
三郷市内	234	38.7%
三郷市以外の埼玉県内	110	18.2%
東京都内	191	31.6%
千葉県内	41	6.8%
茨城県内	3	0.5%
その他	8	1.3%
無回答	17	2.8%



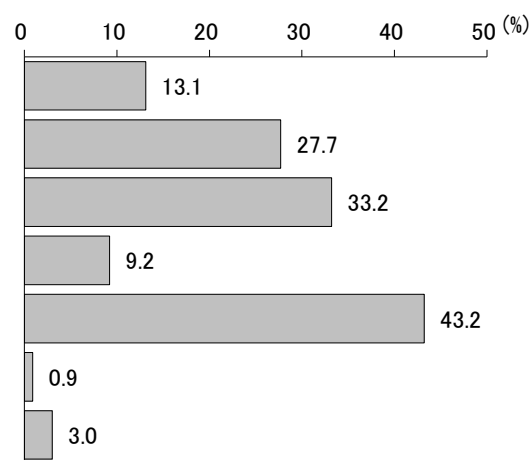
(5) 通勤・通学にかかる時間

	回答数	構成比
かからない(自宅)	37	6.1%
30分未満	258	42.7%
30分～1時間未満	111	18.4%
1時間～1時間30分未満	143	23.7%
1時間30分～2時間未満	26	4.3%
2時間以上	8	1.3%
無回答	21	3.5%



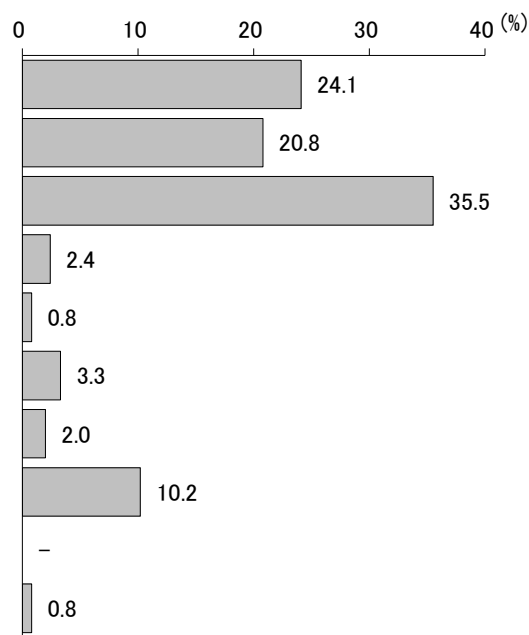
(6) 通勤・通学の手段

	回答数	構成比
徒歩	74	13.1%
自転車・バイク	157	27.7%
自家用車	188	33.2%
バス	52	9.2%
鉄道	245	43.2%
その他	5	0.9%
無回答	17	3.0%



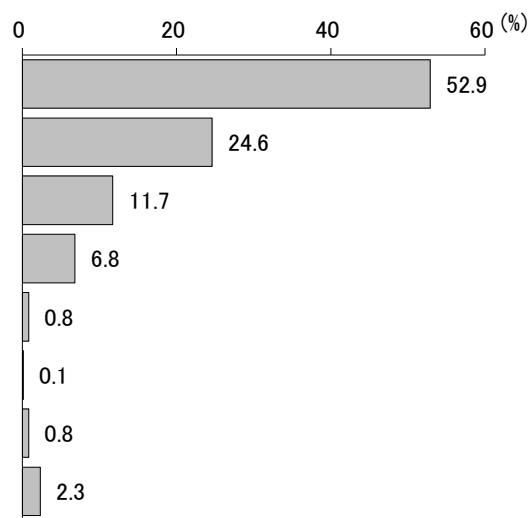
(7) 通勤・通学に利用する駅

	回答数	構成比
三郷駅	59	24.1%
新三郷駅	51	20.8%
三郷中央駅	87	35.5%
吉川駅	6	2.4%
吉川美南駅	2	0.8%
八潮駅	8	3.3%
松戸駅	5	2.0%
金町駅	25	10.2%
その他	-	-
無回答	2	0.8%



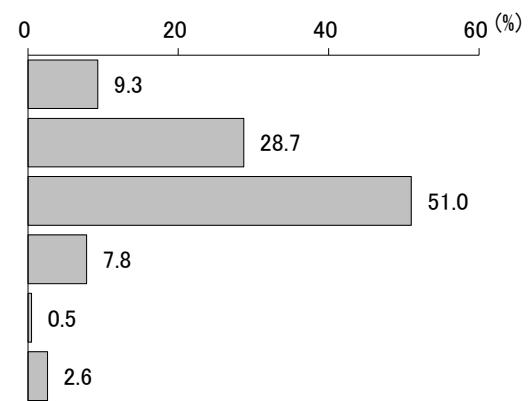
(8) 住まいの形態

	回答数	構成比
持ち家(一戸建て)	499	52.9%
持ち家(分譲マンション)	232	24.6%
民間賃貸住宅(マンション・アパート)	110	11.7%
公営賃貸住宅	64	6.8%
社宅	8	0.8%
間借り・下宿	1	0.1%
その他	8	0.8%
無回答	22	2.3%



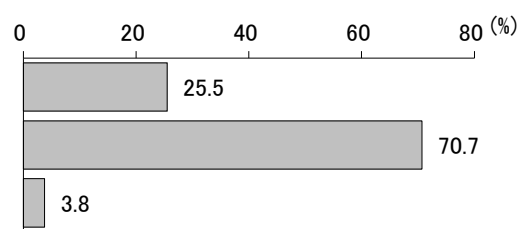
(9) 家族構成

	回答数	構成比
単身世帯(ひとり暮らし)	88	9.3%
一世代世帯(夫婦のみ、兄弟姉妹のみ)	271	28.7%
二世帯世帯(親子など)	481	51.0%
三世帯世帯(親と子と孫など)	74	7.8%
その他	5	0.5%
無回答	25	2.6%



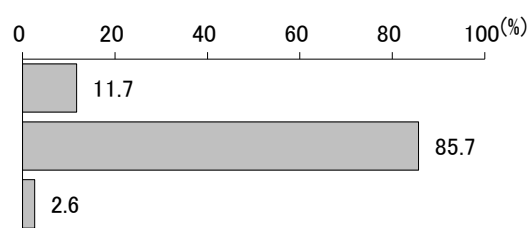
(10) 子育ての有無

	回答数	構成比
はい	241	25.5%
いいえ	667	70.7%
無回答	36	3.8%



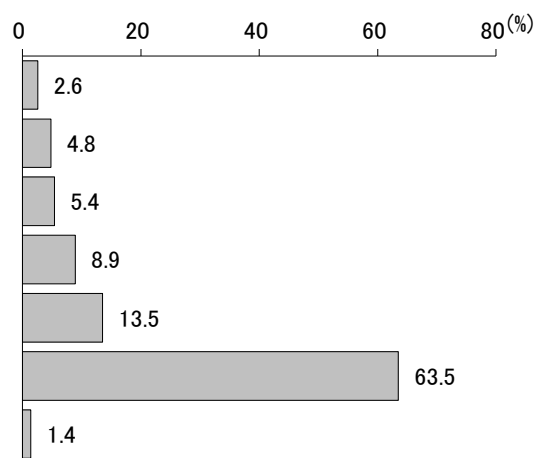
(11) 介護・被介護の有無

	回答数	構成比
はい	110	11.7%
いいえ	809	85.7%
無回答	25	2.6%



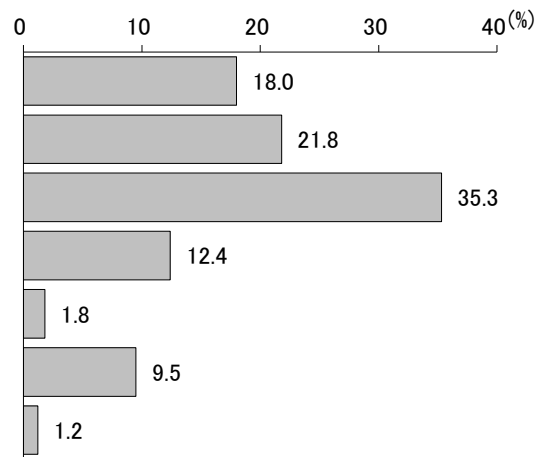
(12) 居住年数

	回答数	構成比
1年未満	25	2.6%
1～3年未満	45	4.8%
3～5年未満	51	5.4%
5～10年未満	84	8.9%
10～20年未満	127	13.5%
20年以上	599	63.5%
無回答	13	1.4%

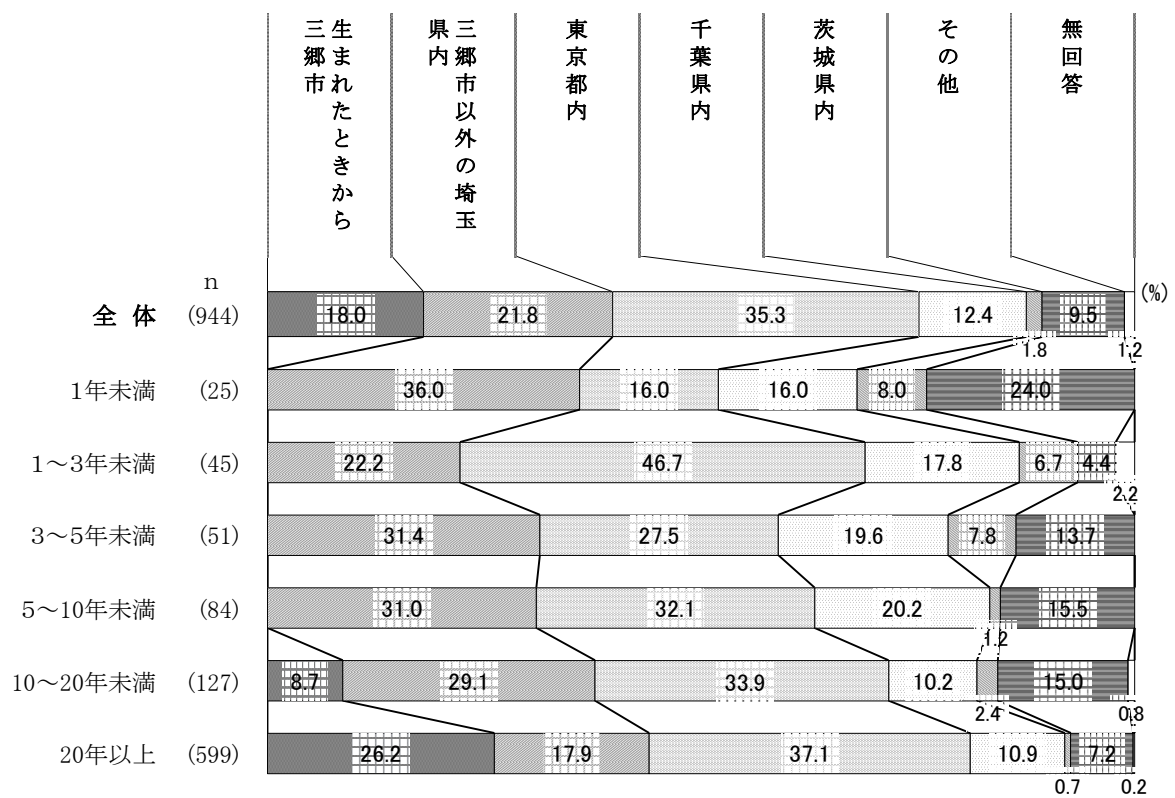


(13) 三郷市以前の居住地

	回答数	構成比
生まれたときから三郷市	170	18.0%
三郷市以外の埼玉県内	206	21.8%
東京都内	333	35.3%
千葉県内	117	12.4%
茨城県内	17	1.8%
その他	90	9.5%
無回答	11	1.2%

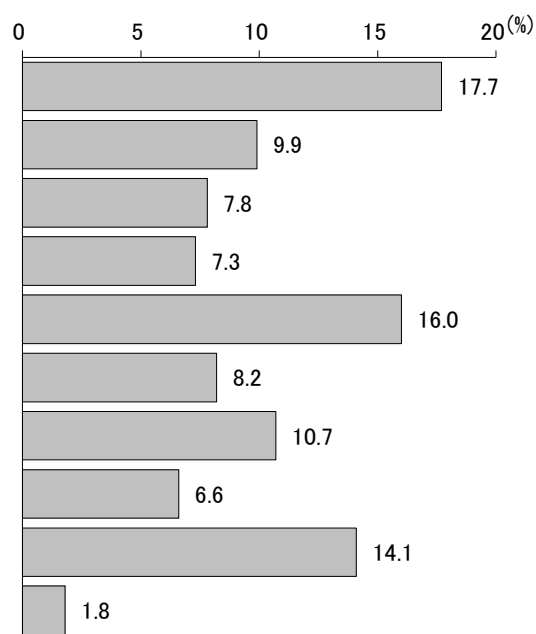


○三郷市以前の居住地・居住年数別



(14) 居住地区

	回答数	構成比
早稲田地区	167	17.7%
彦成地区	93	9.9%
三郷駅周辺地区	74	7.8%
インター周辺地区	69	7.3%
三郷中央地区	151	16.0%
鷹野地区	77	8.2%
戸ヶ崎地区	101	10.7%
高州・東町地区	62	6.6%
みさと団地地区	133	14.1%
無回答	17	1.8%



※地区割りについて

【早稲田地区】半田、小谷堀、前間、後谷、田中新田、丹後、大広戸、彦成5丁目、早稲田

【彦成地区】仁蔵、下彦川戸、上彦川戸、上彦名、彦成1～4丁目（みさと団地を除く）、彦音、彦糸、采女、彦川戸、新三郷ららシティ

【三郷駅周辺地区】茂田井、幸房、岩野木、笹塚、南蓮沼、駒形、三郷

【インター周辺地区】花和田、彦江、彦沢、番匠免、上口、彦倉、彦野、泉、天神、ピアラシティ

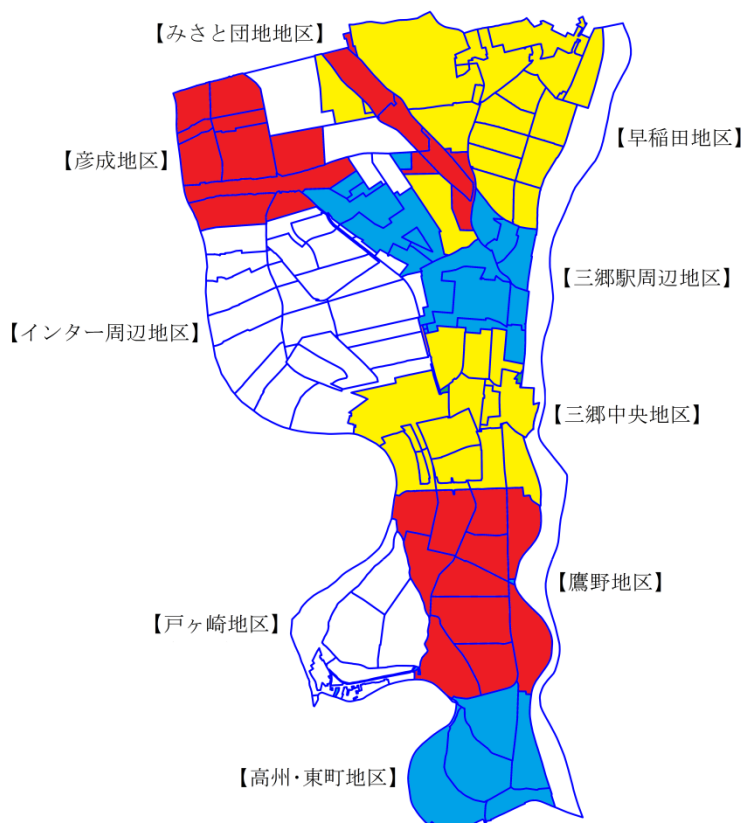
【三郷中央地区】谷中、市助、谷口、新和1・2丁目、栄1・2丁目、中央

【鷹野地区】新和3～5丁目、栄3～5丁目、鷹野

【戸ヶ崎地区】寄巻、鎌倉、戸ヶ崎

【高州・東町地区】東町、高州

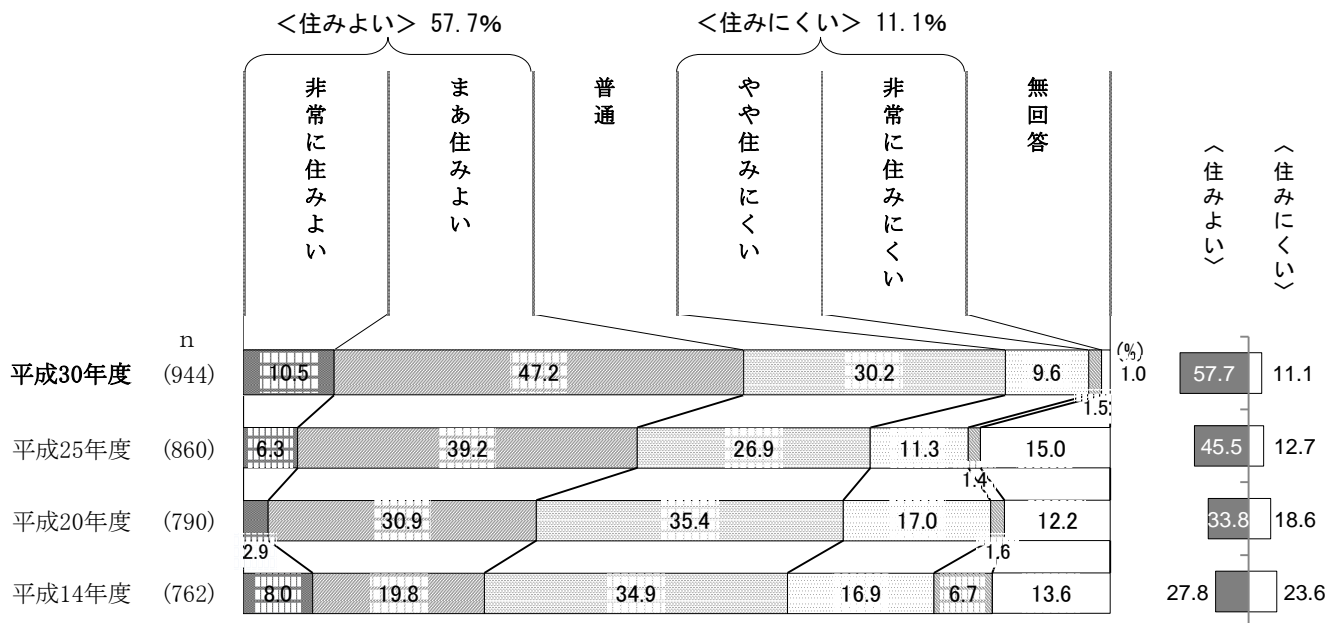
【みさと団地地区】みさと団地、さつき平



2. 住みごちと定住意識について

(1) 住みごち

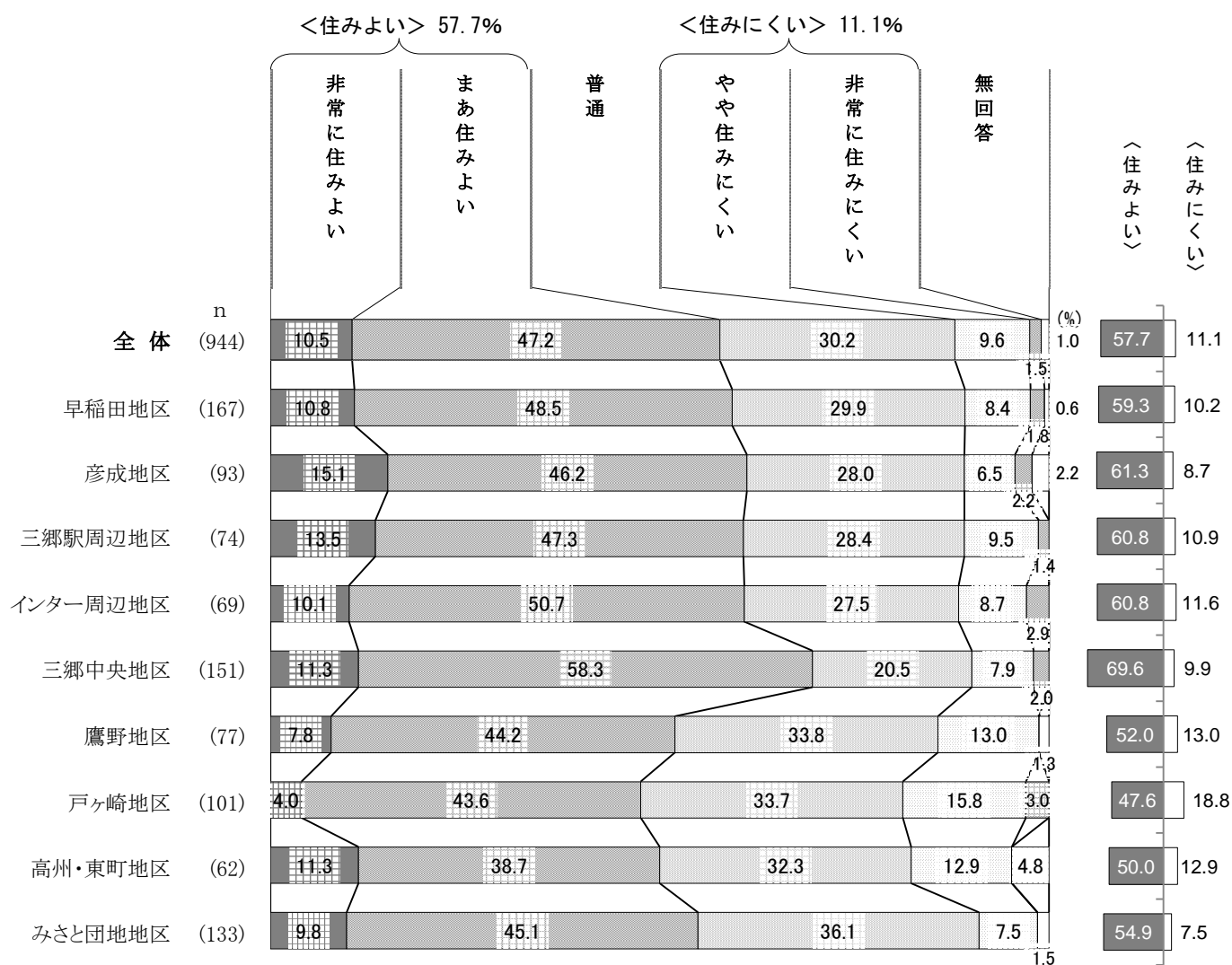
問1 あなたにとって、現在の三郷市の住みごちはいかがですか。(1つに○)



現在の三郷市の住みごちは、「まあ住みよい」が47.2%と最も高く、「非常に住みよい」「まあ住みよい」を合わせた<住みよい>は57.7%で5割を超えている。一方、「やや住みにくい」「非常に住みにくい」を合わせた<住みにくい>は11.1%で、<住みよい>が46.6ポイント上回っている。また、「普通」は30.2%となっている。

経年比較でみると、<住みよい>は、平成14年度が27.8%、平成20年度が33.8%、平成25年度が45.5%、平成30年度が57.7%と調査のたびに増加している。また、<住みにくい>と比較すると、平成14年度で4.2ポイント、平成20年度で15.2ポイント、平成25年度で32.8ポイント、平成25年度で46.6ポイント上回っており、<住みよい>が<住みにくい>を大きく上回る傾向が続いている。

○住みごち・居住地区別



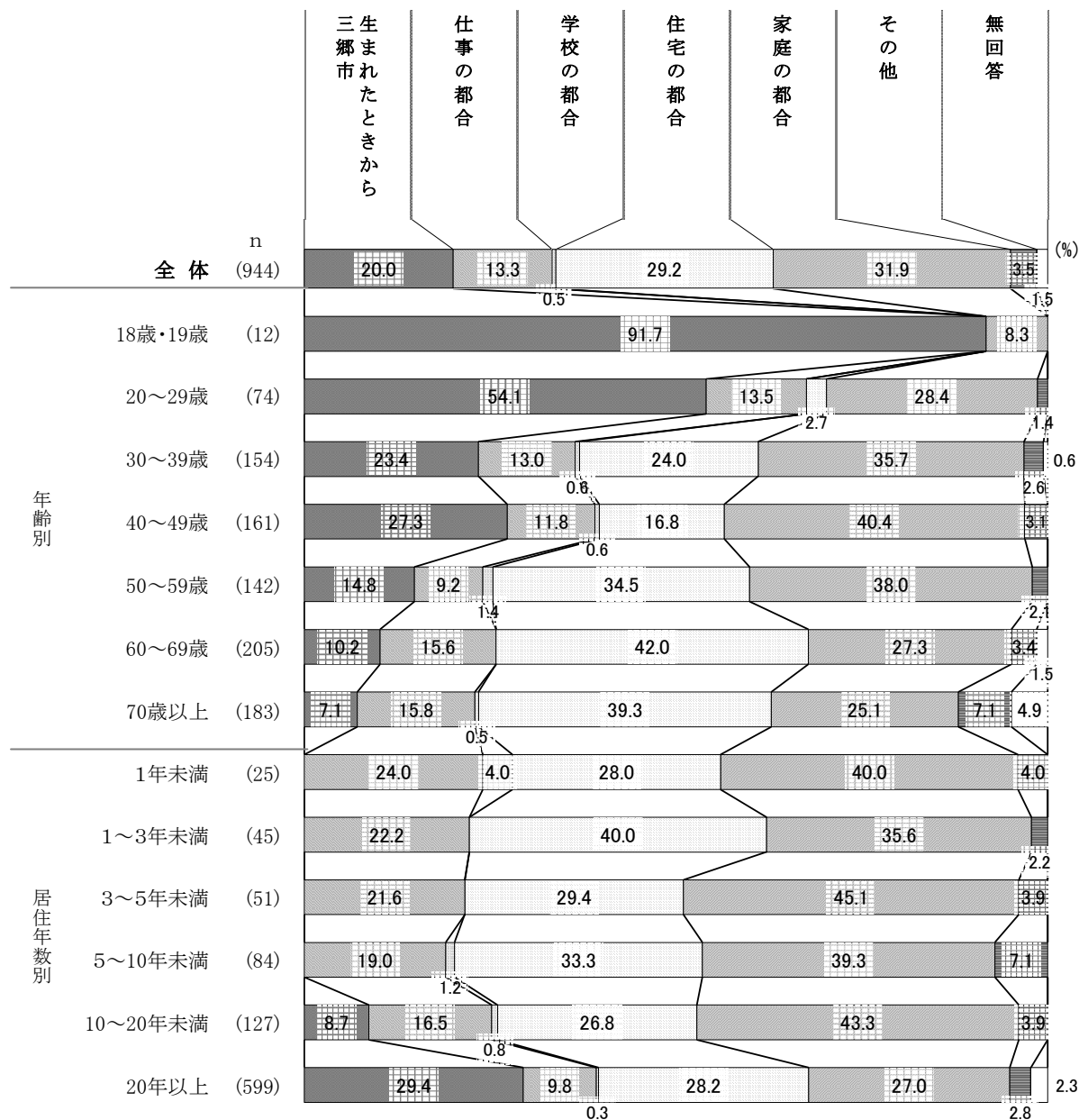
居住地区別で見ると、<住みよい>は三郷中央地区で69.6%と7割近くあり最も多く、次いで彦成地区で61.3%、三郷駅周辺地区、インター周辺地区でともに60.8%と6割を超えている。他の地区でも<住みにくい>を上回っている。なお「非常に住みよい」は、彦成地区で15.1%と最も高く、次いで三郷駅周辺地区で13.5%となっている。



(2) 居住のきっかけ

問2 あなたが三郷市にお住まいになったきっかけは、次のうちどれですか。(1つに○)

○ 居住のきっかけ・年齢別／居住年数別



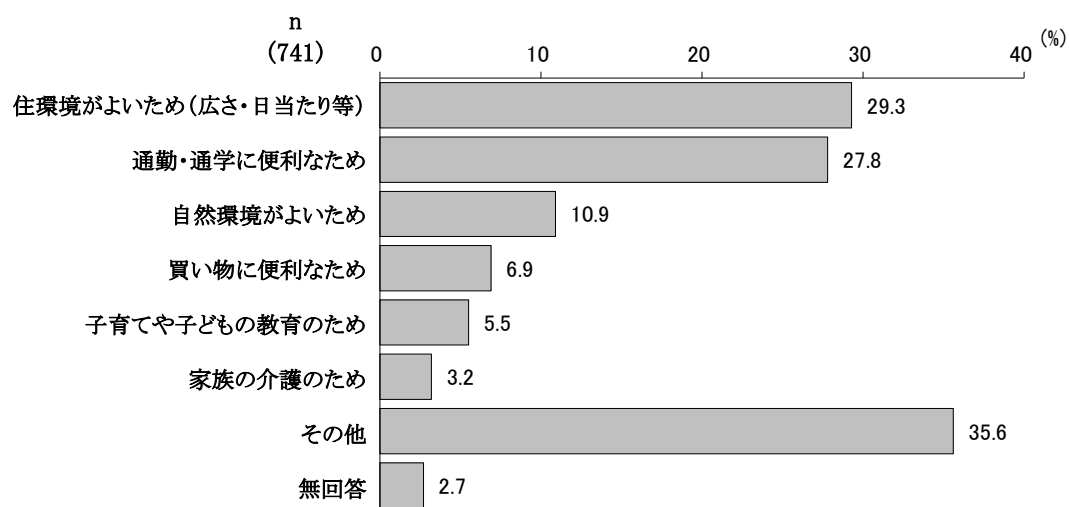
三郷市に居住したきっかけは、「家庭の都合」が31.9%、「住宅の都合」が29.2%で3割前後と多く、次いで「仕事の都合」が13.3%となっている。なお「生まれたときから三郷市」は20.0%となっている。

年齢別でみると、「家庭の都合」は40～49歳で40.4%と最も高く、次いで50～59歳で38.0%、30～39歳で35.7%となっている。「住宅の都合」は60～69歳で42.0%と最も高く、次いで70歳以上で39.3%、50～59歳で34.5%となっている。

居住年数別でみると、「家庭の都合」は3～5年未満で45.1%と最も高く、次いで10～20年未満で43.3%、1年未満で40.0%となっている。「住宅の都合」は1～3年未満で40.0%と最も高く、次いで5～10年未満で33.3%となっている。

(3) 三郷市を選んだ理由

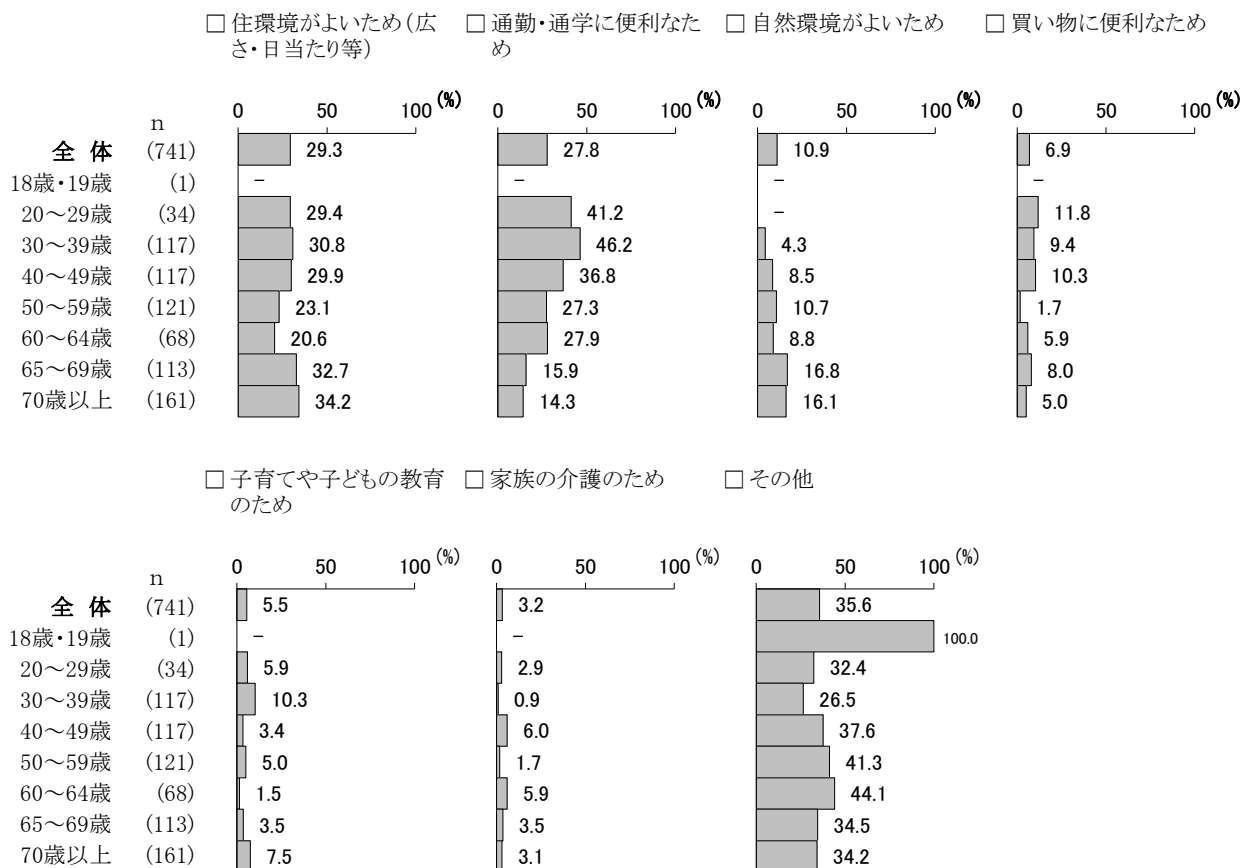
問2-1 あなたが三郷市を選んだ理由は、次のうちどれですか。(2つ以内で○)



問2で「生まれたときから三郷市」以外を回答したかたの三郷市を選んだ理由は、「住環境がよいため(広さ・日当たり等)」が29.3%、「通勤・通学に便利のため」が27.8%と3割近くあり多く、次いで「自然環境がよいため」が10.9%となっている。また、「その他」の主な記述内容は『親族等が近くにいた(6.3%)』、『結婚等の都合(4.2%)』、『家族等が選んだ(2.7%)』、『三郷団地・公団に当選した(2.6%)』などとなっている。



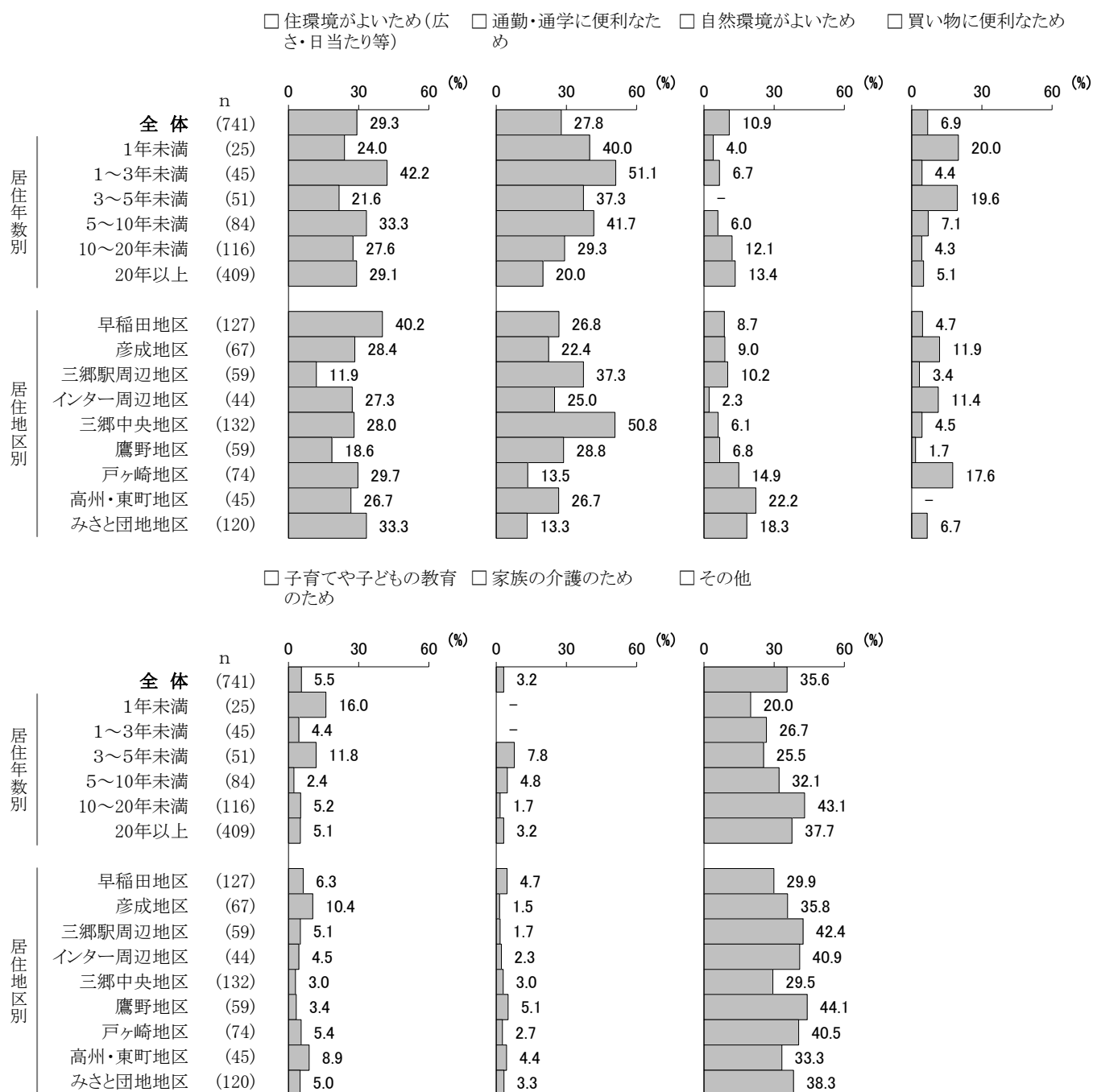
○三郷市を選んだ理由・年齢別



年齢別で見ると、「住環境がよいため(広さ・日当たり等)」は70歳以上で34.2%と最も高く、次いで30～39歳で30.8%となっている。「通勤・通学に便利のため」は30～39歳で46.2%と最も高く、次いで20～29歳で41.2%、40～49歳で36.8%となっている。また、「子育てや子どもの教育のため」は30～39歳で10.3%と最も高い。



○三郷市を選んだ理由・居住年数別／居住地区別

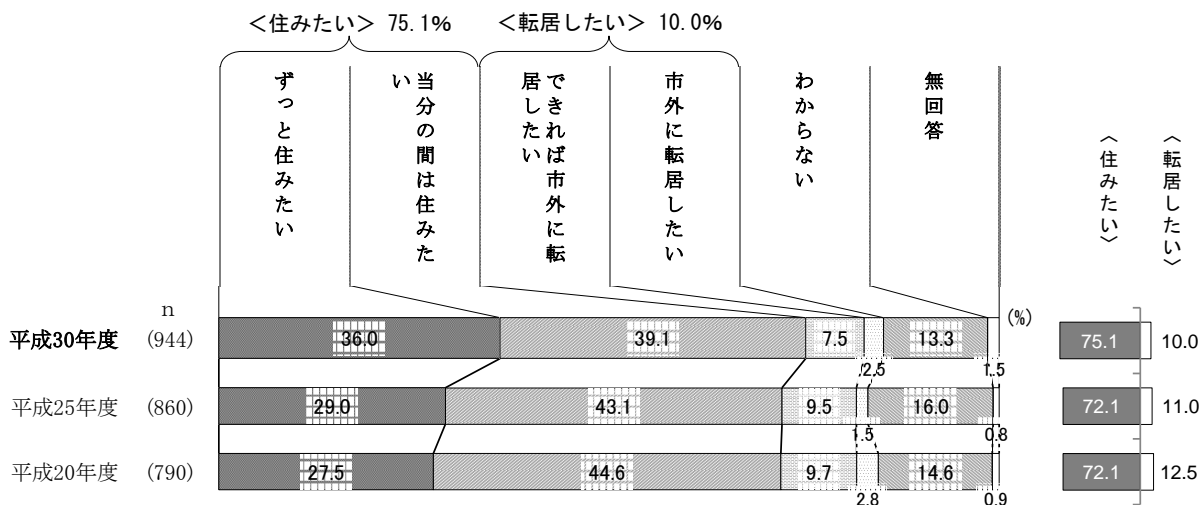


居住年数別で見ると、「住環境がよいため(広さ・日当たり等)」は1～3年未満で42.2%と最も高く、次いで5～10年未満で33.3%となっている。「通勤・通学に便利のため」は1～3年未満で51.1%と最も高く、次いで5～10年未満で41.7%、3～5年未満で37.3%となっている。また、「子育てや子どもの教育のため」は1年未満で16.0%と最も高く、次いで3～5年未満で11.8%となっている。

居住地区別で見ると、「住環境がよいため(広さ・日当たり等)」は早稲田地区で40.2%と最も高く、次いでみさと団地地区で33.3%となっている。「通勤・通学に便利のため」は三郷中央地区で50.8%と最も高く、次いで三郷駅周辺地区で37.3%となっている。また、「子育てや子どもの教育のため」は彦成地区で10.4%と最も高い。

(4) 定住意向

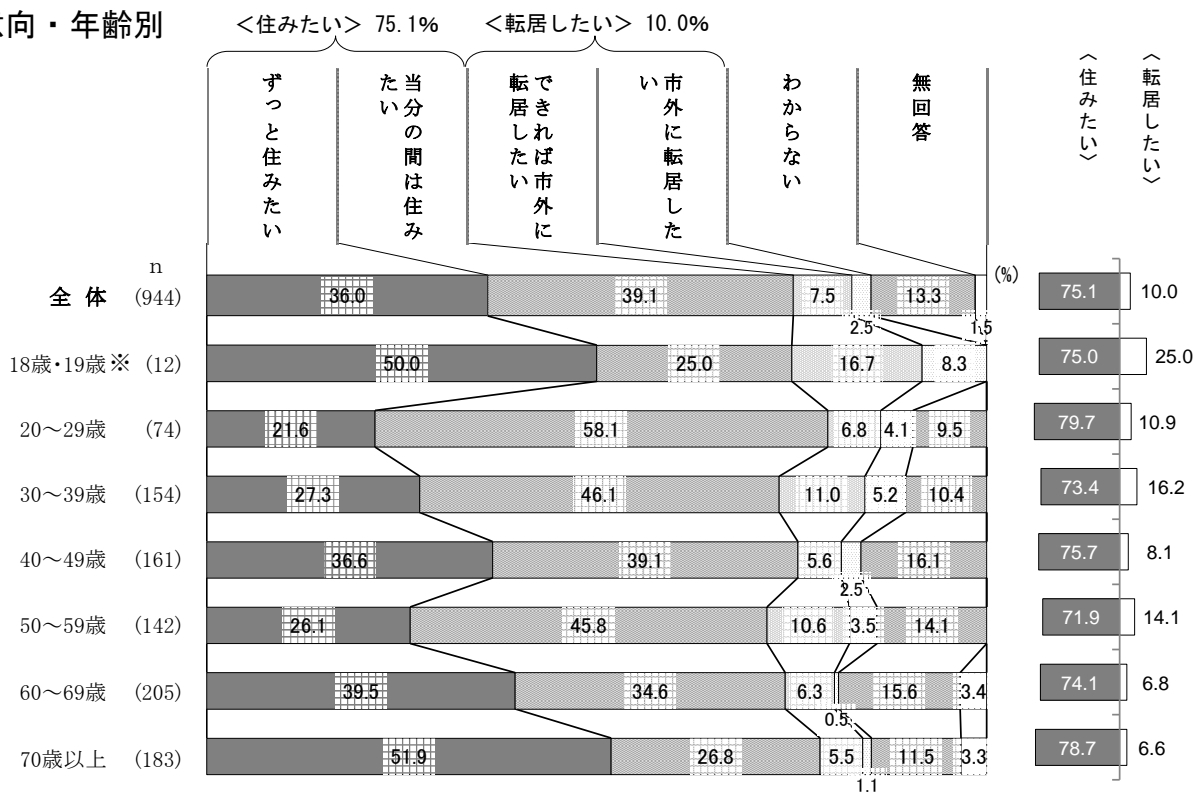
問3 あなたは、これからも三郷市に住みたいと思いますか。(1つに〇)



これからも三郷市に住みたいと思うかは、「当分の間は住みたい」が39.1%で最も高く、「ずっと住みたい」の36.0%と合わせた<住みたい>は75.1%で7割を超えるかたが住みたいと回答している。一方、「できれば市外に転居したい」「市外に転居したい」を合わせた<転居したい>は10.0%であり、<住みたい>が65.1ポイント上回っている。

経年比較でみると、<住みたい>は、平成20年度が72.1%、平成25年度が72.1%、平成30年度が75.1%となっており、<転居したい>を大きく上回る傾向が続いている。

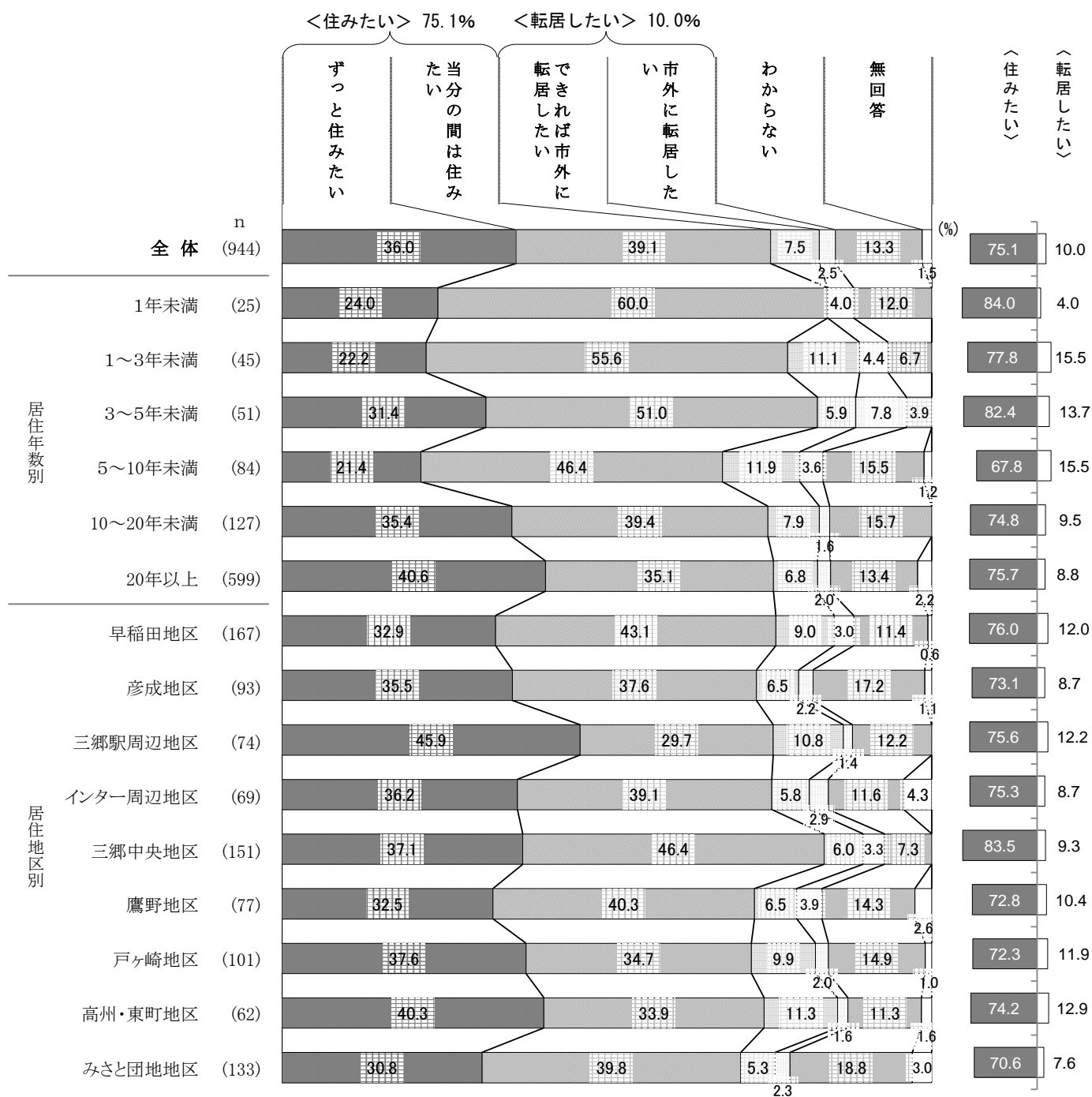
○定住意向・年齢別



年齢別でみると、<住みたい>は20～29歳で79.7%、70歳以上で78.7%と8割に近く高く、他の年齢層でも7割を超えている。一方、<転居したい>は30～39歳で16.2%と最も高く、次いで50～59歳で14.1%となっている。

※回答者数が30未満の場合は、統計上の誤差が大きくなるため本文ではふれていない。

○定住意向・居住年数別／居住地区別

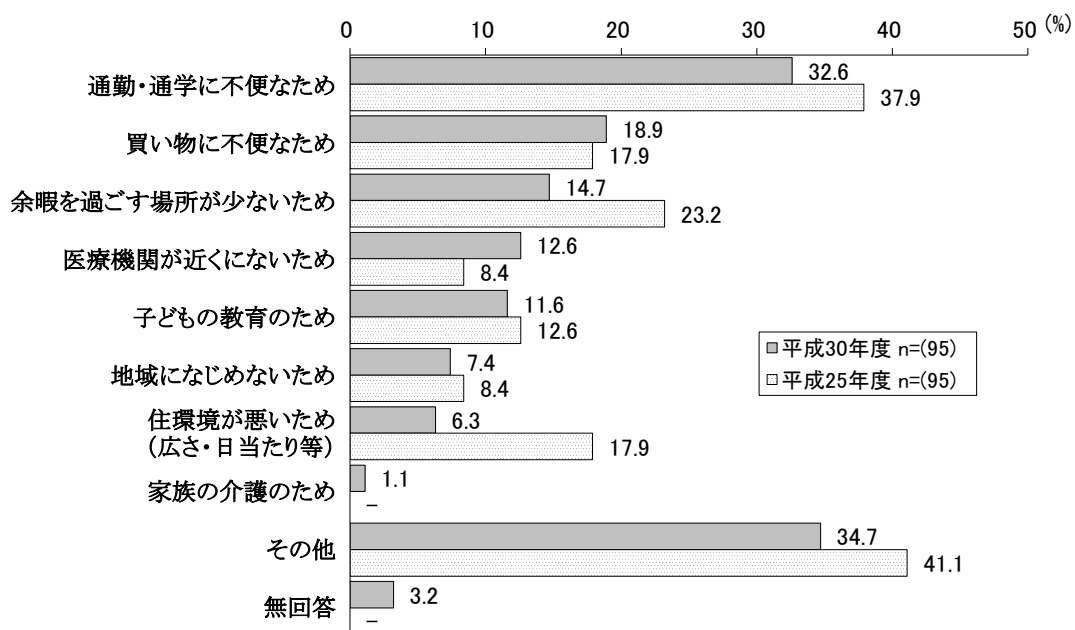


居住年数別で見ると、<住みたい>は1年未満で84.0%、3～5年未満で82.4%と8割を超えて高く、他の年数でも6割を超えている。一方、<転居したい>は1～3年未満と5～10年未満でともに15.5%となっている。

居住地区別で見ると、<住みたい>は三郷中央地区で83.5%と最も高く、他の地区でも7割を超えている。

(5) 市外に転居したい理由

問3-1 市外に転居したい理由は、次のうちどれですか。(2つ以内で○)



問3で「できれば市外に転居したい」「市外に転居したい」と回答したかたの転居したい理由は、「通勤・通学に不便だから」が32.6%と最も高く、次いで「買い物に不便なため」が18.9%、「余暇を過ごす場所が少ないため」が14.7%となっている。また、「その他」の主な記述内容は『道路環境がよくない(6.3%)』、『東京都に住みたい(3.2%)』、『河川の氾濫が不安(3.2%)』などとなっている。

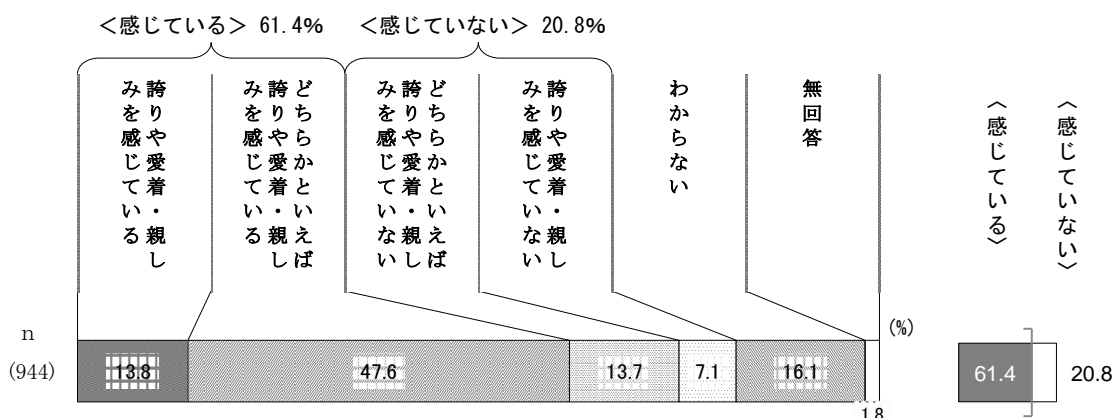
平成25年度と比較すると、最も高いのは「通勤・通学に不便なため」で同じであるが5.3ポイント減少しており、「余暇を過ごす場所が少ないため」「住環境が悪い(広さ・日当たり等)」でも大きく割合が減少している。一方、「医療機関が近くにないため」は4.2ポイント増加している。



3. 三郷市全体について

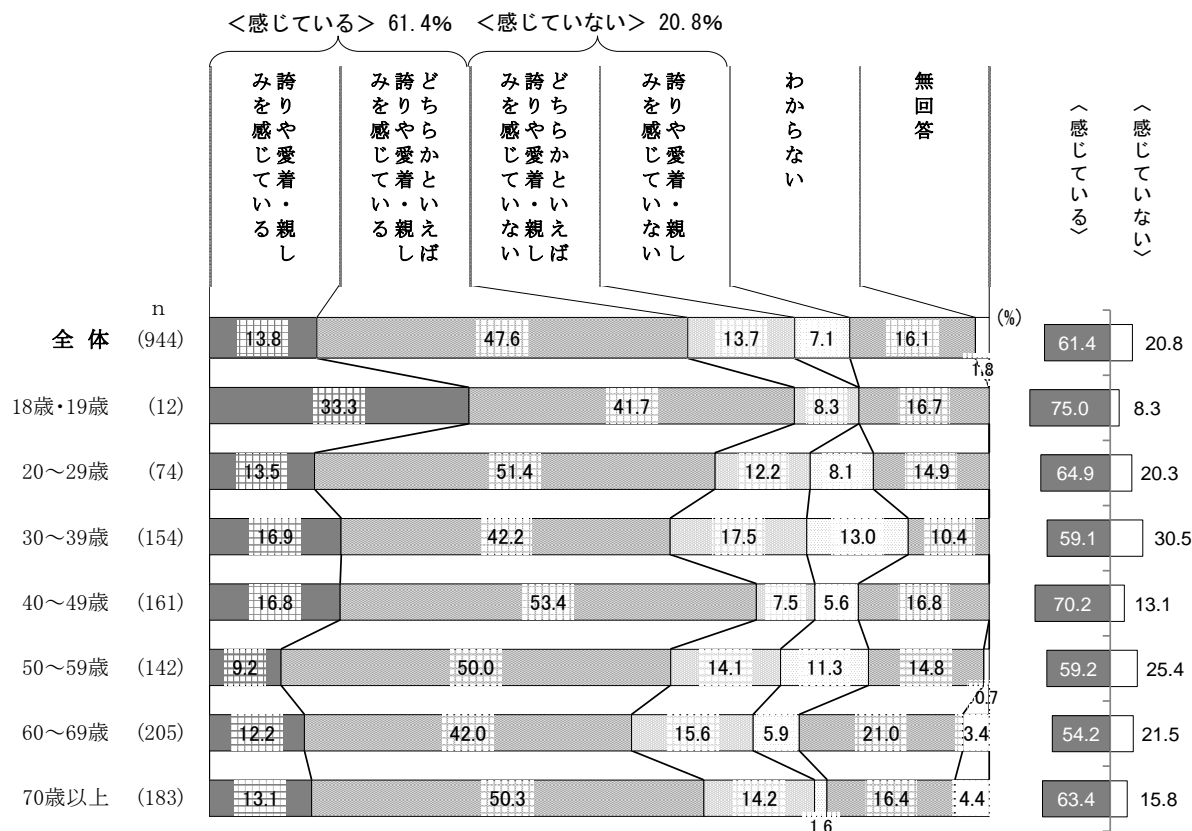
(1) 市への誇りや愛着・親しみ

問4 あなたは、三郷市に誇りや愛着・親しみを感じていますか。(1つに○)



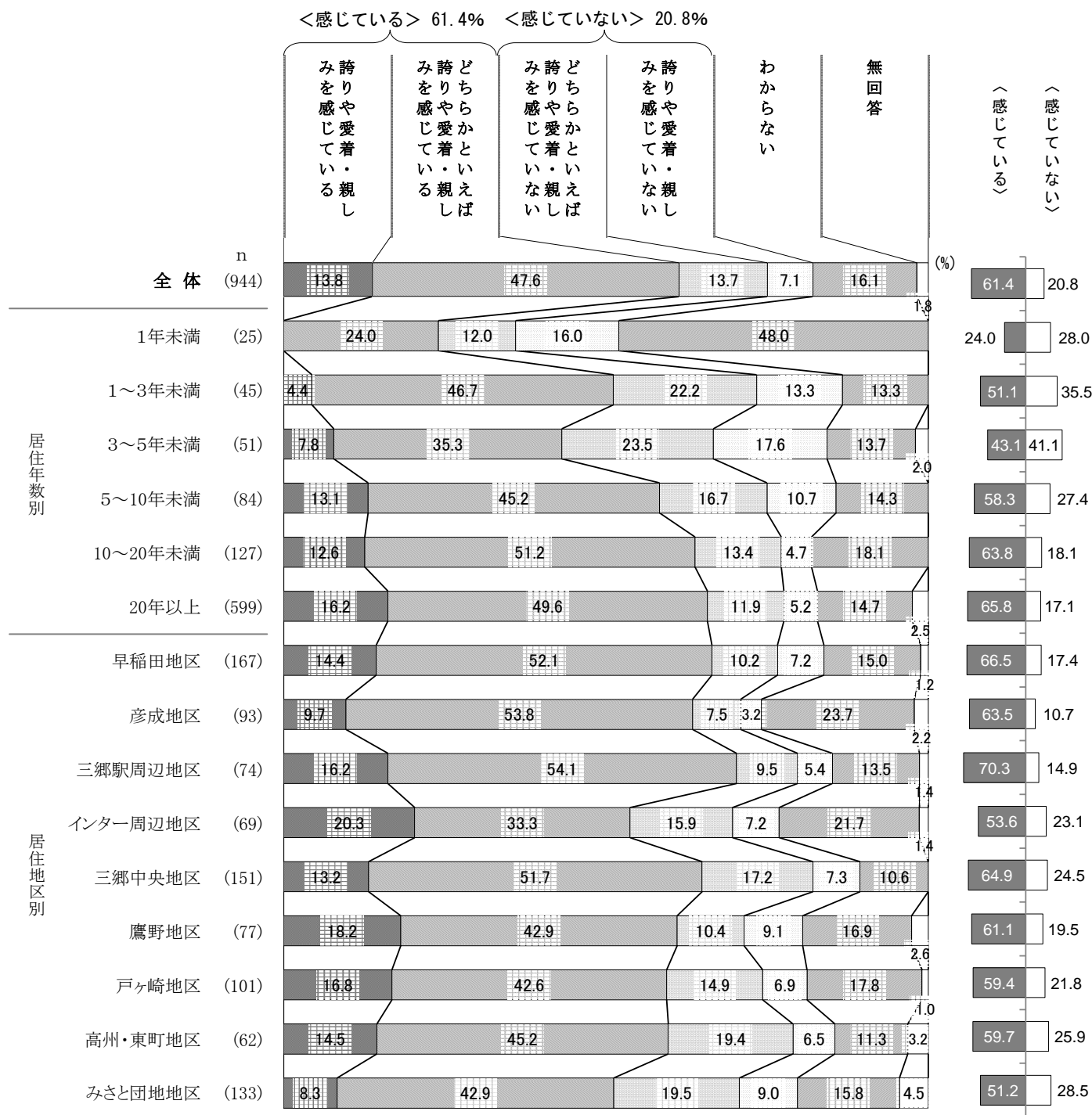
三郷市に誇りや愛着・親しみを感じているかは、「どちらかといえば誇りや愛着・親しみを感じている」が47.6%と最も高く、「誇りや愛着・親しみを感じている」と合わせた<感じている>は61.4%と6割を超えている。一方、「どちらかといえば誇りや愛着・親しみを感じていない」、「誇りや愛着・親しみを感じていない」を合わせた<感じていない>は20.8%で、<感じている>が40.6ポイント上回っている。また、「わからない」は16.1%である。

○市への誇りや愛着・親しみ・年齢別



年齢別で見ると、<感じている>は40～49歳で70.2%と最も高く、他の年齢層でも5割を超えている。一方、<感じていない>は30～39歳で30.5%と最も高く、次いで50～59歳で25.4%となっている。

〇市への誇りや愛着・親しみ・居住年数別／居住地区別



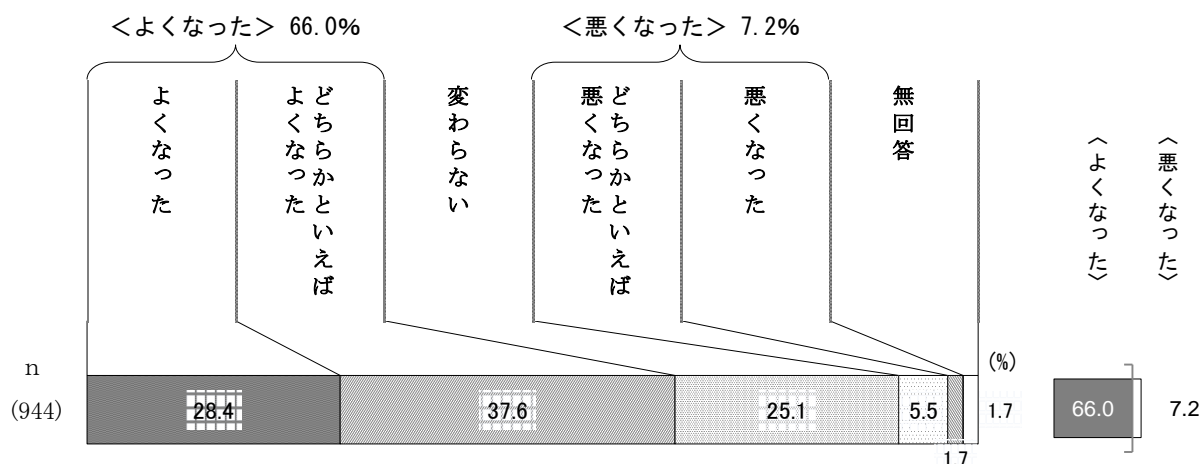
居住年数別でみると、<感じている>は20年以上で65.8%、10～20年未満で63.8%と高い。

居住地区別でみると、「誇りや愛着・親しみを感じている」はインター周辺地区で20.3%と最も高い。

<感じている>は三郷駅周辺地区で70.3%と最も高く、どの地区でも5割を超えている。

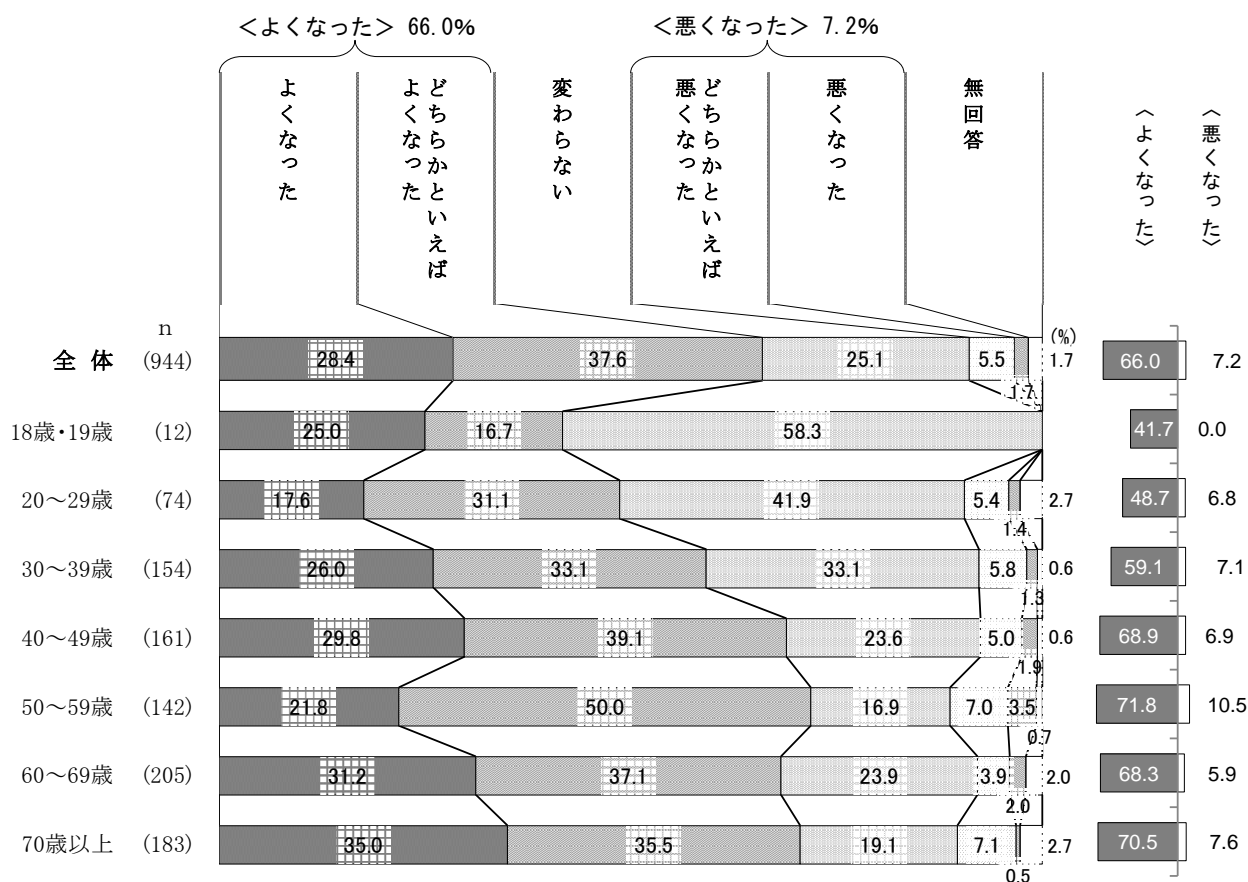
(2) 市のイメージの変化

問5 ここ数年、以前と比べ三郷市のイメージは変わりましたか。(1つに○)



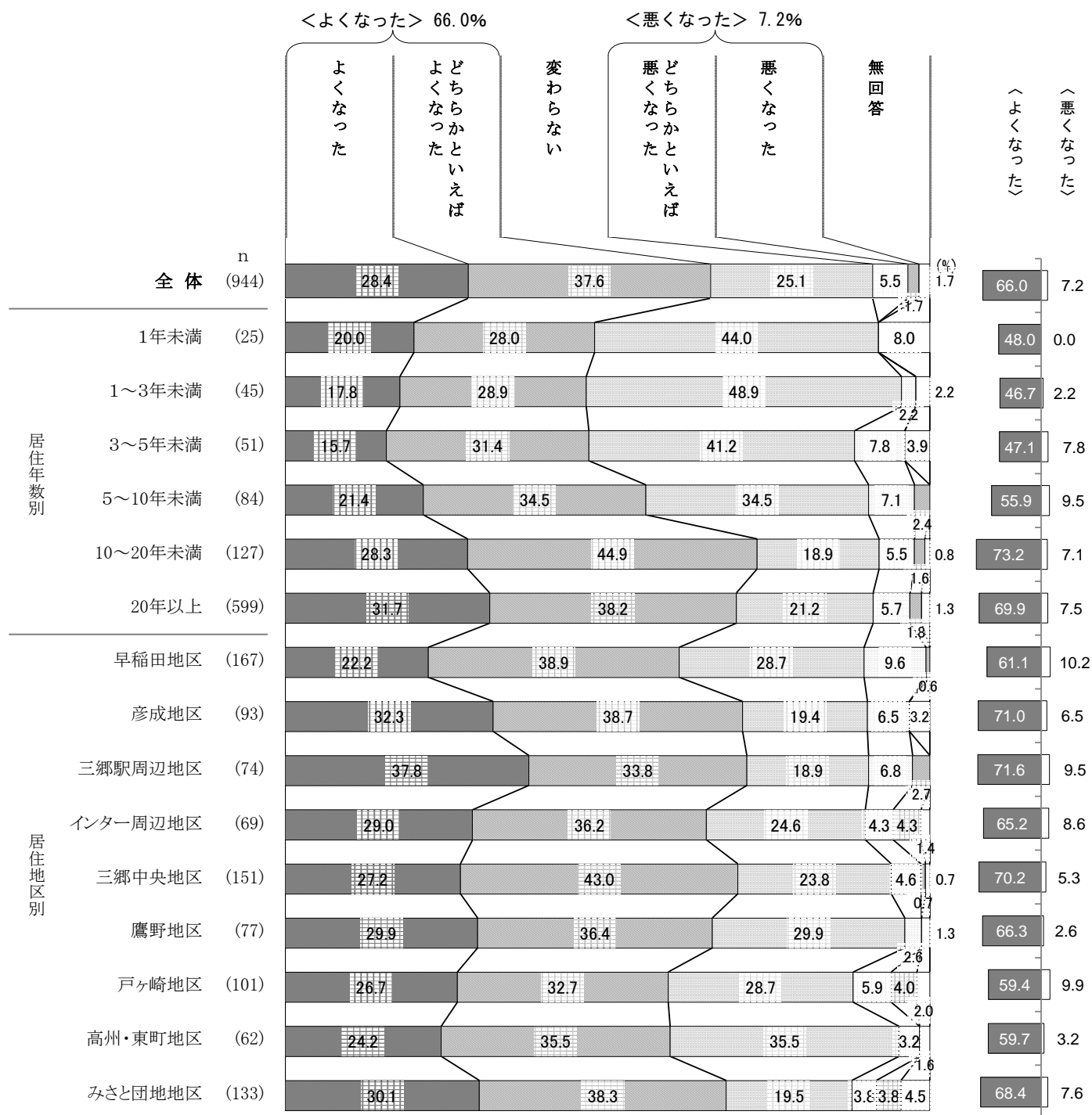
ここ数年の市のイメージの変化は、「どちらかといえばよくなった」が37.6%と最も高く、「よくなった」と合わせた<よくなった>は66.0%となっている。一方、「悪くなった」「どちらかといえば悪くなった」を合わせた<悪くなった>は7.2%となっている。また、「変わらない」は25.1%となっている。

〇市のイメージの変化・年齢別



年齢別で見ると、「よくなった」は70歳以上で35.0%と最も高く、<よくなった>は50～59歳で71.8%、70歳以上で70.5%と7割を超えている。

〇市のイメージの変化・居住年数別／居住地区別

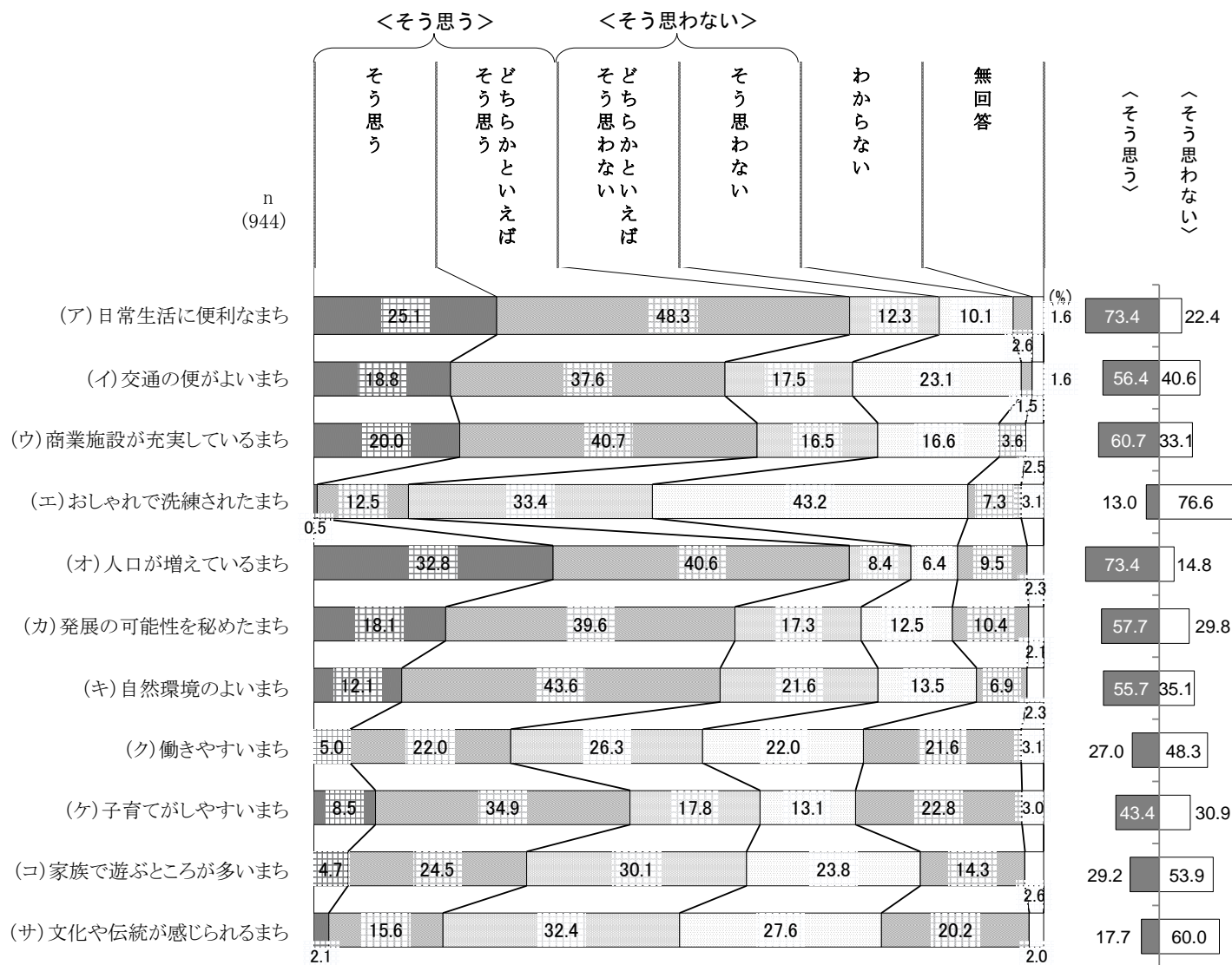


居住年数別で見ると、「よくなった」は20年以上で31.7%と最も高い。「よくなった」「どちらかといえばよくなった」を合わせた<よくなった>は10～20年未満で73.2%、20年以上で69.9%と高い。

居住地区別で見ると、「よくなった」は三郷駅周辺地区で37.8%と最も高く、<よくなった>も三郷駅周辺地区で71.6%と最も高い。

(3) 市のイメージについて

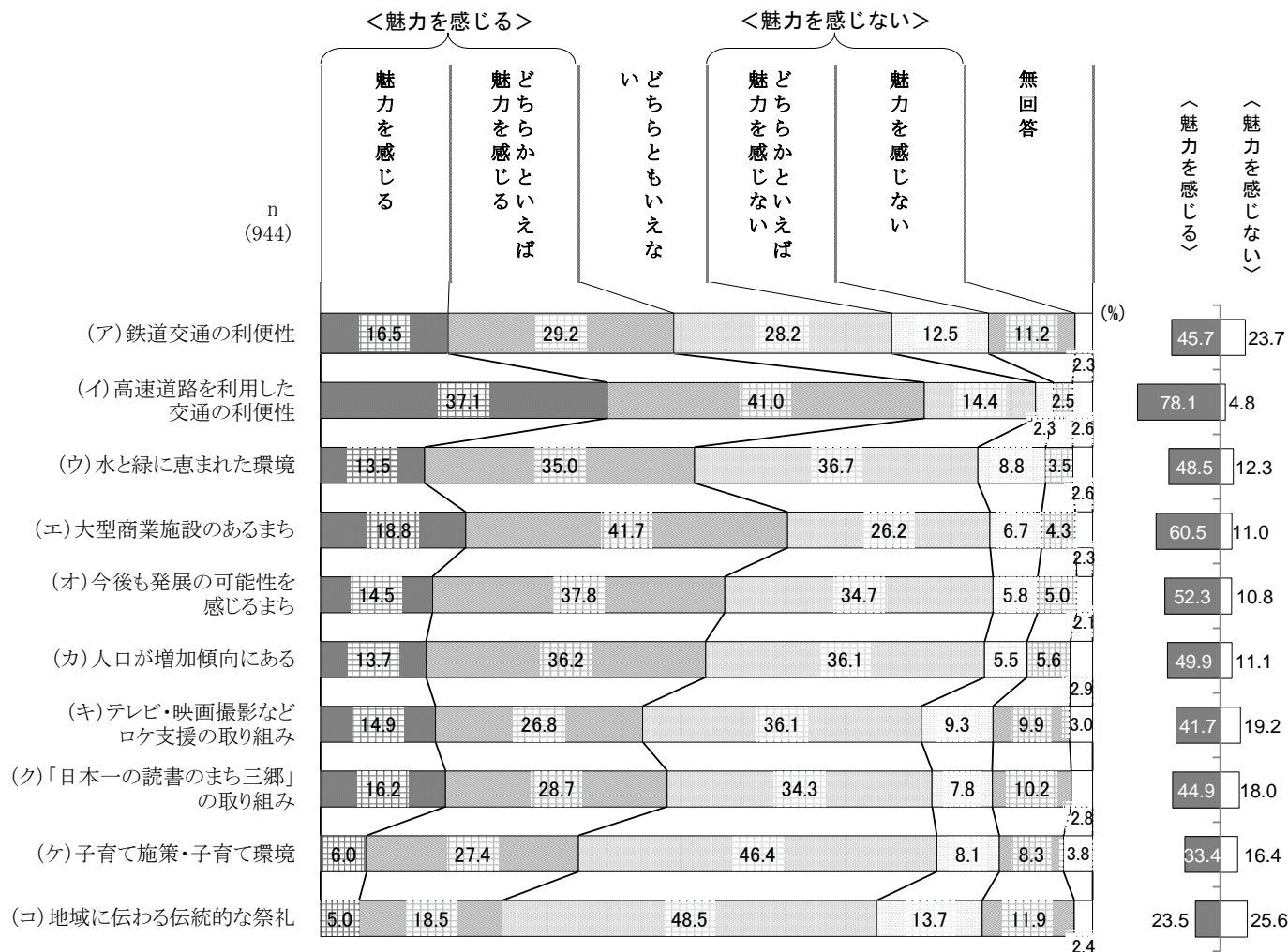
問6 あなたは三郷市のイメージについて、どのようにお考えですか。(ア)～(サ)の各項目ごとにお答えください。(それぞれの項目で、1つに○)



三郷市のイメージは、「そう思う」「どちらかといえばそう思う」を合わせた＜そう思う＞では『日常生活に便利なまち』『人口が増えているまち』がともに73.4%で7割を超え、『商業施設が充実しているまち』が60.7%で6割を超えている。一方、「そう思わない」「どちらかといえばそう思わない」を合わせた＜そう思わない＞では『おしゃれで洗練されたまち』が76.6%で7割を超え、『文化や伝統が感じられるまち』が60.0%で6割、『家族で遊ぶところが多いまち』が53.9%で5割を超えている。

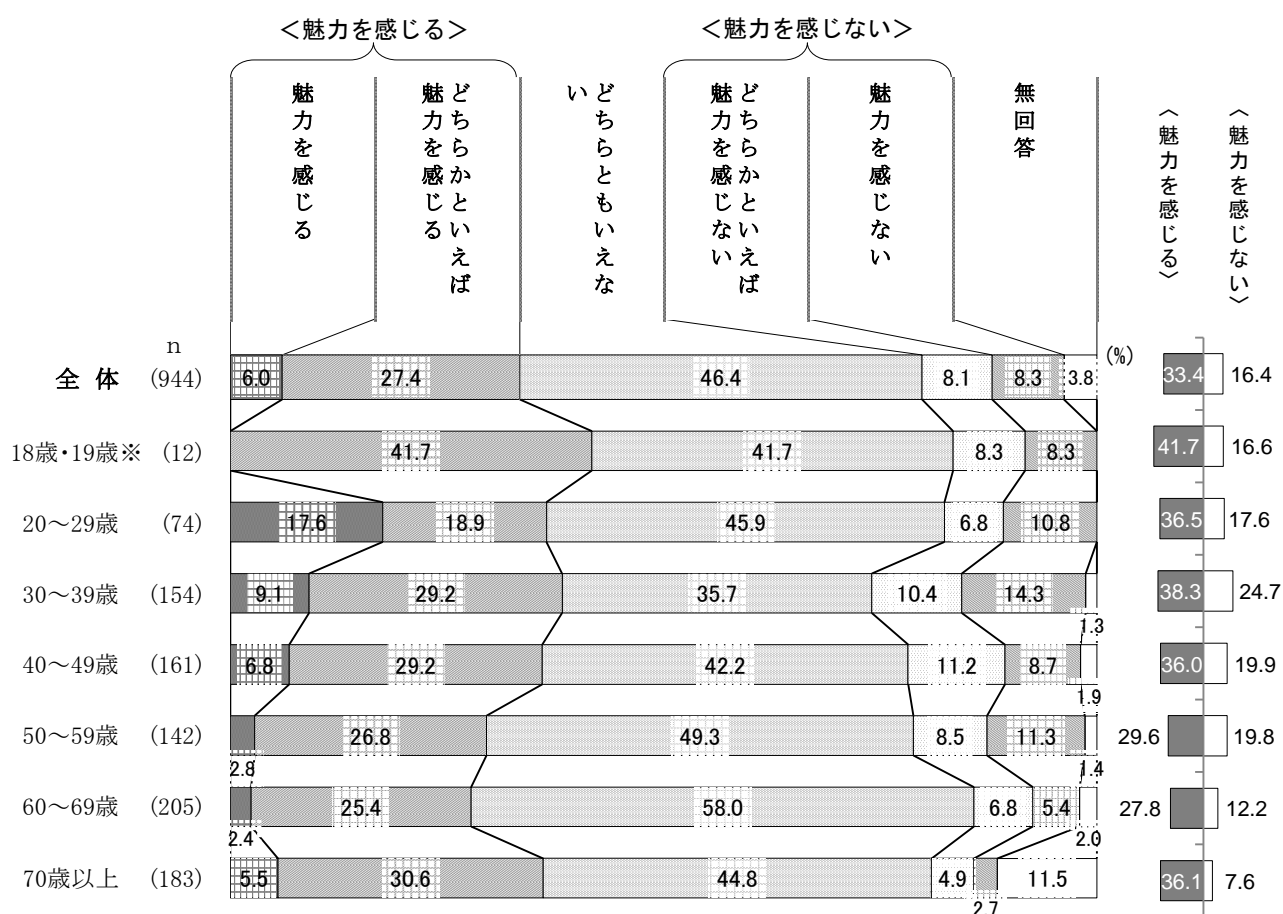
(4) 三郷のまちの特徴について

問7 あなたは、三郷のまちの特徴について魅力を感じていますか。(ア)～(コ)の各項目ごとにお答えください。(それぞれの項目で、1つに○)



三郷のまちの特徴は、「魅力を感じる」「どちらかといえば魅力を感じる」を合わせた<魅力を感じる>では『高速道路を利用した交通の利便性』が78.1%で7割を超え、『大型商業施設のあるまち』が60.5%で6割を超え、『今後も発展の可能性を感じるまち』が52.3%で5割を超えている。一方、「魅力を感じない」「どちらかといえば魅力を感じない」を合わせた<魅力を感じない>では『地域に伝わる伝統的な祭礼』が25.6%、『鉄道交通の利便性』が23.7%で2割を超えており、他の項目と比較して割合が高い。

○ (ケ) 子育て施策・子育て環境・年齢別

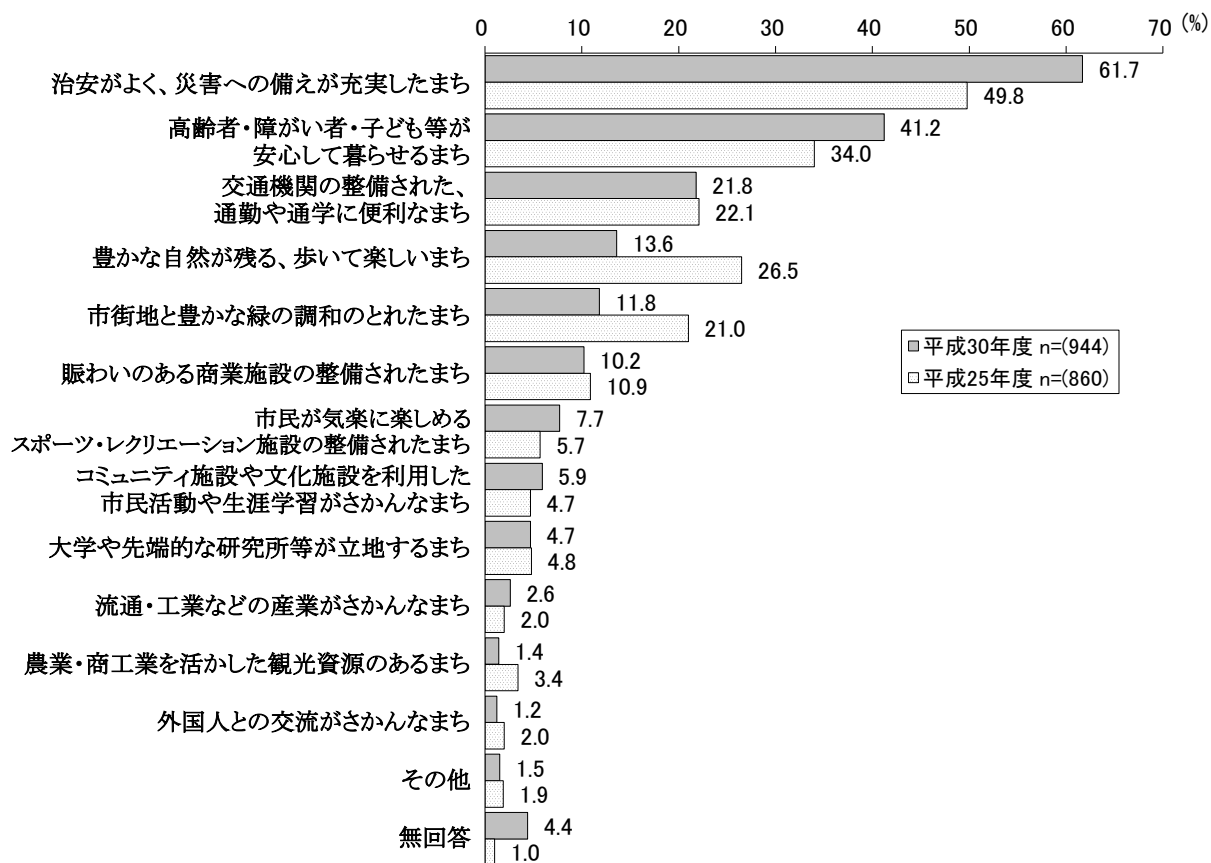


年齢別でみると、＜魅力を感じる＞は30～39歳で38.3%と最も高く、次いで20～29歳で36.5%、40～49歳で36.0%となっている。一方、＜魅力を感じない＞も30～39歳で24.7%と最も高く、次いで40～49歳で19.9%、50～59歳で19.8%となっている。

※回答者数が30未満の場合は、統計上の誤差が大きくなるため本文ではふれていない。

(5) まちの将来像

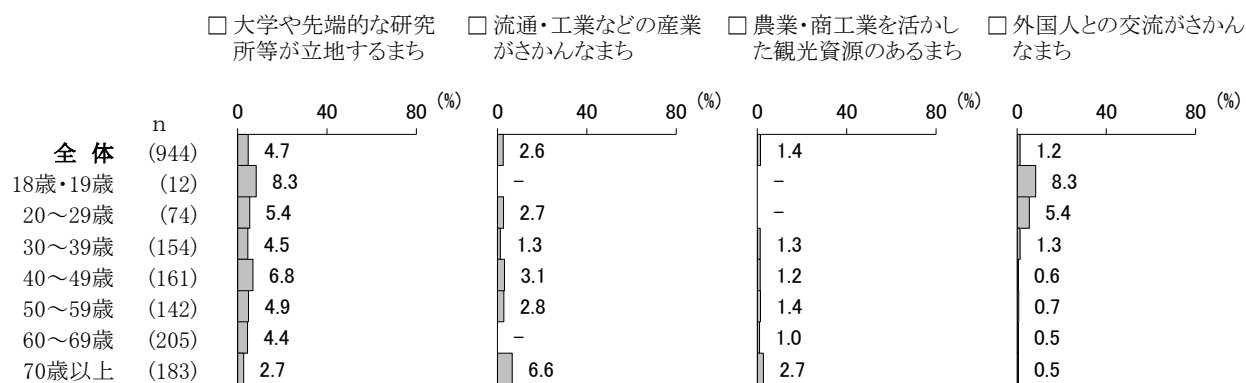
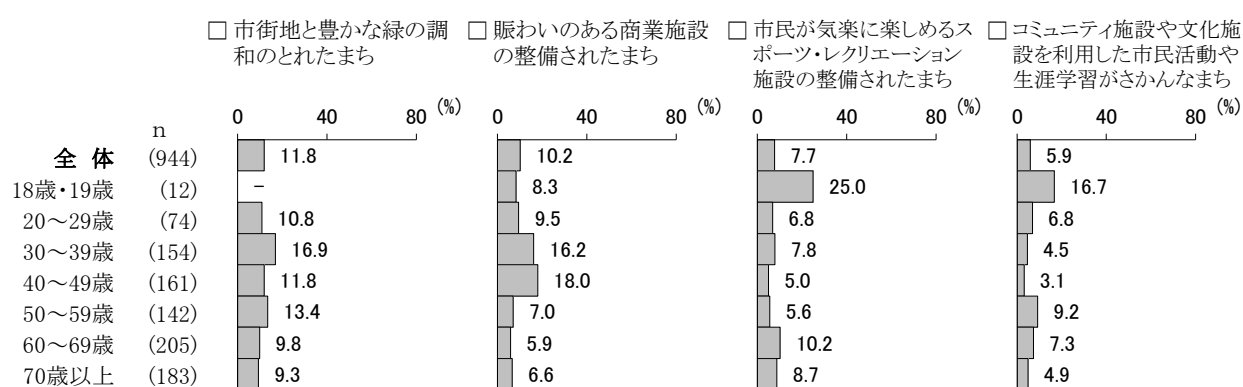
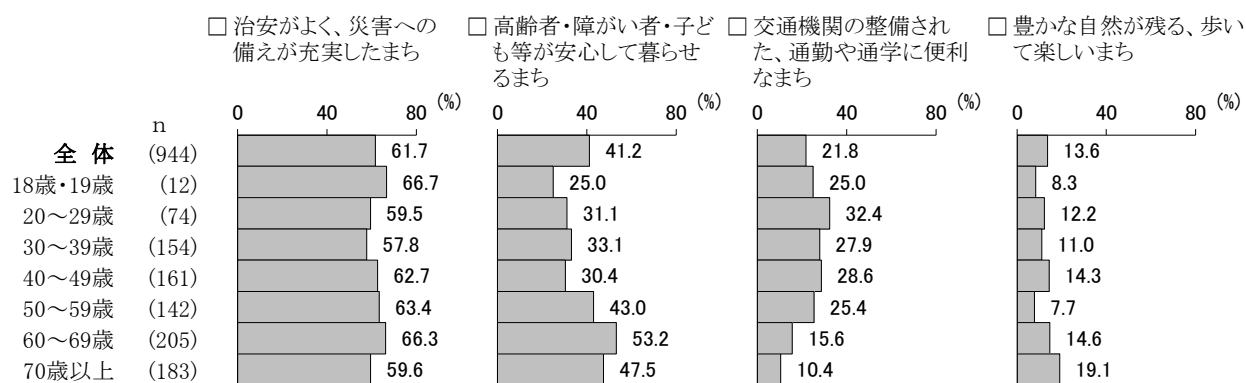
問8 あなたは、将来の三郷市がどのようなまちになってほしいと思いますか。
(2つ以内で○)



将来の三郷市がどのようなまちになってほしいかは、「治安がよく、災害への備えが充実したまち」が61.7%と最も高く、次いで「高齢者・障がい者・子ども等が安心して暮らせるまち」が41.2%、「交通機関の整備された、通勤や通学に便利なまち」が21.8%となっている。

平成25年度と比較すると、上位2項目の順位は同じであるが、「治安がよく、災害への備えが充実したまち」は11.9ポイント、「高齢者・障がい者・子ども等が安心して暮らせるまち」は7.2ポイント増加している。一方、4番目の「豊かな自然が残る、歩いて楽しいまち」は12.9ポイント、5番目の「市街地と豊かな緑の調和のとれたまち」は9.2ポイント減少している。

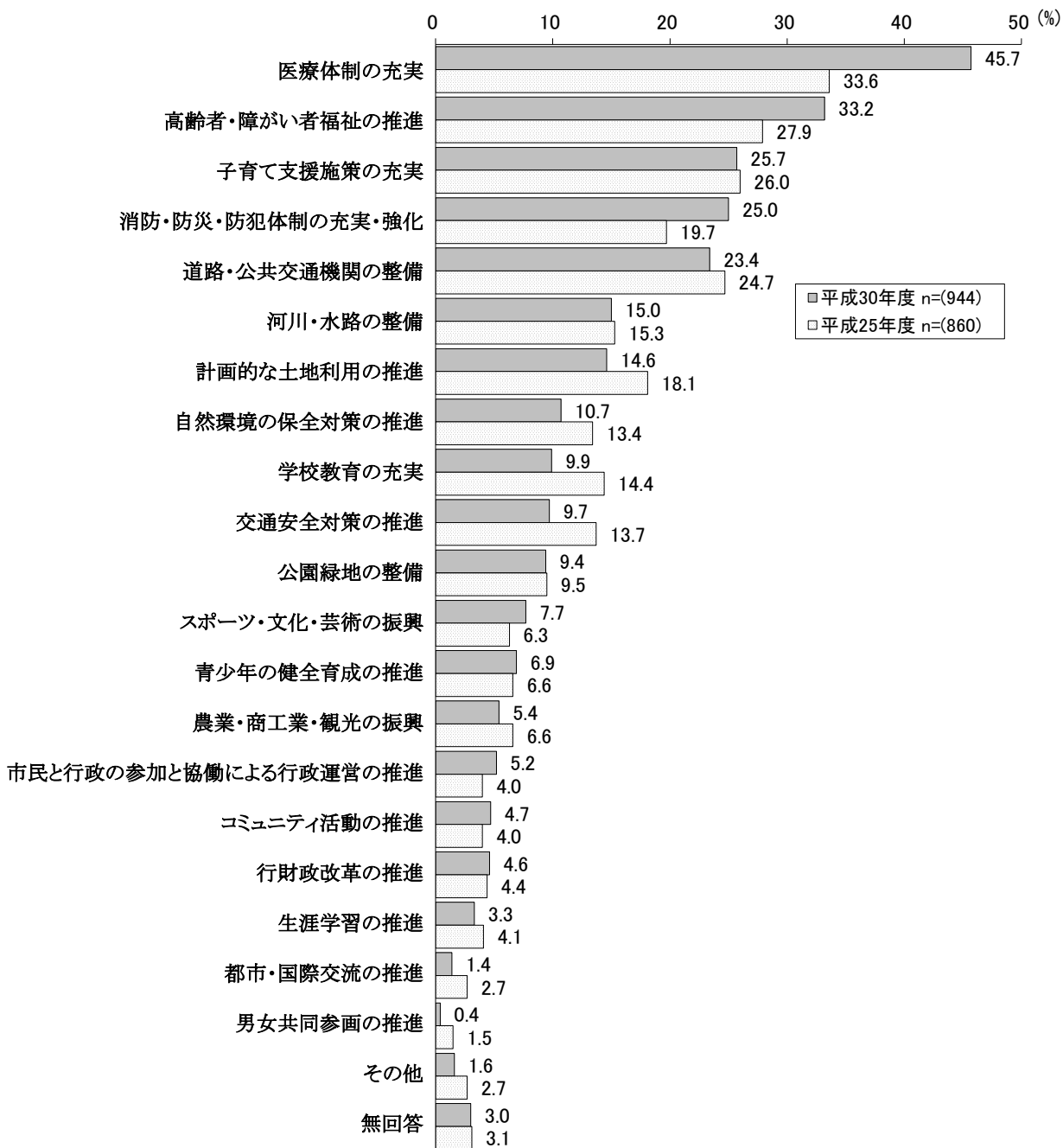
○まちの将来像・年齢別



年齢別で見ると、「治安がよく、災害への備えが充実したまち」は60～69歳で66.3%と最も高く、他の年齢層でも5割を超えている。「高齢者・障がい者・子ども等が安心して暮らせるまち」は60～69歳で53.2%と最も高く、次いで70歳以上で47.5%となっている。「交通機関の整備された、通勤や通学に便利なまち」は20～29歳で32.4%と最も高く、59歳以下の年齢層で2割を超えている。また、「豊かな自然が残る、歩いて楽しいまち」は70歳以上で19.1%と最も高く、「賑わいのある商業施設の整備されたまち」は40～49歳で18.0%と最も高い。

(6) 力を入れてほしい分野

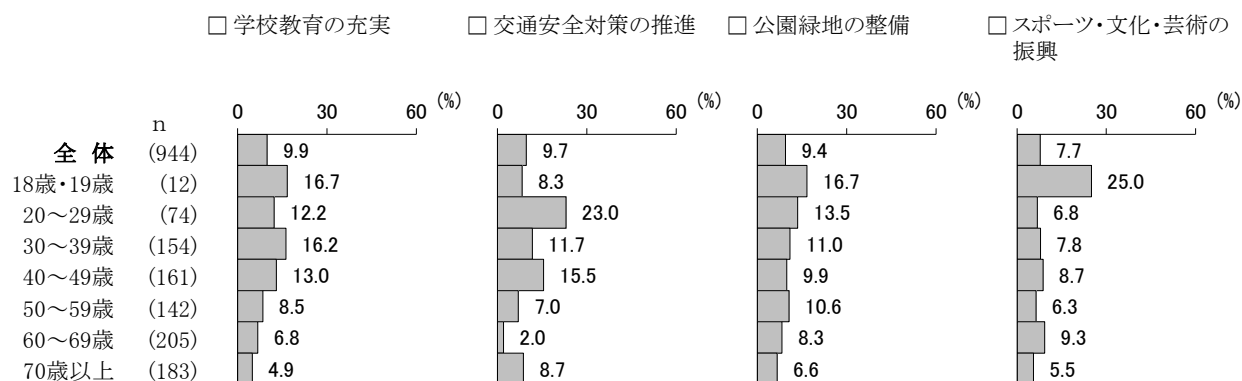
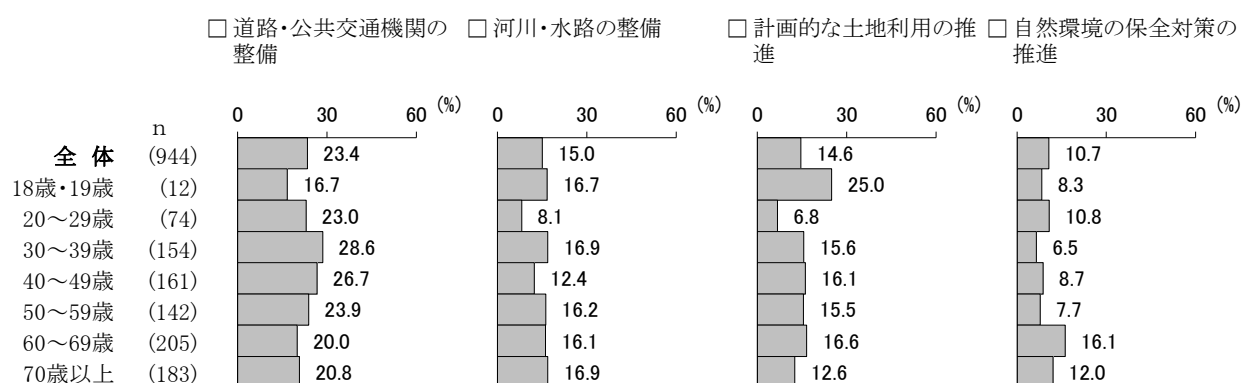
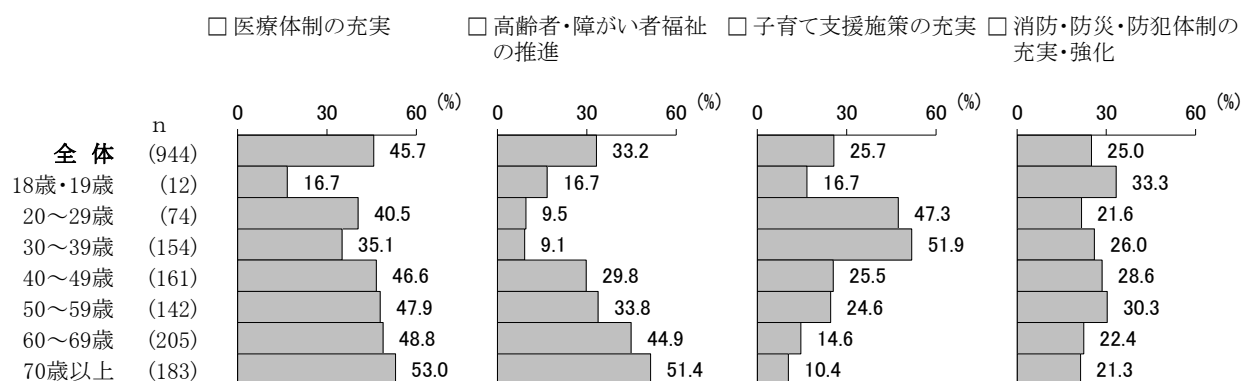
問9 あなたの考える将来の三郷市を実現するためには、今後、市としてどのような分野に力を入れていくべきだと思いますか。(3つ以内で○)



今後、市として力を入れてほしい分野は、「医療体制の充実」が45.7%と最も高く、次いで「高齢者・障がい者福祉の推進」が33.2%、「子育て支援施策の充実」が25.7%、「消防・防災・防犯体制の充実・強化」が25.0%、「道路・公共交通機関の整備」が23.4%となっている。

平成25年度と比較すると、上位3項目の順位は同じであるが、1番目の「医療体制の充実」は12.1ポイント増加している。また、2番目の「高齢者・障がい者福祉の推進」と4番目の「消防・防災・防犯体制の充実・強化」はともに5.3ポイント増加している。

〇力を入れてほしい分野・年齢別

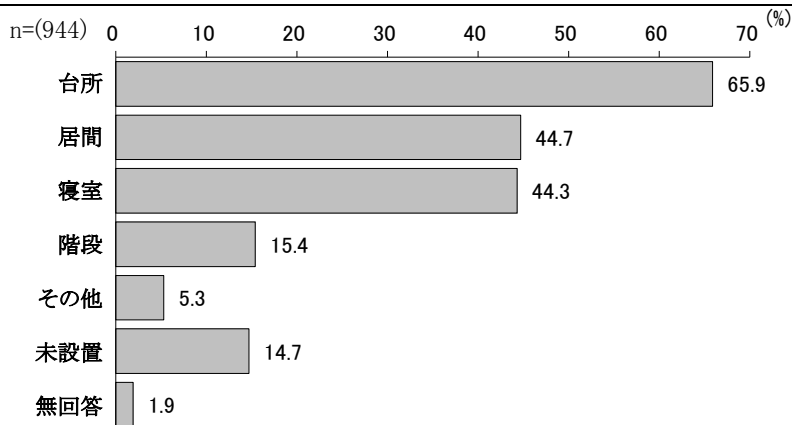


年齢別でみると、「医療体制の充実」は70歳以上で53.0%と最も高く、次いで60～69歳で48.8%となっている。「高齢者・障がい者福祉の推進」は70歳以上で51.4%と最も高く、次いで60～69歳で44.9%となっている。「子育て支援施策の充実」は30～39歳で51.9%と最も高く、次いで20～29歳で47.3%となっている。また、「消防・防災・防犯体制の充実・強化」は50～59歳で30.3%と最も高く、「交通安全対策の推進」は20～29歳で23.0%と最も高い。

4. 防災について

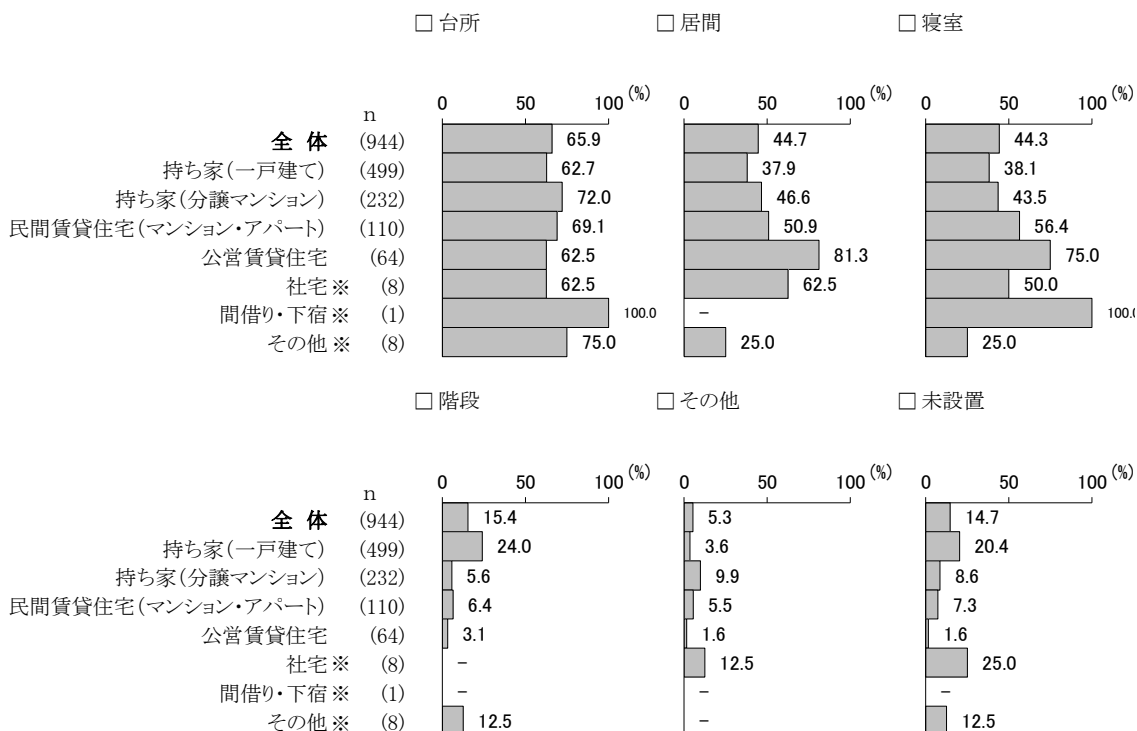
(1) 住宅用火災警報器の設置場所

問10 消防法及び三郷市火災予防条例により、住宅用火災警報器の設置が義務となっていますが、あなたのお住まいでは、どこに設置していますか。(あてはまるものすべてに○)



住宅用火災警報器の設置場所は、「台所」が65.9%と6割を超えており、次いで「居間」が44.7%、「寝室」が44.3%となっている。一方、「未設置」は14.7%となっている。

○住宅用火災警報器の設置場所・住まいの形態別

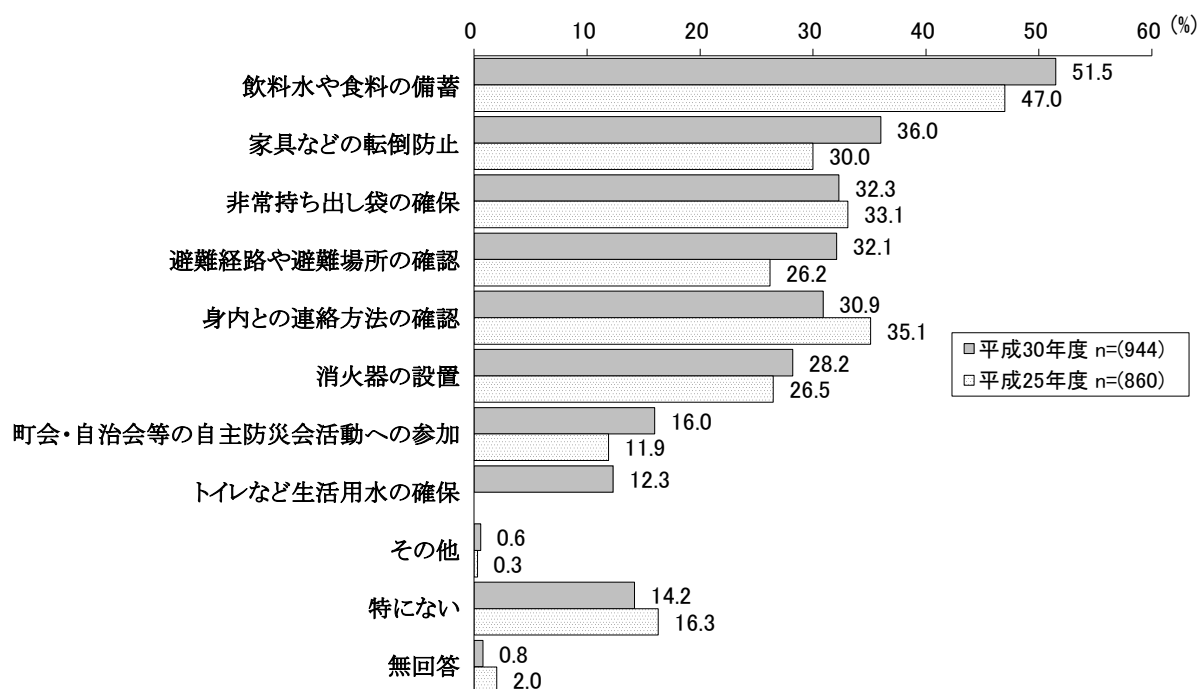


住まいの形態別でみると、「台所」は持ち家（分譲マンション）で72.0%と最も高く、他の形態でも6割を超えている。「居間」は公営賃貸住宅で81.3%と最も高く、次いで民間賃貸住宅（マンション・アパート）で50.9%となっている。「寝室」は公営賃貸住宅で75.0%と最も高く、次いで民間賃貸住宅（マンション・アパート）で56.4%となっている。また、「階段」は持ち家（一戸建て）で24.0%と最も高い。一方、「未設置」は持ち家（一戸建て）で20.4%と最も高い。

※回答数者が30未満の場合は、統計上の誤差が大きくなるため本文ではふれていない。

(2) 日頃の防災準備

問11 あなたは日頃、防災のための準備をしていますか。(あてはまるものすべてに○)



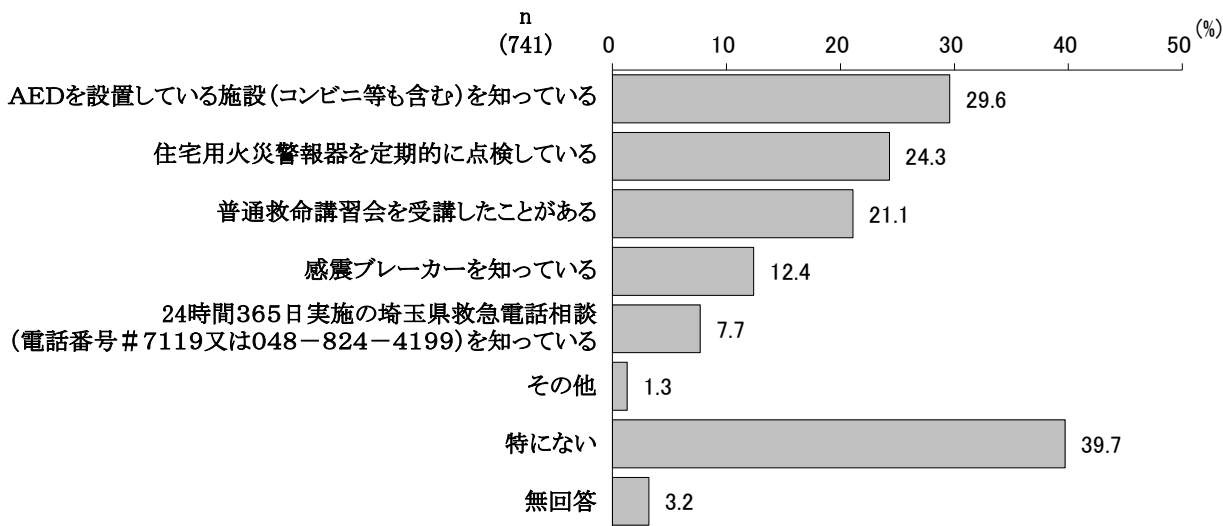
※ 今回調査から「トイレなど生活用水の確保」を追加した。また、「水や食料の備蓄」を「飲料水や食料の備蓄」に変更した。

日頃の防災のための準備は、「飲料水や食料の備蓄」が51.5%と5割を超えており、次いで「家具などの転倒防止」が36.0%、「非常持ち出し袋の確保」が32.3%、「避難経路や避難場所の確認」が32.1%、「身内との連絡方法の確認」が30.9%となっている。一方、「特にない」は14.2%となっている。

平成25年度と比較すると、「非常持ち出し袋の確保」「身内との連絡方法の確認」「特にない」で割合が減少しているものの、それ以外の項目ではいずれも増加している。

(3) 災害などから家族を守る準備

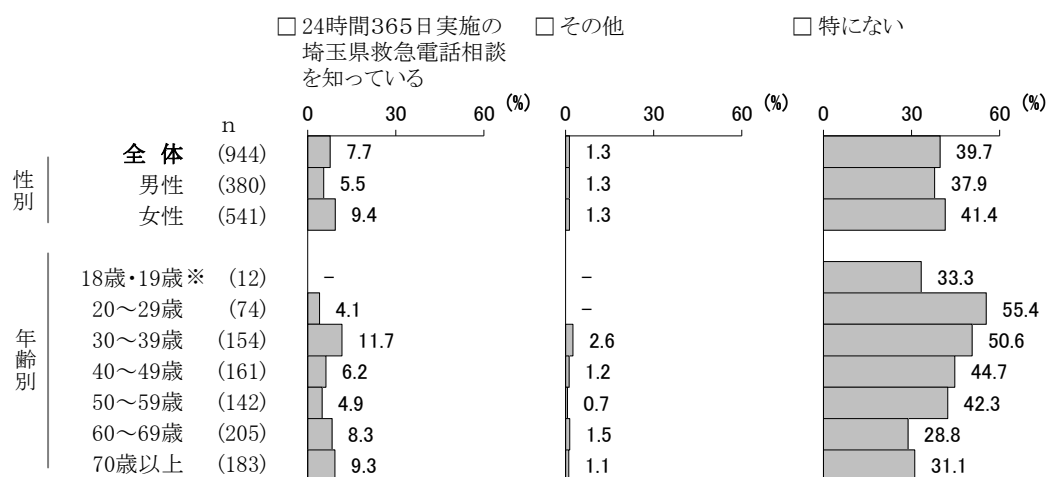
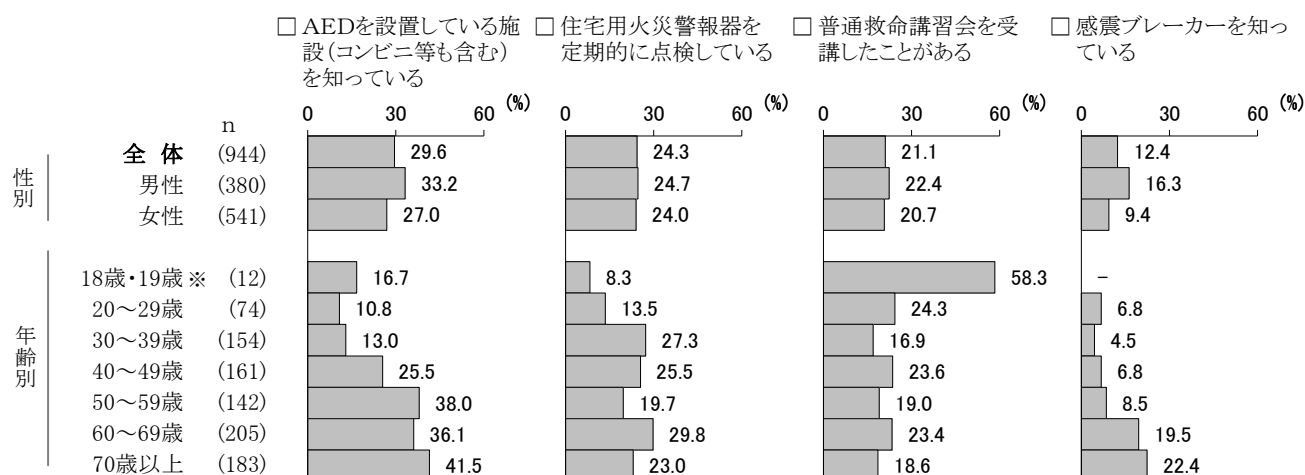
問12 災害などから家族を守る方法について、どのような準備をしていますか。
 (あてはまるものすべてに○)



災害などから家族を守る方法について、準備していることは「AEDを設置している施設(コンビニ等も含む)を知っている」が29.6%と高く、次いで「住宅用火災警報器を定期的に点検している」が24.3%、「普通救命講習会を受講したことがある」が21.1%となっている。一方、「特にない」は39.7%となっている。



○災害などから家族を守る準備・性別／年齢別



性別で見ると、「感震ブレーカーを知っている」は男性（16.3%）が女性（9.4%）よりも6.9ポイント、「AEDを設置している施設（コンビニ等も含む）を知っている」は男性（33.2%）が女性（27.0%）よりも6.2ポイント高い。一方、「24時間365日実施の埼玉県救急電話相談を知っている」は女性（9.4%）が男性（5.5%）よりも3.9ポイント高い。

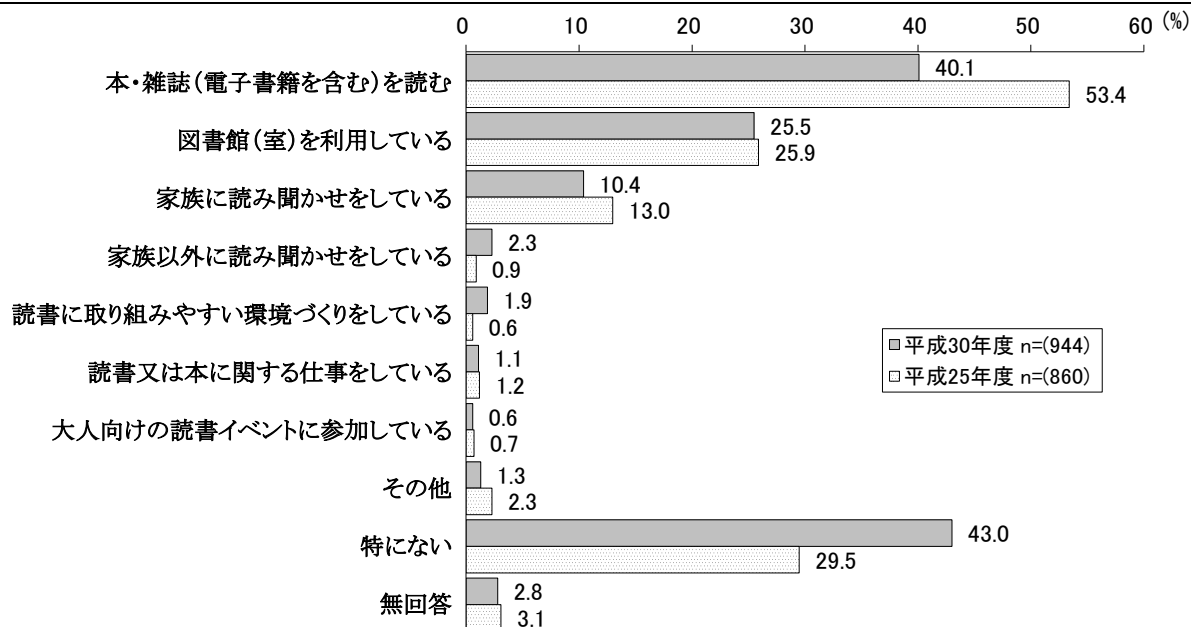
年齢別で見ると、「AEDを設置している施設（コンビニ等も含む）を知っている」は70歳以上で41.5%と最も高く、50歳以上の年齢層で3割を超えている。「住宅用火災警報器を定期的に点検している」は60～69歳で29.8%と最も高く、次いで30～39歳で27.3%、40～49歳で25.5%となっている。また、「感震ブレーカーを知っている」は70歳以上で22.4%と最も高く、次いで60～69歳で19.5%となっている。また、「特になし」は20～29歳で55.4%と最も高く、59歳以下の年齢層で4割を超えている。

※回答数が30未満の場合は、統計上の誤差が大きくなるため本文ではふれていない。

5. 読書のまち三郷について

(1) 読書活動の状況

問13 読書活動について、あなたが日頃、心がけていることや取り組んでいることはどのようなことですか。(あてはまるものすべてに○)

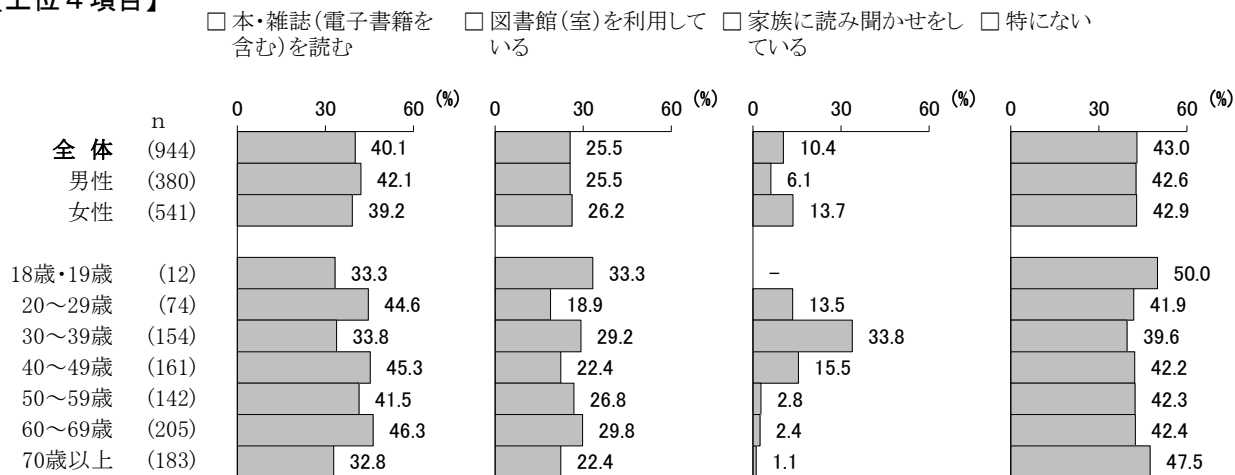


読書活動について、日頃、心がけていることや取り組んでいることは「本・雑誌（電子書籍を含む）を読む」が40.1%と高く、次いで「図書館（室）を利用している」25.5%、「家族に読み聞かせをしている」10.4%となっている。一方、「特にない」は43.0%となっている。

平成25年度と比較すると、上位3項目の順位は同じであるが、「本・雑誌（電子書籍を含む）を読む」は13.3ポイント減少している。一方、「特にない」は13.5ポイント増加している。

○読書活動の状況・性別／年齢別

【上位4項目】

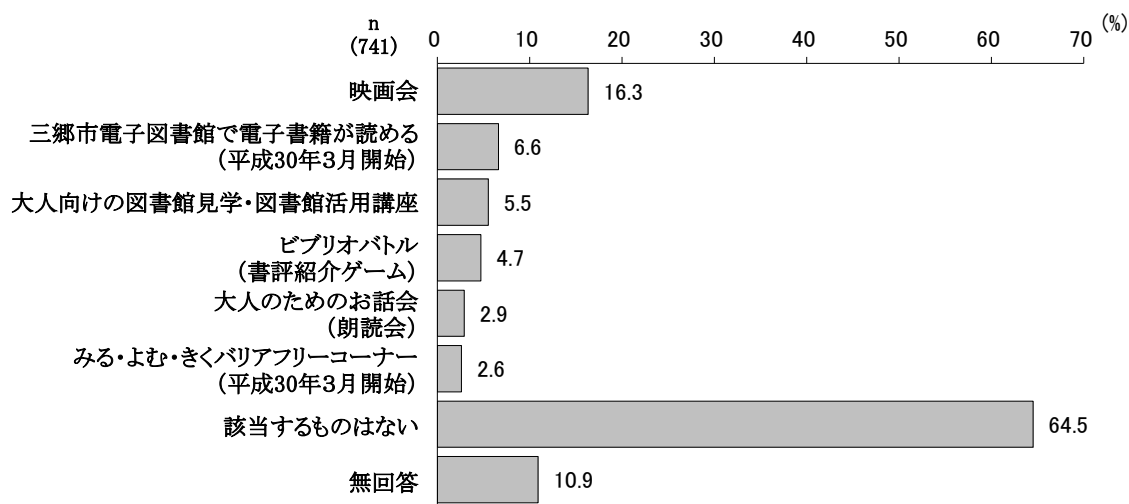


性別でみると、「家族に読み聞かせをしている」は女性（13.7%）が男性（6.1%）よりも7.6ポイント高い。

年齢別でみると、「本・雑誌（電子書籍を含む）を読む」は60～69歳で46.3%と最も高い。「家族に読み聞かせをしている」は30～39歳で33.8%と最も高い。

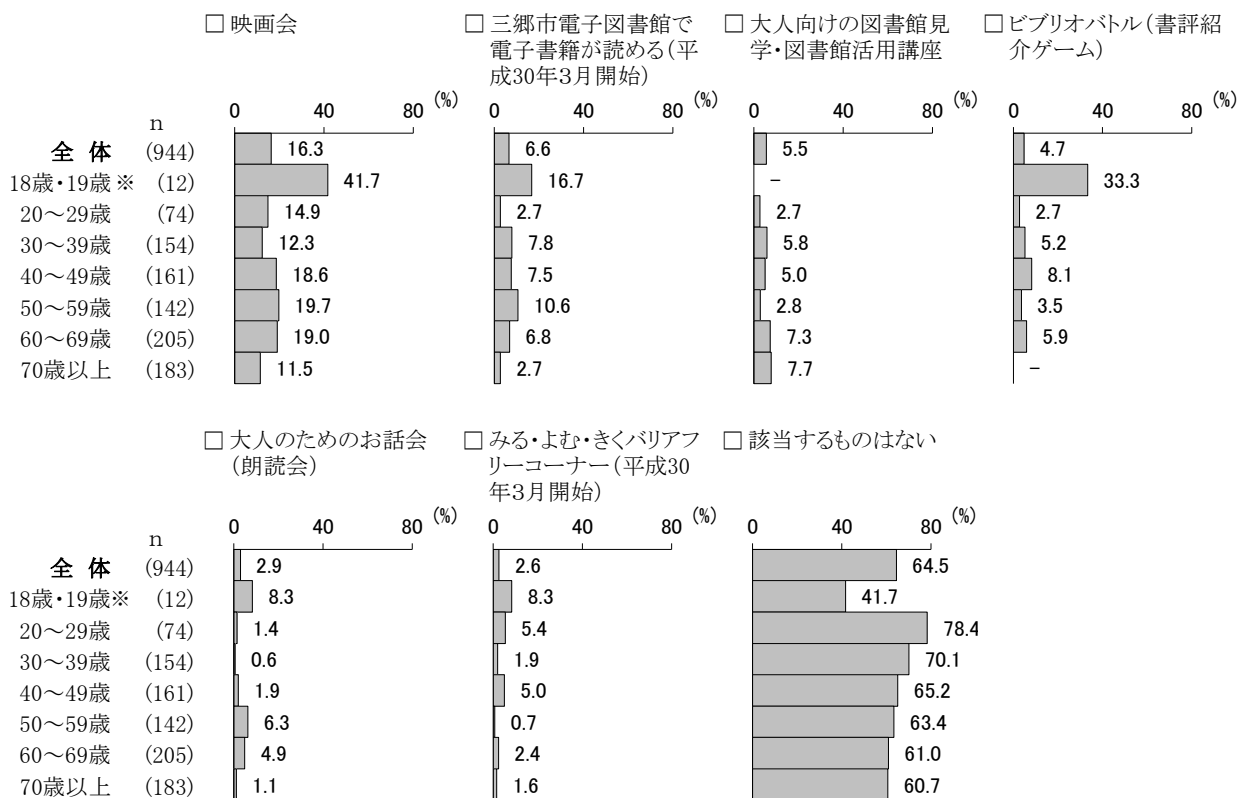
(2) 市の図書館サービスの認知状況

問14 あなたが、三郷市の図書館サービスで見たことや聞いたことがあるものをすべて選んでください。(あてはまるものすべてに○)



三郷市の図書館サービスで見たことや聞いたことがあるものは、「映画会」が16.3%と高く、次いで「三郷市電子図書館で電子書籍が読める（平成30年3月開始）」が6.6%、「大人向けの図書館見学・図書館活用講座」が5.5%となっている。一方、「該当するものはない」は64.5%となっている。

○市の図書館サービスの認知状況・年齢別

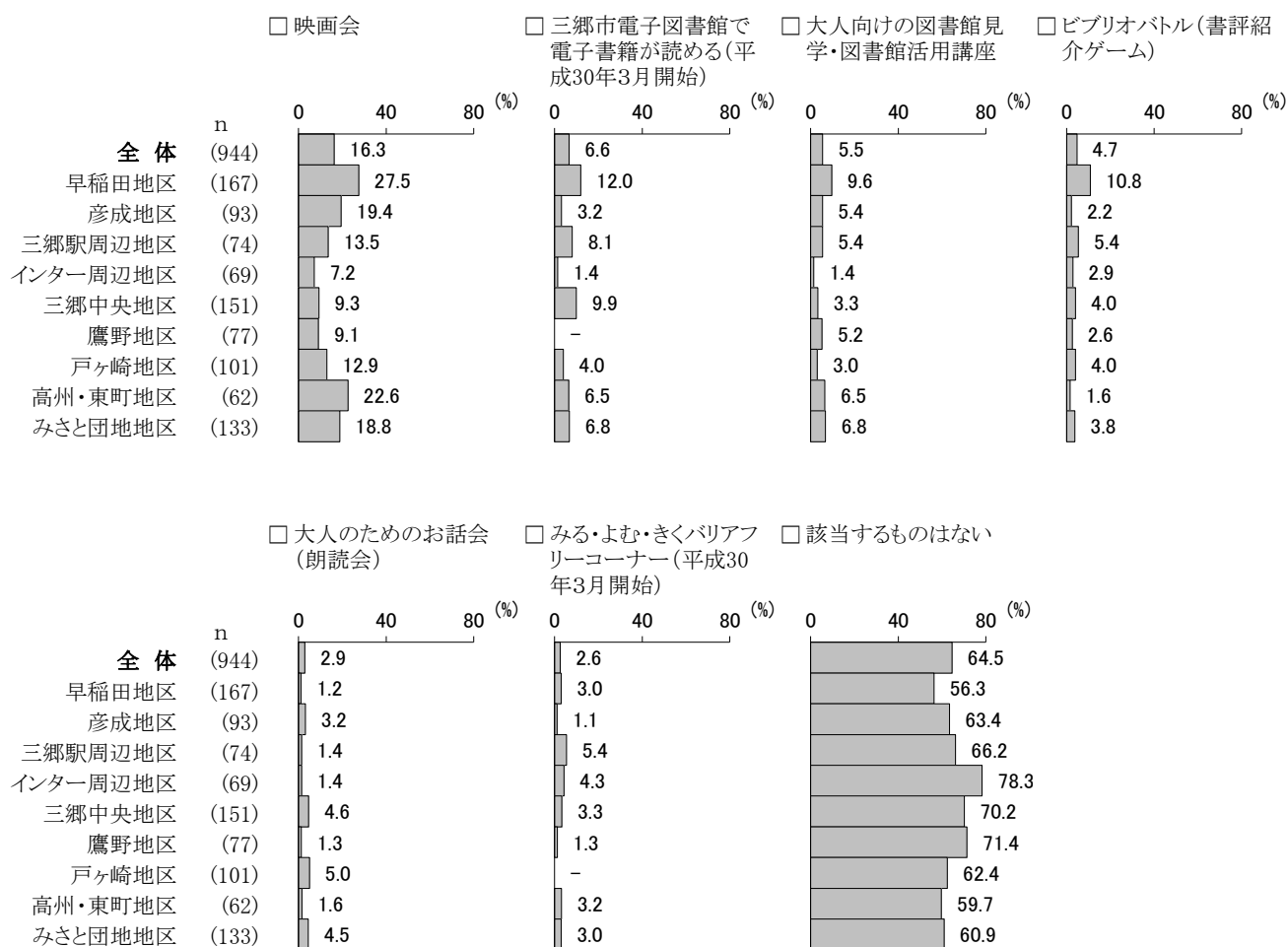


年齢別で見ると、「映画会」は50～59歳で19.7%と最も高く、次いで60～69歳で19.0%、40～49歳で18.6%となっている。「三郷市電子図書館で電子書籍が読める」は50～59歳で10.6%と最も高く、「ビブリオバトル(書評紹介ゲーム)」は40～49歳で8.1%と最も高い。一方、「該当するものはない」は20～29歳で78.4%と最も高く、次いで30～39歳で70.1%、40～49歳で65.2%となっている。

※回答者数が30未満の場合は、統計上の誤差が大きくなるため本文ではふれていない。



○市の図書館サービスの認知状況・居住地区別

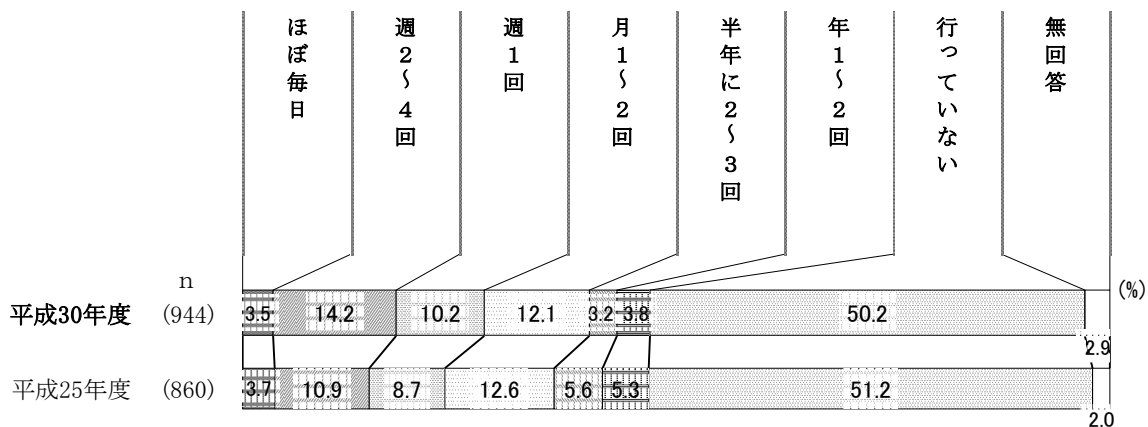


居住地区別でみると、「映画会」は早稲田地区で27.5%と最も高く、次いで高州・東町地区で22.6%、彦成地区で19.4%、みさと団地地区で18.8%となっている。「三郷市電子図書館で電子書籍が読める」は早稲田地区で12.0%と最も高く、「ビブリオバトル(書評紹介ゲーム)」も早稲田地区で10.8%と最も高い。一方、「該当するものはない」はインター周辺地区で78.3%と最も高く、次いで鷹野地区で71.4%、三郷中央地区で70.2%と7割を超えており、他の地区でも5割を超えている。

6. スポーツ・レクリエーションについて

(1) 活動頻度

問15 あなたは、日頃の程度スポーツやレクリエーション活動を行っていますか。
(1つに○)

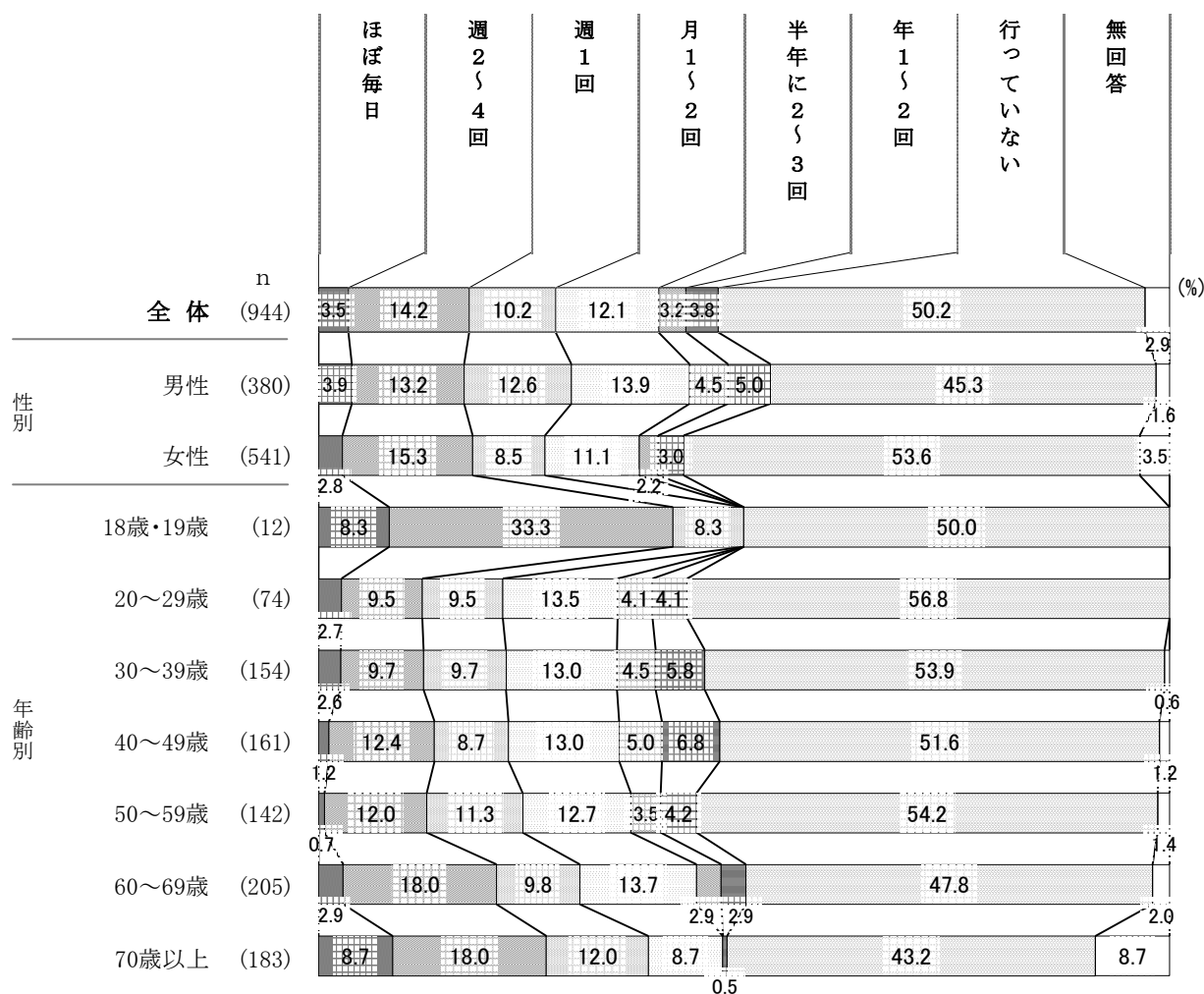


日頃の程度スポーツやレクリエーション活動を行っているかは、「週2～4回」が14.2%と最も高く、次いで「月1～2回」が12.1%、「週1回」が10.2%となっている。一方、「行っていない」は50.2%で5割を超えている。

平成25年度と比較すると、「週2～4回」は3.3ポイント、「週1回」は1.5ポイント増加し、「半年に2～3回」は2.4ポイント、「年1～2回」は1.5ポイント減少している。



○活動頻度・性別／年齢別

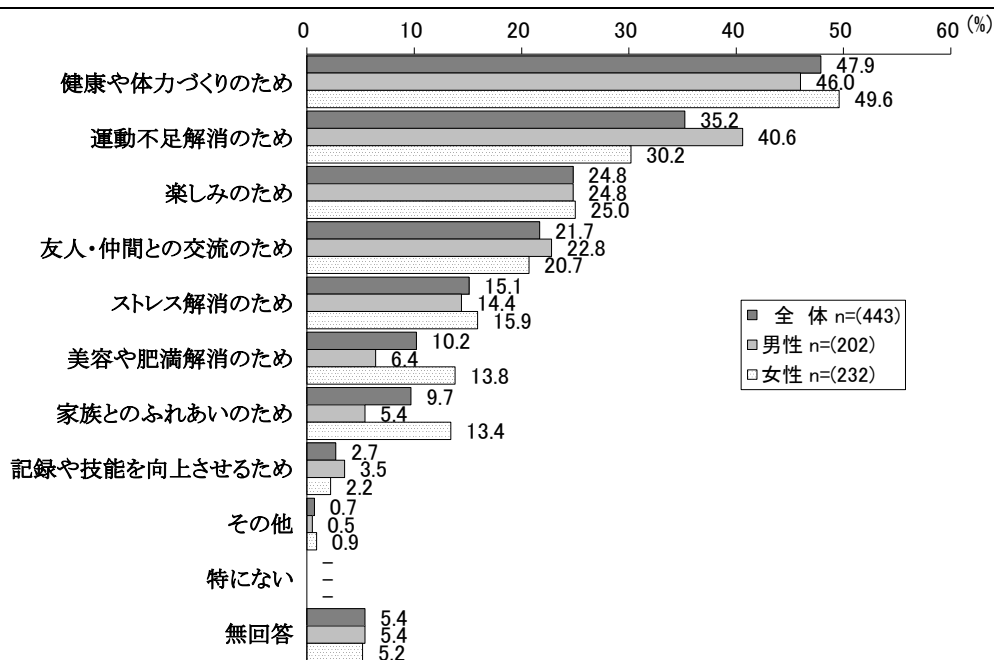


性別で見ると、「行っていない」は女性（53.6%）が男性（45.3%）よりも8.3ポイント高い。

年齢別で見ると、「ほぼ毎日」は70歳以上で8.7%と最も高い。「週2〜4回」は60〜69歳と70歳以上でともに18.0パーセントと高い。一方、「行っていない」は20〜29歳で56.8%と最も高く、59歳以下の年齢層で5割を超えている。

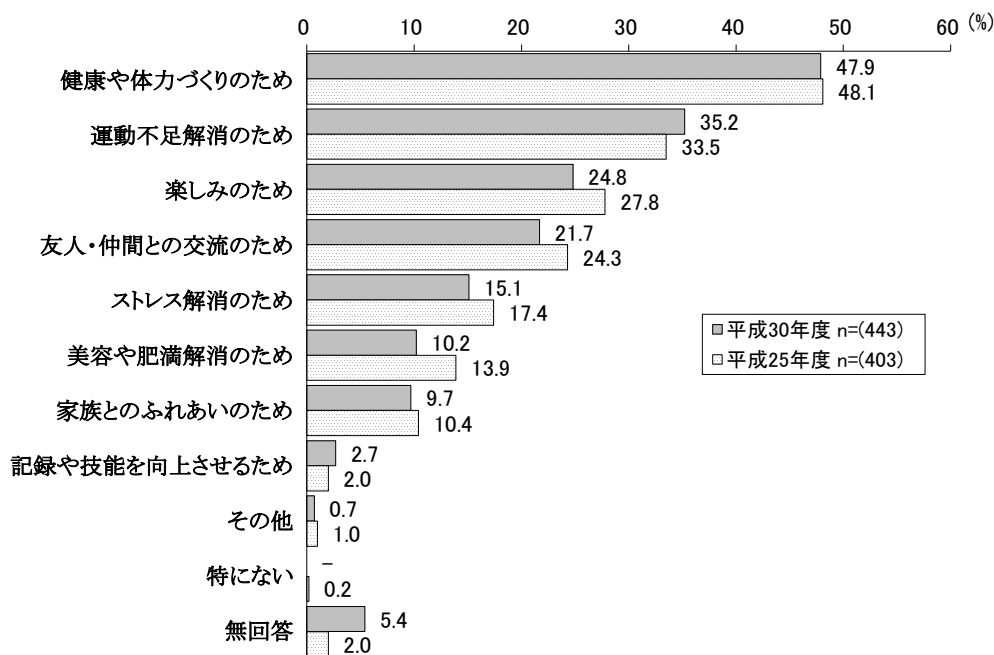
(2) 活動の目的

問15-1 あなたが、スポーツ・レクリエーション活動を行う理由は何ですか。
(2つ以内で○)



スポーツやレクリエーション活動を行う理由は、「健康や体力づくりのため」が47.9%と最も高く、次いで「運動不足解消のため」が35.2%、「楽しむため」が24.8%、「友人・仲間との交流のため」が21.7%となっている。

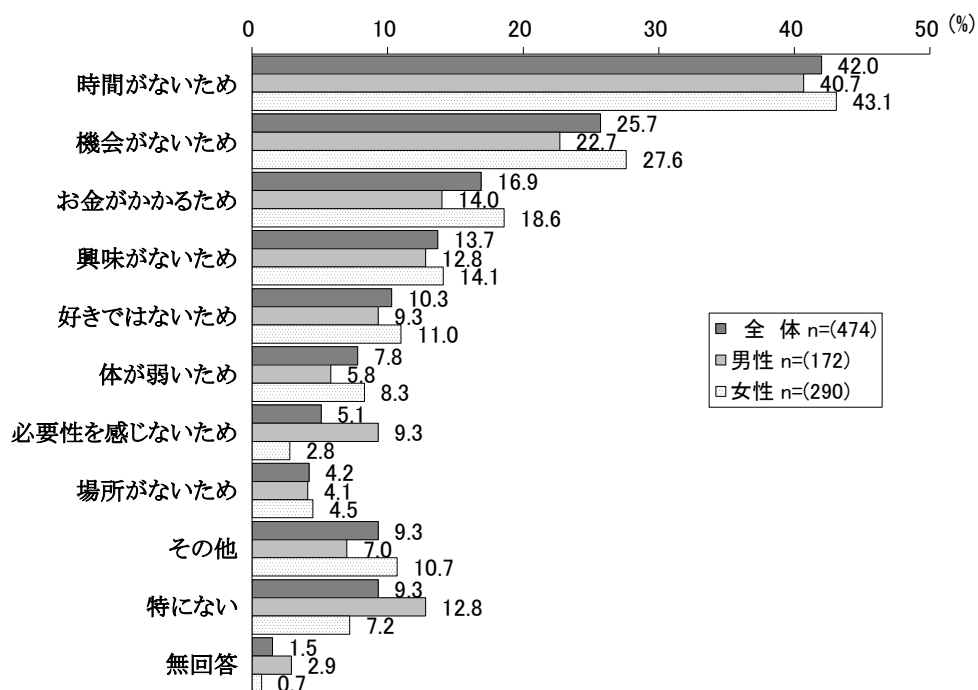
性別で見ると、「運動不足解消のため」は男性（40.6%）が女性（30.2%）よりも10.4ポイント高い。一方、「美容や肥満解消のため」「家族とのふれあいのため」はともに女性が男性よりも7ポイント以上高い。



平成25年度と比較すると、「運動不足解消のため」「記録や技能を向上させるため」で割合が増加しているものの、それ以外の項目では減少している。

(3) 活動をしない理由

問15-2 あなたが、スポーツ・レクリエーション活動を行わない理由は何ですか。
(2つ以内で○)



スポーツやレクリエーション活動を行わない理由は、「時間がないため」が42.0%と最も高く、次いで「機会がないため」が25.7%、「お金がかかるため」が16.9%、「興味がないため」が13.7%となっている。

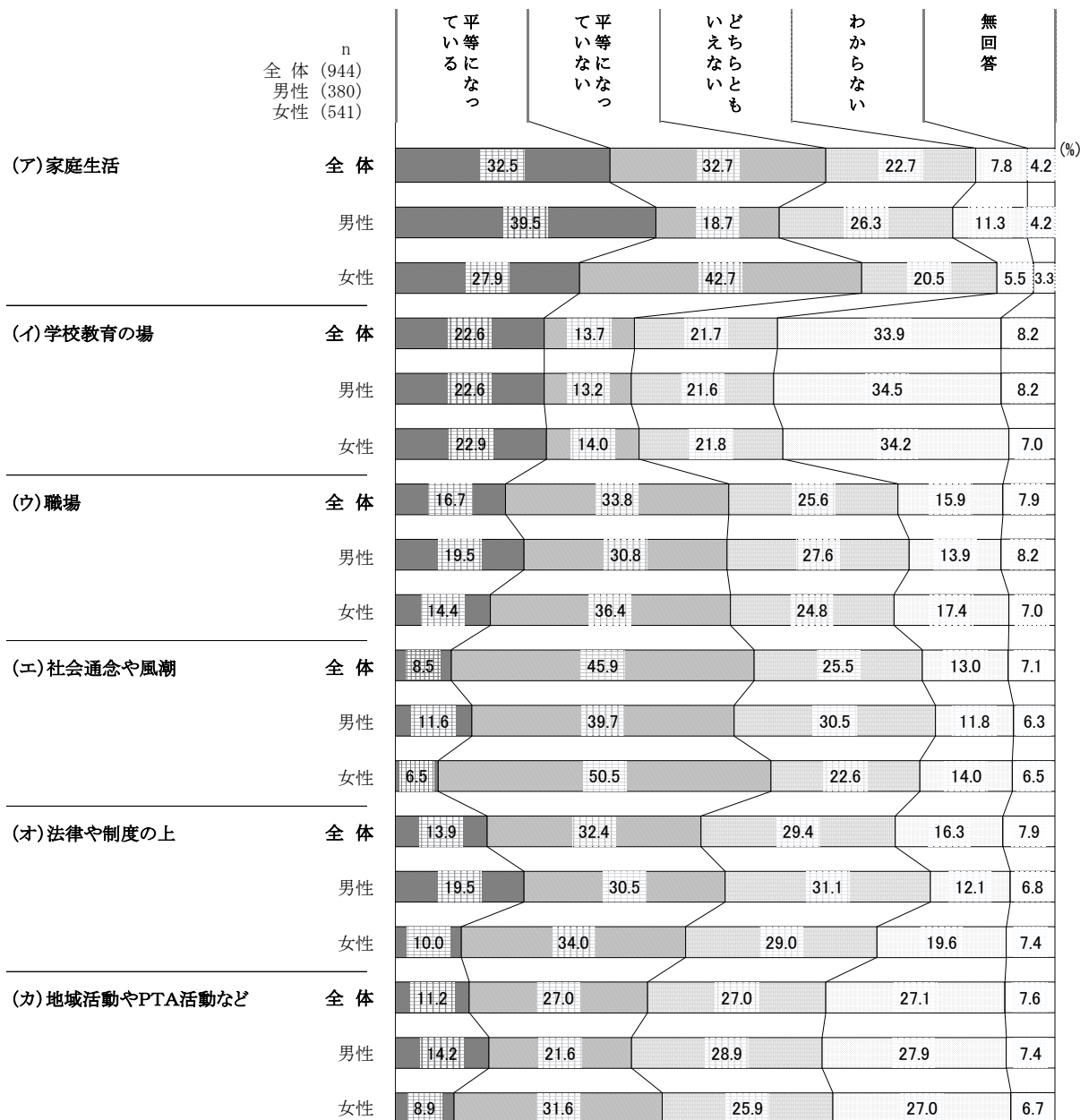
性別で見ると、「必要性を感じないため」「特になし」はともに男性が女性よりも5ポイント以上高い。一方、「機会がないため」「お金がかかるため」はともに女性が男性よりも4ポイント以上高い。



7. 男女共同参画について

(1) 男女の地位の平等感

問16 あなたは、男女の地位は平等になっていると思いますか。(ア)～(カ)の各項目ごとにお答えください。(それぞれの項目で、1つに○)

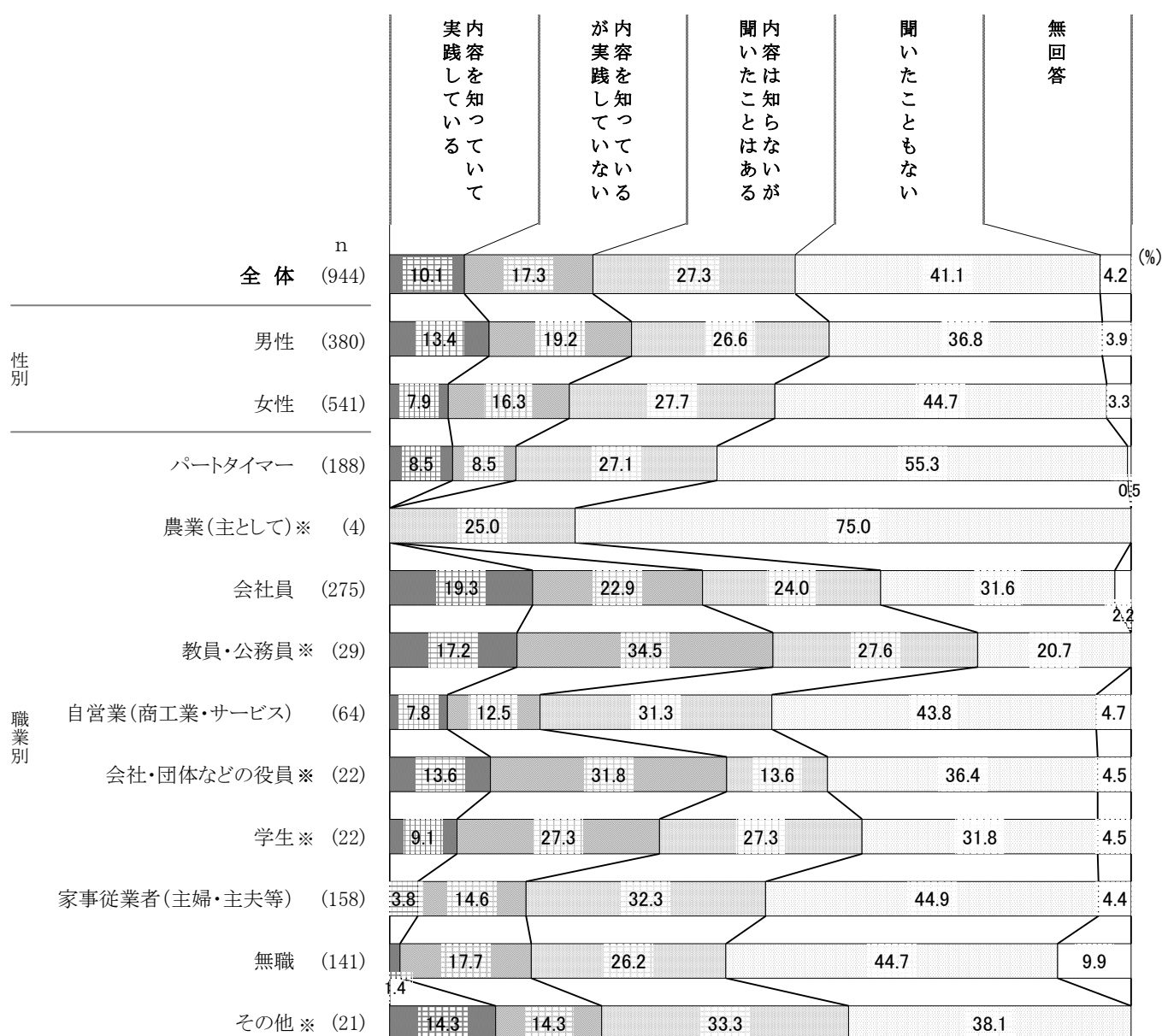


男女の地位は、「平等になっている」が『家庭生活』で32.5%と3割を超え、『学校教育の場』で22.6%と2割を超えている。一方、「平等になっていない」は『社会通念や風潮』で45.9%と4割を超え、『職場』で33.8%、『家庭生活』で32.7%、『法律や制度の上』で32.4%と3割を超えており、『学校教育の場』以外の項目で「平等になっている」の割合を上回っている。

性別でみると、『家庭生活』では「平等になっている」は男性(39.5%)で最も高く、女性(27.9%)を11.6ポイント上回っているが、「平等になっていない」は女性(42.7%)で最も高く、男性(18.7%)を24.0ポイント上回っている。また、『社会通念や風潮』では「平等になっていない」は女性(50.5%)で5割を超えており、男性(39.7%)を10.8ポイント上回っている。

(2) ワーク・ライフ・バランスの認知状況

問17 あなたは、「ワーク・ライフ・バランス」という言葉を知っていますか。(1つに○)



「ワーク・ライフ・バランス」という言葉は、「内容を知っていて実践している」が10.1%、「内容を知っているが実践していない」が17.3%、「内容は知らないが聞いたことはある」が27.3%となっている。一方、「聞いたこともない」は41.1%と最も高い。

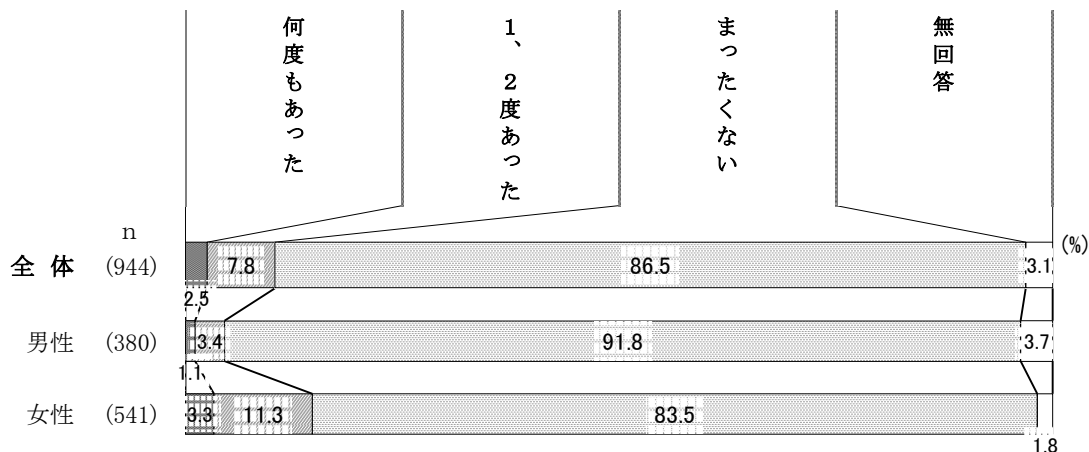
性別でみると、「内容を知っていて実践している」は男性(13.4%)が女性(7.9%)よりも5.5ポイント高い。一方、「聞いたこともない」は女性(44.7%)が男性(36.8%)よりも7.9ポイント高い。

職業別でみると、「内容を知っていて実践している」は会社員で19.3%と最も高く、次いで教員・公務員で17.2%となっている。一方、「聞いたこともない」はパートタイマーで55.3%と最も高く、次いで家事従業者(主婦・主夫等)で44.9%、無職で44.7%となっている。

※回答者数が30未満の場合は、統計上の誤差が大きくなるため本文ではふれていない。

(3) パートナーから暴力行為を受けた経験

問18 あなたは今までに、パートナー（配偶者、交際相手、元配偶者等）から暴力行為をされたことがありますか。（1つに○）

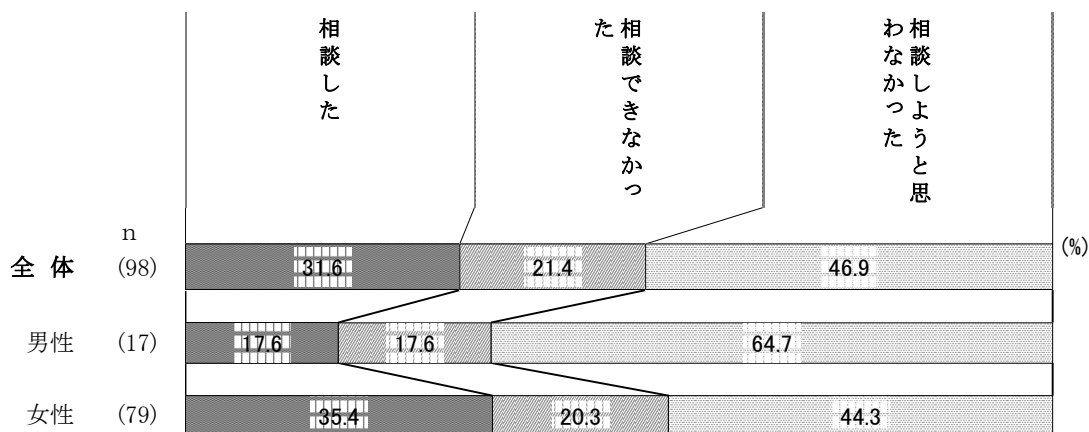


今までに、パートナー（配偶者、交際相手、元配偶者等）から暴力行為をされた経験は、「何どもあった」が2.5%、「1、2度あった」が7.8%となっている。

性別で見ると、「まったくない」は男性（91.8%）、女性（83.5%）とともに高いが、「1、2度あった」は女性（11.3%）であり、男性（3.4%）よりも7.9ポイント高い。

(4) 相談の有無

問18-1 そのことを誰かに打ち明けたり、相談したりしましたか。（1つに○）

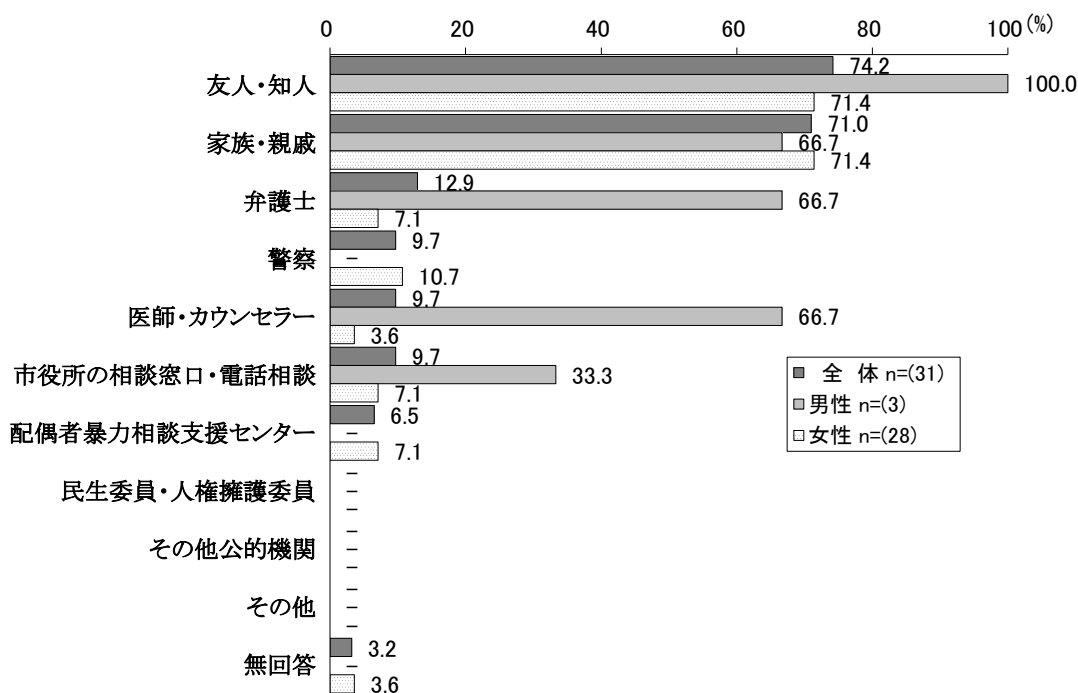


問18で「何どもあった」「1、2度あった」と回答したかたの相談の有無は、「相談した」が31.6%、「相談できなかった」が21.4%となっている。また、「相談しようと思わなかった」が46.9%となっている。

性別で見ると、「相談した」は女性（35.4%）が男性（17.6%）よりも17.8ポイント高い。一方、「相談しようと思わなかった」は男性（64.7%）が女性（44.3%）よりも20.4ポイント高い。

(5) 相談相手

問18-1-1 どなたに相談しましたか。(あてはまるものすべてに○)



問18-1で「相談した」と回答したかたの相談相手は、「友人・知人」で74.2%、「家族・親戚」で71.0%と7割を超えており、次いで「弁護士」12.9%となっている。

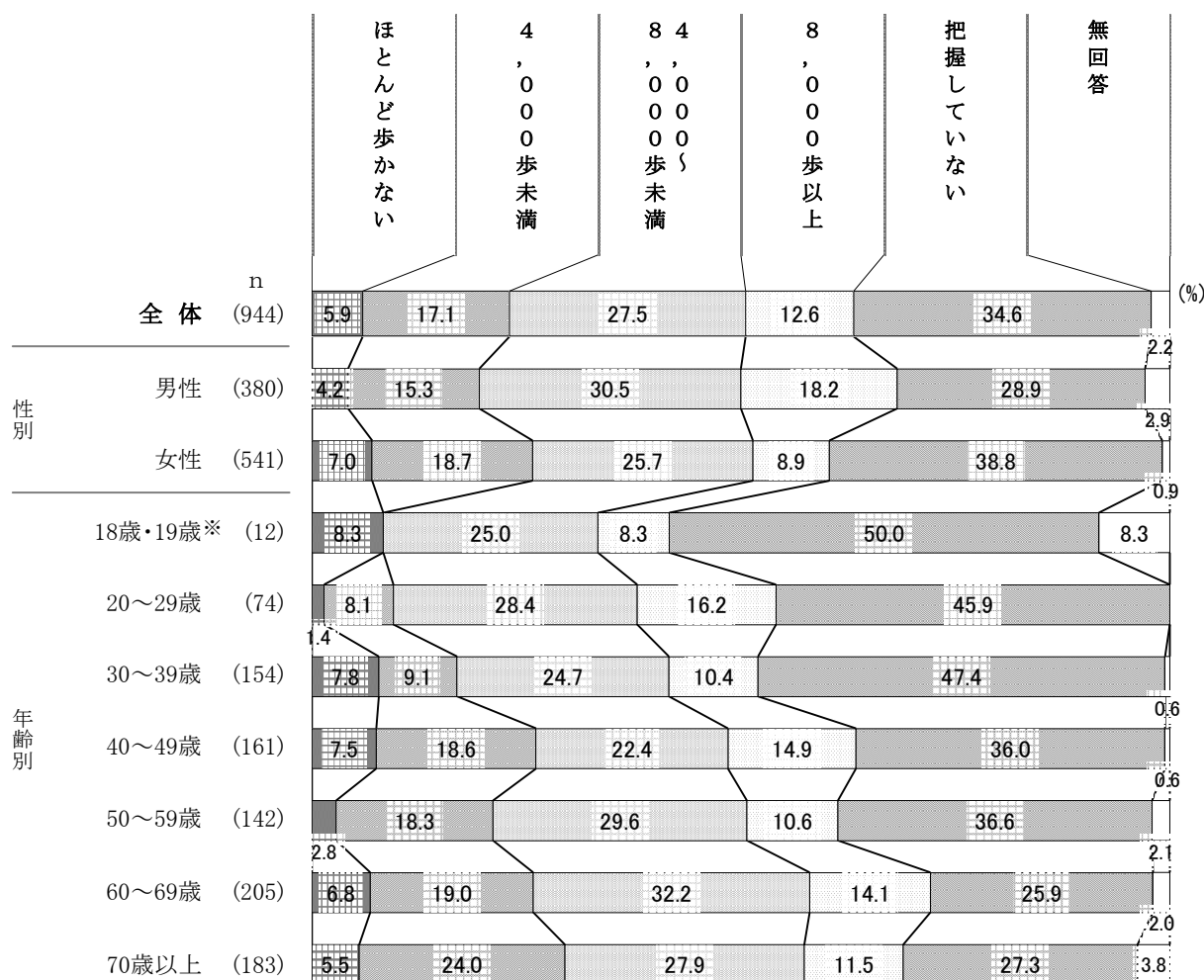
性別で見ると、女性では「友人・知人」「家族・親戚」（ともに71.4%）で7割を超えているものの、「弁護士」「警察」「市役所の相談窓口・電話相談」「配偶者暴力相談支援センター」はそれぞれ1割程度となっている。



8. 健康推進について

(1) 1日の平均歩数

問19 あなたの1日の歩数は、平均してどのくらいですか。(1つに○)



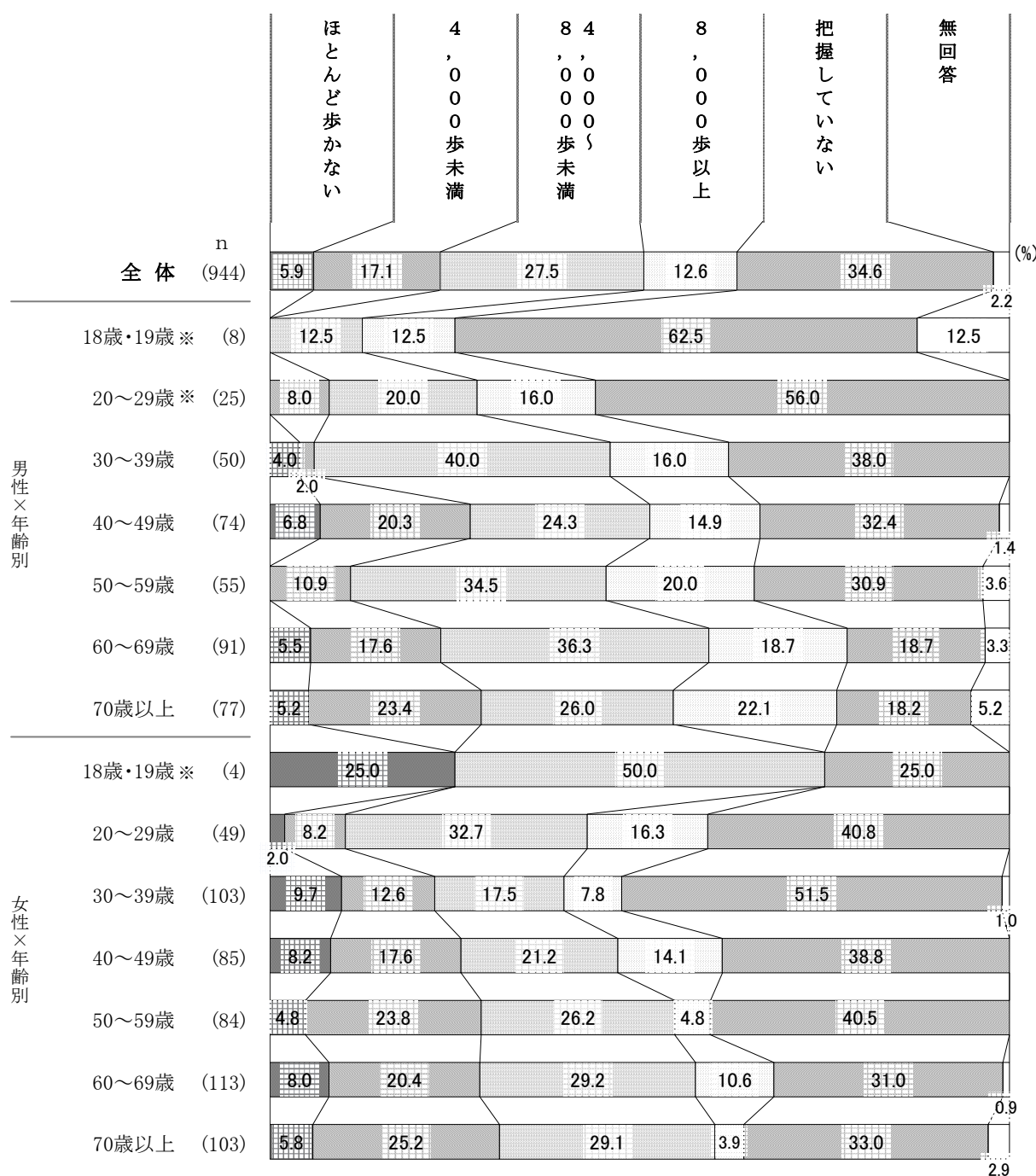
1日の平均歩数は、「4,000歩～8,000歩未満」が27.5%と最も高く、次いで「4,000歩未満」が17.1%、「8,000歩以上」が12.6%となっている。また、「把握していない」は34.6%となっている。

性別でみると、「8,000歩以上」は男性（18.2%）が女性（8.9%）よりも9.3ポイント、「4,000歩～8,000歩未満」は男性（30.5%）が女性（25.7%）よりも4.8ポイント高い。また、「把握していない」は女性（38.8%）が男性（28.9%）よりも9.9ポイント高い。

年齢別でみると、「8,000歩以上」は20～29歳で16.2%と最も高く、次いで40～49歳で14.9%となっている。「4,000歩～8,000歩未満」は60～69歳で32.2%と最も高く、次いで50～59歳で29.6%となっている。「4,000歩未満」は70歳以上で24.0%と最も高く、次いで60～69歳で19.0%となっている。一方、「把握していない」は30～39歳で47.4%と最も高く、次いで20～29歳で45.9%となっている。

※回答者数が30未満の場合は、統計上の誤差が大きくなるため本文ではふれていない。

○1日の平均歩数・性別×年齢別



男性の年齢別で見ると、「8,000歩以上」は70歳以上で22.1%と最も高く、次いで50~59歳で20.0%、60~69歳で18.7%となっている。「4,000~8,000歩未満」は30~39歳で40.0%と最も高く、次いで60~69歳で36.3%となっている。

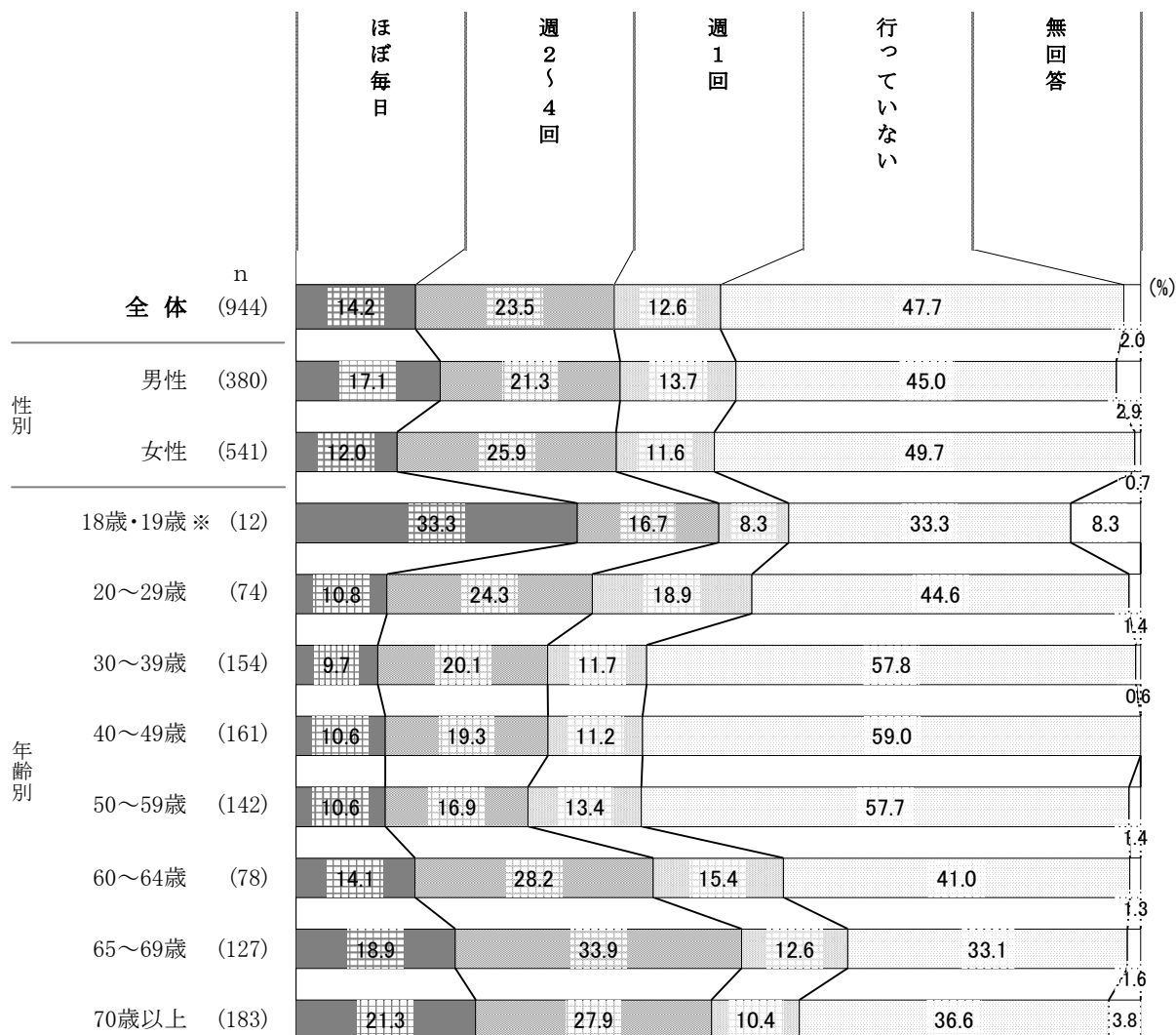
女性の年齢別で見ると、「8,000歩以上」は20~29歳で16.3%と最も高く、次いで40~49歳で14.1%となっている。「4,000~8,000歩未満」は20~29歳で32.7%で最も高く、次いで60~69歳で29.2%、70歳以上で29.1%となっている。

男女ともに若い層では、1日平均の歩数を「把握していない」割合が高い傾向にある。

※回答者数が30未満の場合は、統計上の誤差が大きくなるため本文ではふれていない。

(2) 1日30分以上の運動の頻度

問20 あなたは、1日30分以上の運動（ウォーキングを含む）を1週間に何回行っていますか。（1つに○）



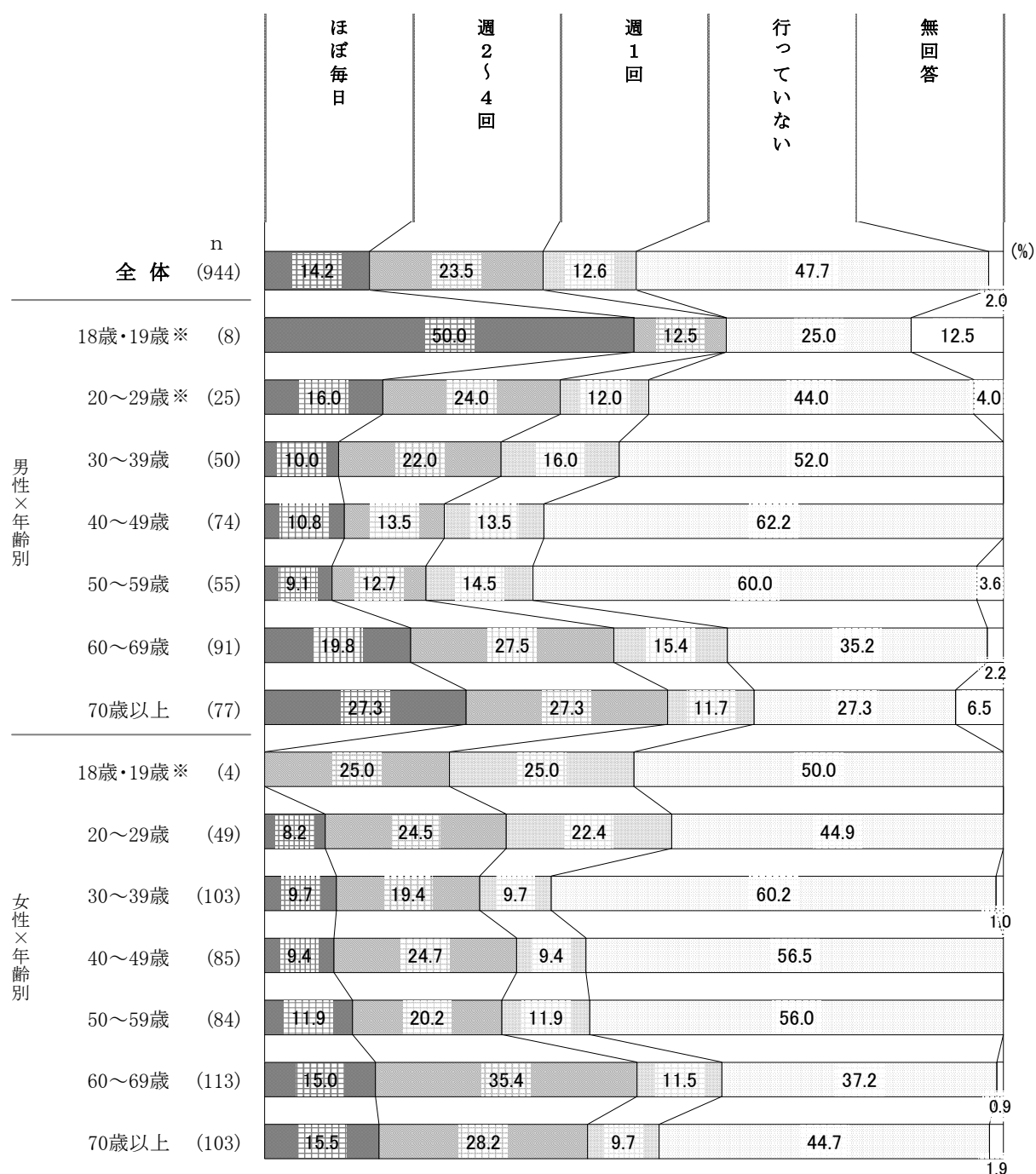
1日30分以上の運動（ウォーキングを含む）を1週間に何回行っているかは、「週2～4回」が23.5%と最も高く、次いで「ほぼ毎日」が14.2%、「週1回」が12.6%となっている。一方、「行っていない」は47.7%と5割近くとなっている。

性別でみると、「ほぼ毎日」は男性（17.1%）が女性（12.0%）よりも5.1ポイント高い。一方、「週2～4回」「行っていない」は女性が男性よりも4ポイント以上高い。

年齢別でみると、「ほぼ毎日」は70歳以上で21.3%と最も高く、59歳以下の年齢層で1割前後と低い。「週2～4回」は65～69歳で33.9%と最も高く、次いで60～64歳で28.2%、70歳以上で27.9%となっている。一方、「行っていない」は40～49歳で59.0%と最も高く、30～59歳の年齢層で5割を超えている。

※回答者数が30未満の場合は、統計上の誤差が大きくなるため本文ではふれていない。

○ 1日30分以上の運動の頻度・性別×年齢別



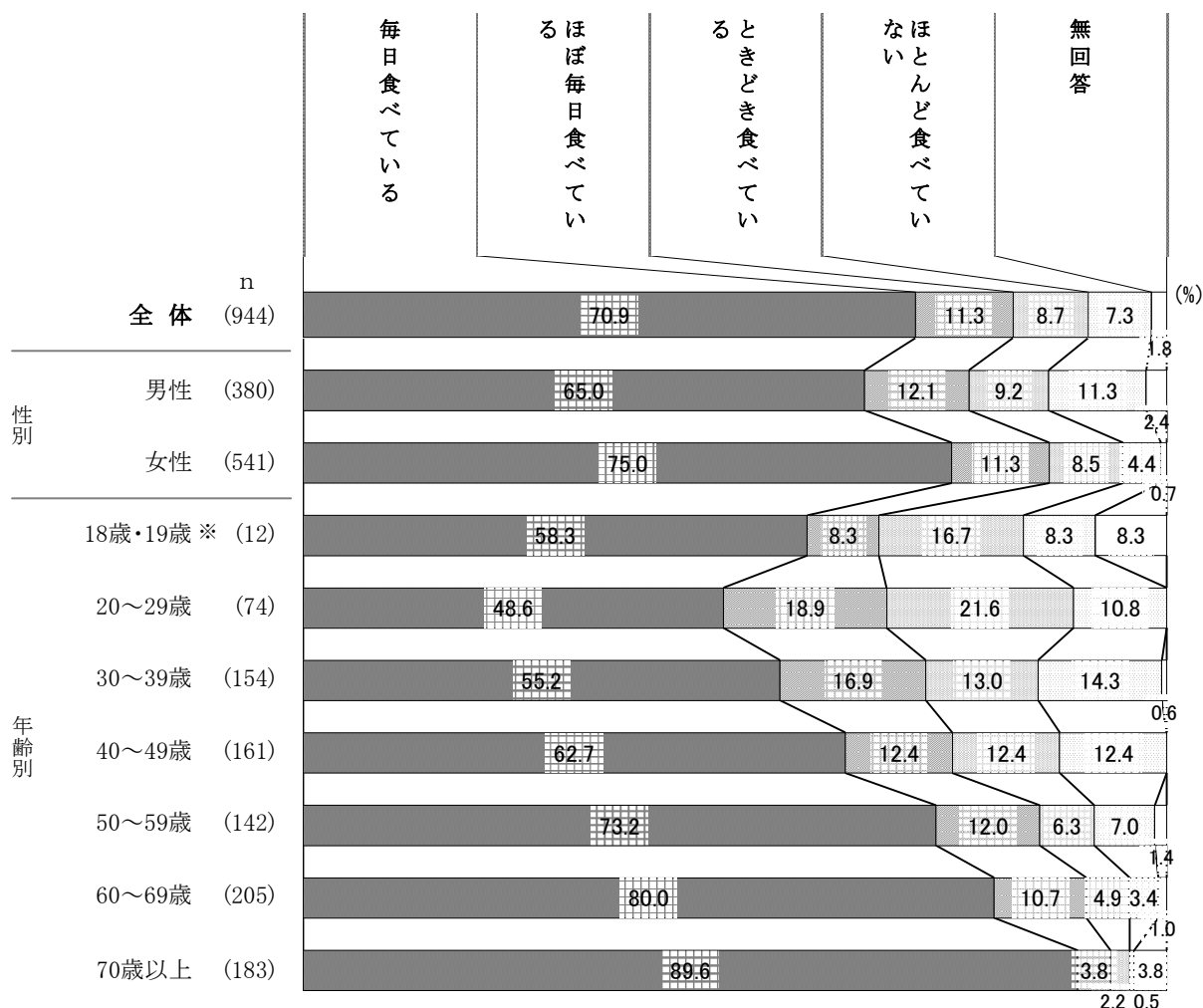
男性の年齢別でみると、「ほぼ毎日」は70歳以上で27.3%と最も高く、次いで60～69歳で19.8%となっている。「週2～4回」は60～69歳が27.5%、70歳以上が27.3%と高い。一方、「行っていない」は40～49歳で62.2%と最も高く、次いで50～59歳で60.0%、30～39歳で52.0%となっている。

女性の年齢別でみると、「ほぼ毎日」は70歳以上で15.5%と最も高く、次いで60～69歳で15.0%となっている。「週2～4回」は60～69歳で35.4%と最も高く、次いで70歳以上で28.2%となっている。一方、「行っていない」は30～39歳で60.2%と最も高く、次いで40～49歳で56.5%、50～59歳で56.0%となっている。

※回答者数が30未満の場合は、統計上の誤差が大きくなるため本文ではふれていない。

(3) 朝食の摂取状況

問21 あなたは朝食を食べていますか。(1つに○)



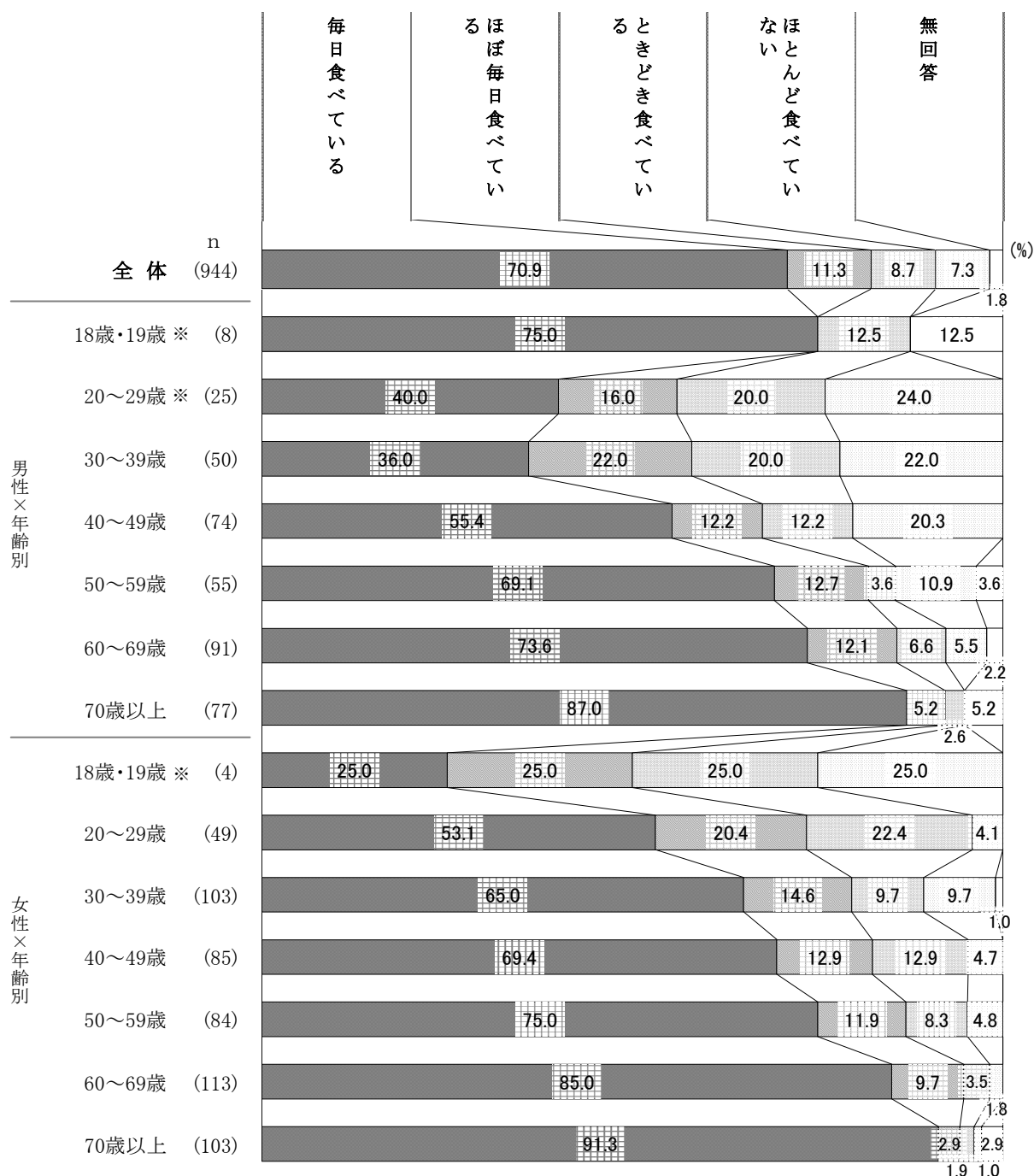
朝食を食べているかは、「毎日食べている」が70.9%と7割を超え、「ほぼ毎日食べている」と合わせると82.2%と8割を超えている。一方、「ときどき食べている」「ほとんど食べていない」を合わせると16.0%で、ほぼ毎日以上食べているかたの割合が66.2ポイント高い。

性別でみると、「毎日食べている」は女性（75.0%）が男性（65.0%）よりも10.0ポイント高い。一方、「ほとんど食べていない」は男性（11.3%）が女性（4.4%）よりも6.9ポイント高い。

年齢別でみると、「毎日食べている」は70歳以上で89.6%と最も高く、年齢が下がるほど割合が低くなる傾向がみられ、20～29歳で48.6%と最も低い。その代り「ほぼ毎日食べている」は20～29歳で18.9%と最も高く、「ときどき食べている」も20～29歳で21.6%と最も高い。一方、「ほとんど食べていない」は30～39歳で14.3%と最も高い。

※回答者数が30未満の場合は、統計上の誤差が大きくなるため本文ではふれていない。

○朝食の摂取状況・性別×年齢別



男性の年齢別で見ると、「毎日食べている」は70歳以上で87.0%と最も高く、次いで60～69歳で73.6%、50～59歳で69.1%となっている。

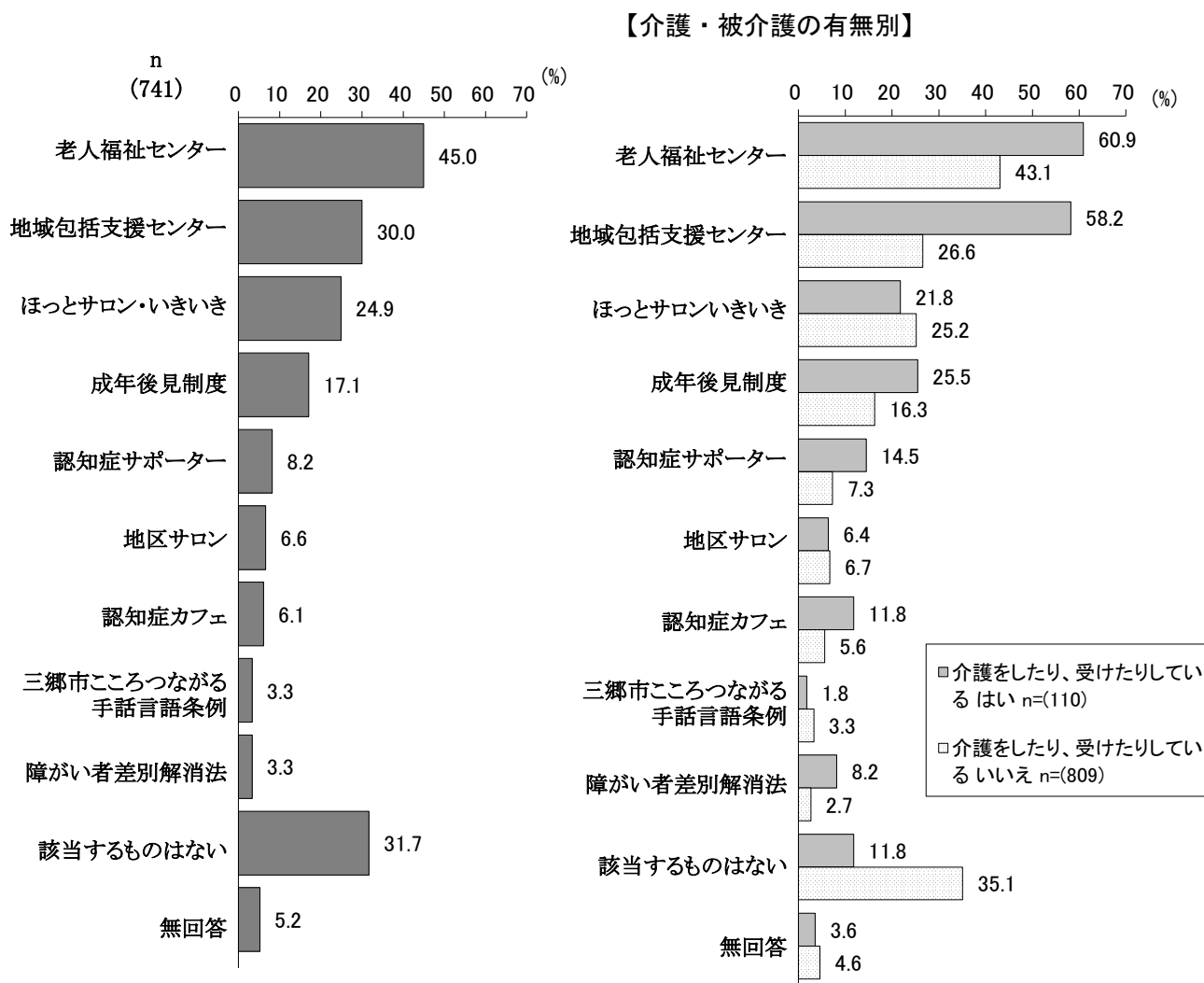
女性の年齢別で見ると、「毎日食べている」は70歳以上で91.3%と最も高く、次いで60～69歳で85.0%、50～59歳で75.0%となっており、他の年齢層でも5割を超えている。

※回答者数が30未満の場合は、統計上の誤差が大きくなるため本文ではふれていない。

9. 福祉について

(1) 市の福祉に関する事柄の認知状況

問22 三郷市の福祉に関する次の事柄のうち、あなたが見たことや聞いたことがあるものすべてを選んでください。(あてはまるものすべてに○)



三郷市の福祉に関する事柄のうち、見たことや聞いたことがあるものは、「老人福祉センター」が45.0%と最も高く、次いで「地域包括支援センター」が30.0%、「ほっとサロン・いきいき」が24.9%となっている。一方、「該当するものはない」は31.7%となっている。

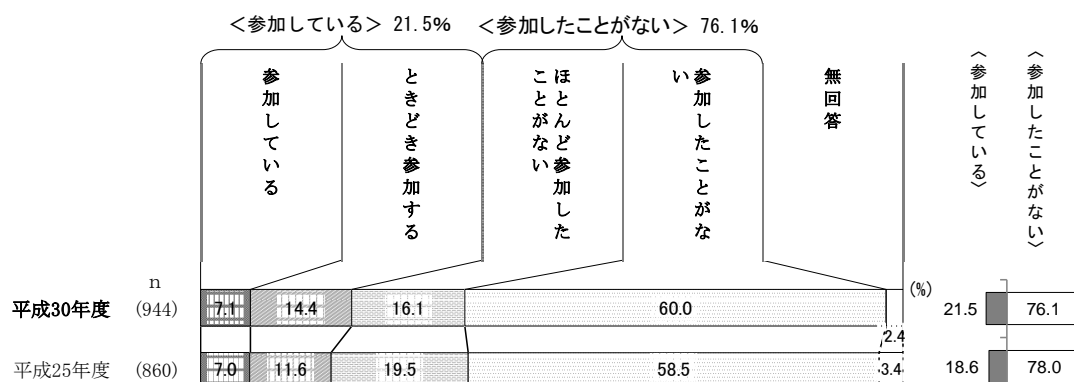
介護・被介護の有無別でみると、介護をしたり、受けたりしている（はい）かたでは「老人福祉センター」が60.9%、「地域包括支援センター」が58.2%と6割前後あり高い。一方、介護をしたり、受けたりしている（いいえ）かたでは「老人福祉センター」が43.1%で最も高く、次いで「該当するものはない」が35.1%となっている。



10. 参加と協働のまちづくりについて

(1) 市民活動・ボランティア活動への参加状況

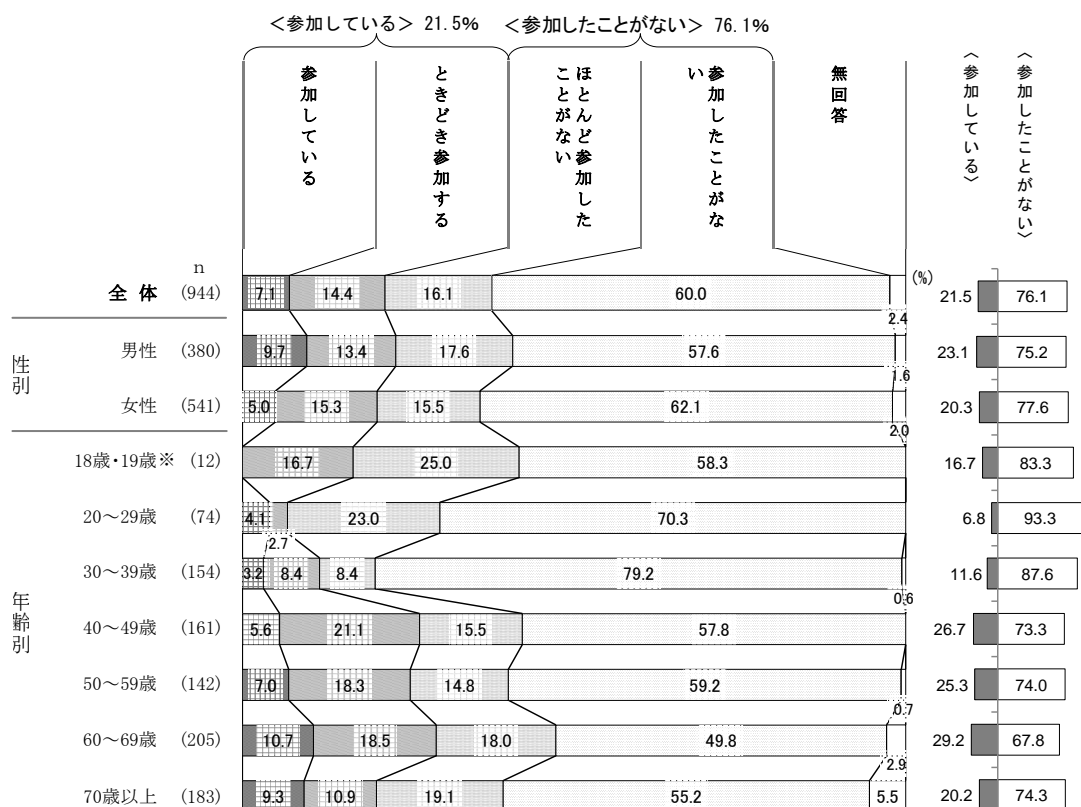
問23 あなたは、市民活動やボランティア活動に参加していますか。(1つに○)



市民活動やボランティア活動への参加は、「参加している」「時々参加する」を合わせた「参加している」は21.5%となっている。一方、「参加したことがない」は60.0%で最も高く、「ほとんど参加したことがない」と合わせた「参加したことがない」は76.1%となっている。

平成25年度と比較すると、「参加している」は平成25年度が18.6%、平成30年度が21.5%となっており、2.9ポイント増加している。

○市民活動・ボランティア活動への参加状況・性別／年齢別



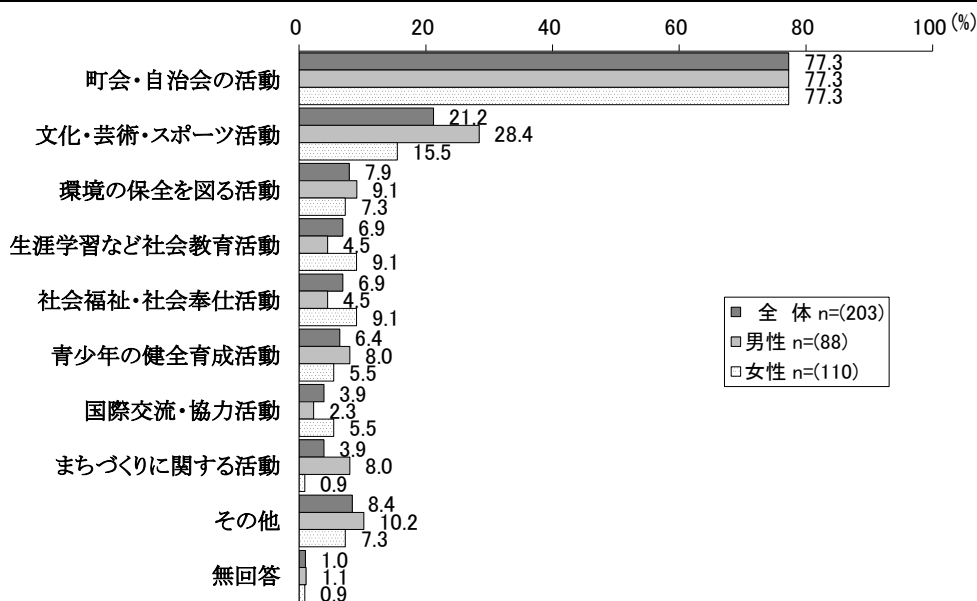
性別で見ると、「参加している」は男性 (23.1%) が女性 (20.3%) よりも2.8ポイント高い。一方、「参加したことがない」は女性 (77.6%) が男性 (75.2%) よりも2.4ポイント高い。

年齢別で見ると、「参加している」は60～69歳で29.2%と最も高く、40歳以上の年齢層で2割を超えている。一方、「参加したことがない」は20～29歳で93.3%、30～39歳で87.6%と高く、すべての年齢層で6割を超えている。

※回答者数が30未満の場合は、統計上の誤差が大きくなるため本文ではふれていない。

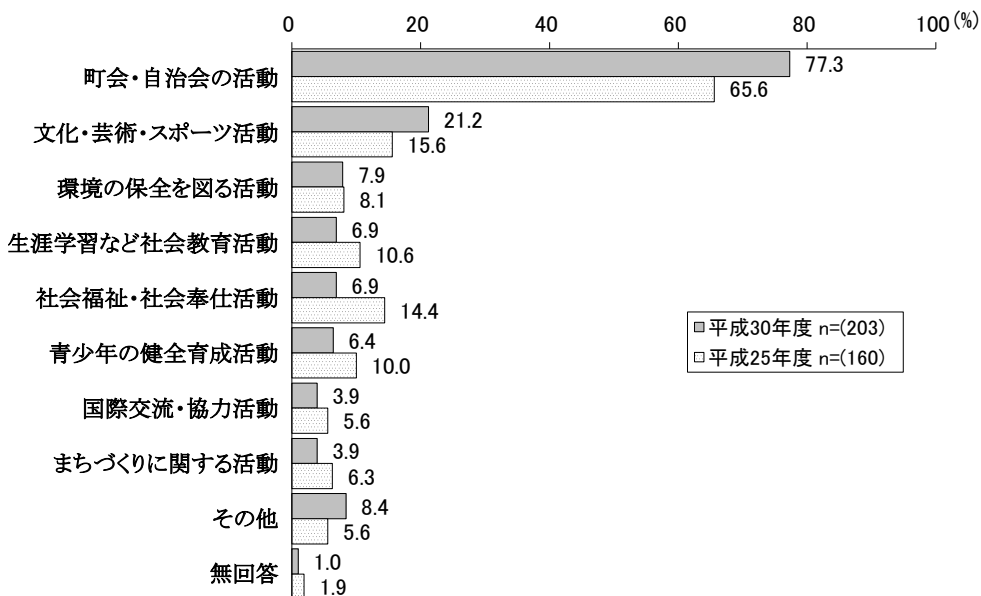
(2) 参加している活動

問23-1 あなたが参加している活動は、どのようなものですか。
(あてはまるものすべてに○)



問23で「参加している」「ときどき参加する」と回答したかたの参加している活動は、「町会・自治会の活動」が77.3%と7割を超えて最も高く、次いで「文化・芸術・スポーツ活動」が21.2%となっている。

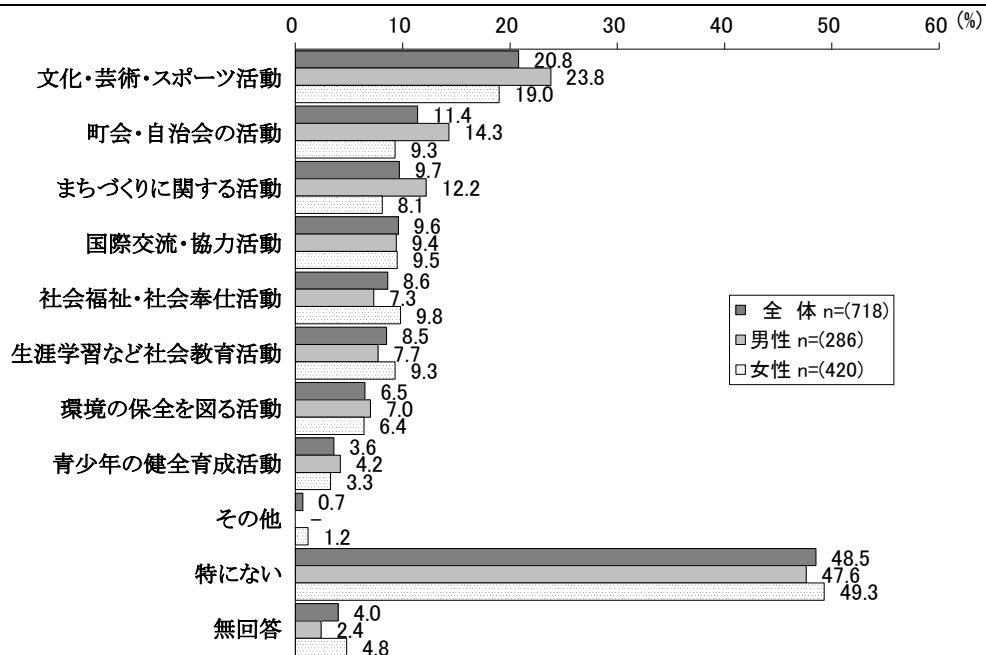
性別でみると、「町会・自治会の活動」は男性女性ともに77.3%と最も高い。また、「文化・芸術・スポーツ活動」は男性（28.4%）が女性（15.5%）よりも12.9ポイント高く、「まちづくりに関する活動」は男性（8.0%）が女性（0.9%）よりも7.1ポイント高い。一方、「生涯学習など社会教育活動」「社会福祉・社会奉仕活動」はともに女性が男性よりも4.6ポイント高い。



平成25年度と比較すると、「町会・自治会の活動」「文化・芸術・スポーツ活動」で割合が増加しているものの、それ以外の項目では減少している。

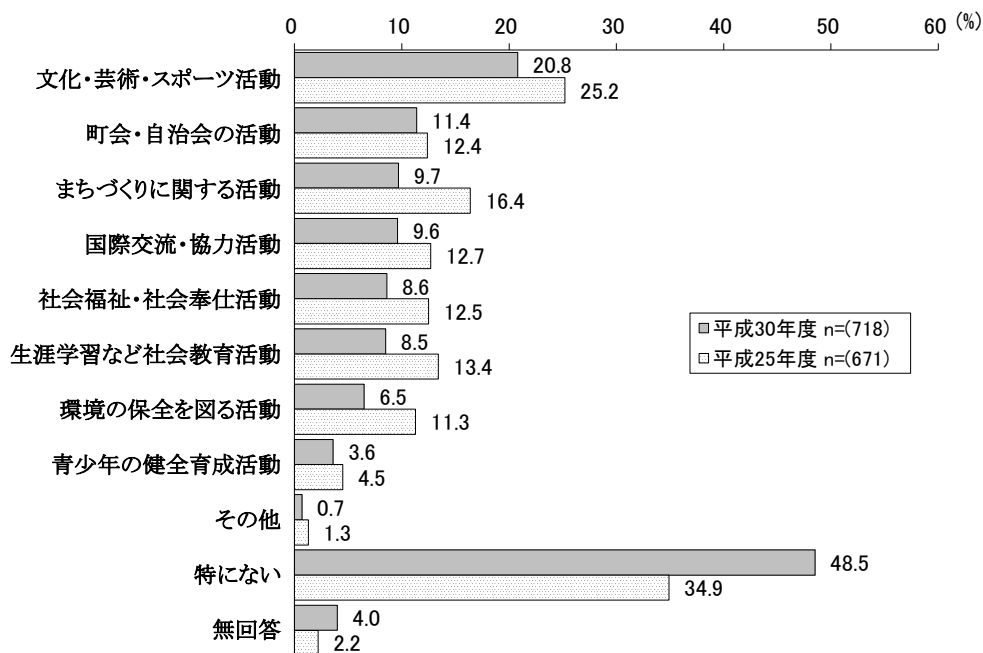
(3) 参加したい活動や関心のある活動

問23-2 あなたが今後参加したい活動や関心のある活動は、どのようなものですか。
(あてはまるものすべてに○)



問23で「ほとんど参加したことがない」「参加したことがない」と回答したかたの今後参加したい活動や関心のある活動は、「文化・芸術・スポーツ活動」が20.8%と最も高く、次いで「町会・自治会の活動」が11.4%、「まちづくりに関する活動」が9.7%となっている。一方、「特にない」は48.5%となっている。

性別でみると、「文化・芸術・スポーツ活動」「町会・自治会の活動」「まちづくりに関する活動」はいずれも男性が女性よりも4ポイント以上高い。一方、「社会福祉・社会奉仕活動」「生涯学習など社会教育活動」は女性が男性よりも1ポイント以上高い。

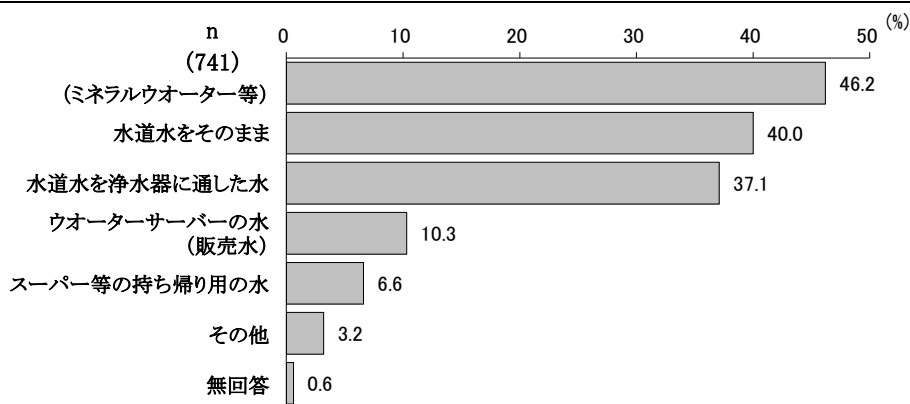


平成25年度と比較すると、どの項目も割合が減少している中、「特にない」は13.6ポイント増加している。

11. 水道について

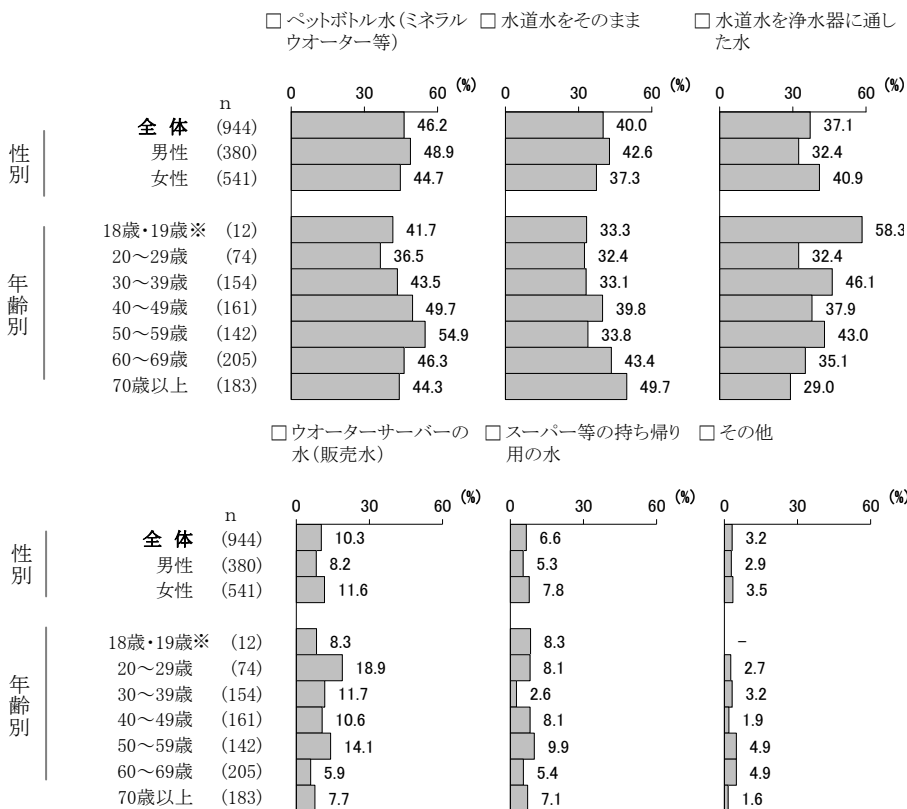
(1) 飲料水について

問24 あなたは、どのような水を飲んでますか。(あてはまるものすべてに○)



どのような水を飲んでいるかは、「ペットボトル水（ミネラルウォーター等）」が46.2%と最も高く、次いで「水道水をそのまま」が40.0%、「水道水を浄水器に通した水」が37.1%となっている。

○飲料水について・性別／年齢別



性別で見ると、「ペットボトル水（ミネラルウォーター等）」は男性（48.9%）が女性（44.7%）よりも4.2ポイント高く、「水道水をそのまま」は男性（42.6%）が女性（37.3%）よりも5.3ポイント高い。一方、「水道水を浄水器に通した水」は女性（40.9%）が男性（32.4%）よりも8.5ポイント高い。

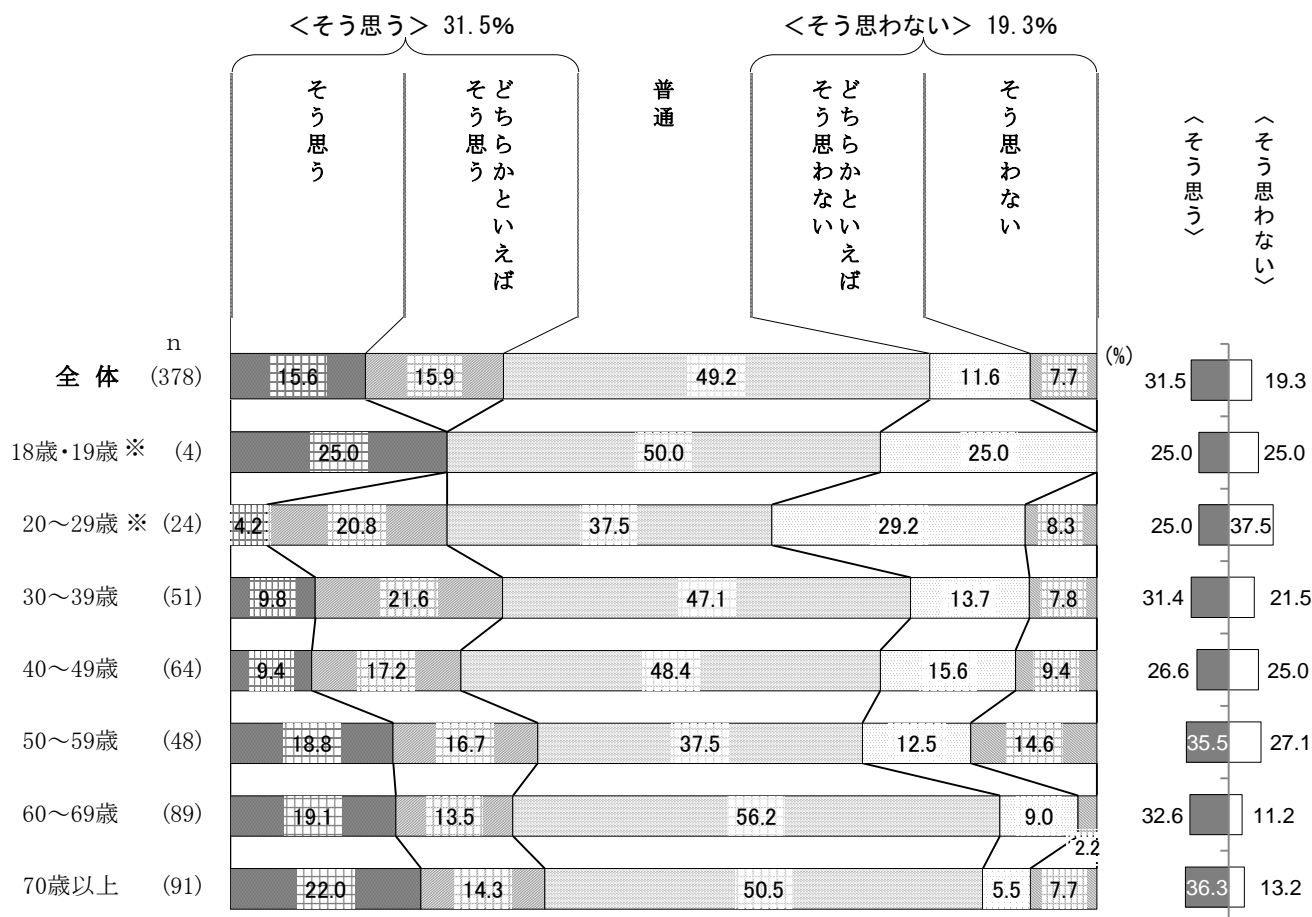
年齢別で見ると、「ペットボトル水（ミネラルウォーター等）」は50～59歳で54.9%、40～49歳で49.7%と高く、30歳以上の年齢層で4割を超えている。「水道水をそのまま」は70歳以上で49.7%と最も高く、次いで60～69歳で43.4%となっている。

※回答者数が30未満の場合は、統計上の誤差が大きくなるため本文ではふれていない。

(2) 水道水はおいしいと思うか

問24-1 水道水はおいしいと思いますか。(1つに○)

○水道水はおいしいと思うか・年齢別



問24で「水道水をそのまま」飲んでいると回答したかたが、水道水をおいしいと思うかは、「普通」が49.2%と最も高い。「そう思う」「どちらかといえばそう思う」を合わせた<そう思う>は31.5%となっている。一方、「そう思わない」「どちらかといえばそう思わない」を合わせた<そう思わない>は19.3%となっている。

年齢別でみると、「普通」は60～69歳で56.2%と最も高い。<そう思う>は70歳以上で36.3%、50～59歳で35.5%と高い。一方、<そう思わない>は40～49歳で15.6%となっている。

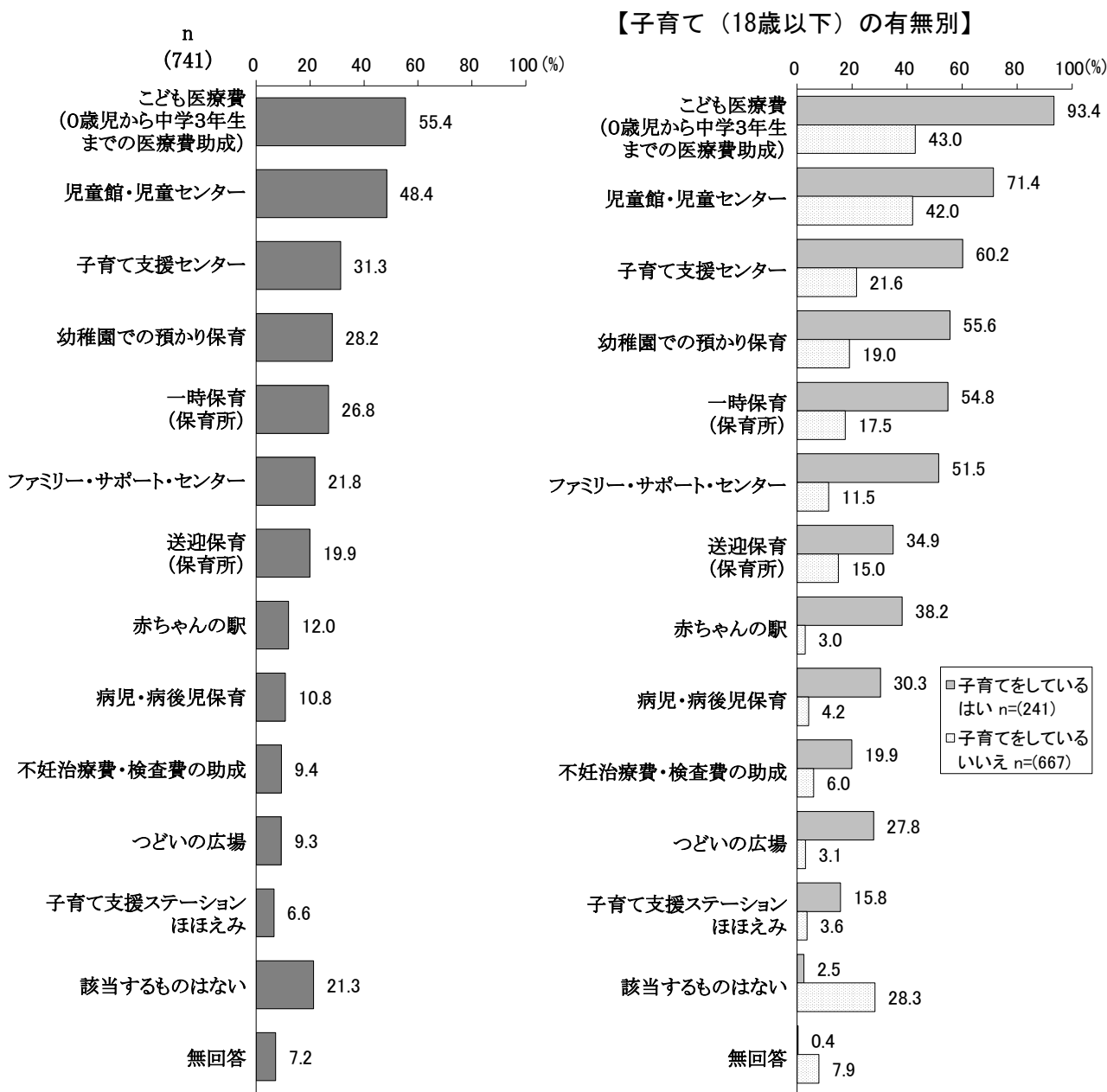
※回答者数が30未満の場合は、統計上の誤差が大きくなるため本文ではふれていない。



12. 子育て支援について

(1) 市の子育て支援に関する事柄の認知状況

問25 三郷市の子育て支援に関する次の事柄のうち、あなたが見たことや聞いたことがあるものをすべて選んでください。(あてはまるものすべてに○)



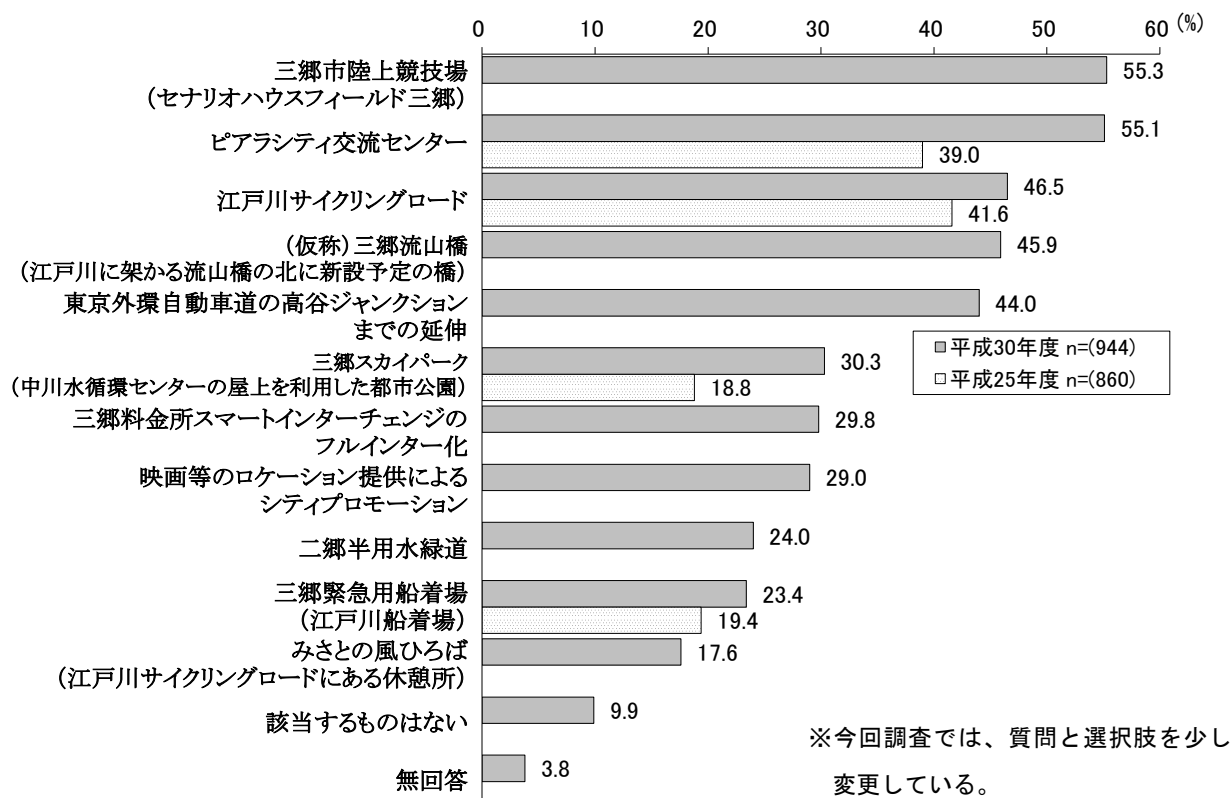
三郷市の子育て支援に関する事柄のうち、見たことや聞いたことがあるものは、「こども医療費（0歳児から中学3年生までの医療費助成）」が55.4%と最も高く、次いで「児童館・児童センター」が48.4%、「子育て支援センター」が31.3%、「幼稚園での預かり保育」が28.2%となっている。一方、「該当するものはない」は21.3%となっている。

子育て（18歳以下）の有無別で見ると、いずれの項目も子育てをしている（はい）かたが、子育てをしていない（いいえ）のかたよりも割合が高く、「こども医療費（0歳児から中学3年生までの医療費助成）」が93.4%と最も高い。また、「該当するものはない」は2.5%と最も低い。一方、子育てをしていない（いいえ）かたでは、子育てをしている（はい）かたと上位2項目の順位は同じだが「該当するものはない」が28.3%で第3位となっている。

13. まちづくりについて

(1) 市のまちづくりに関する事柄の認知状況

問26 三郷市のまちづくりに関する次の事柄のうち、あなたが見たことや聞いたことがあるものをすべて選んでください。(あてはまるものすべてに○)



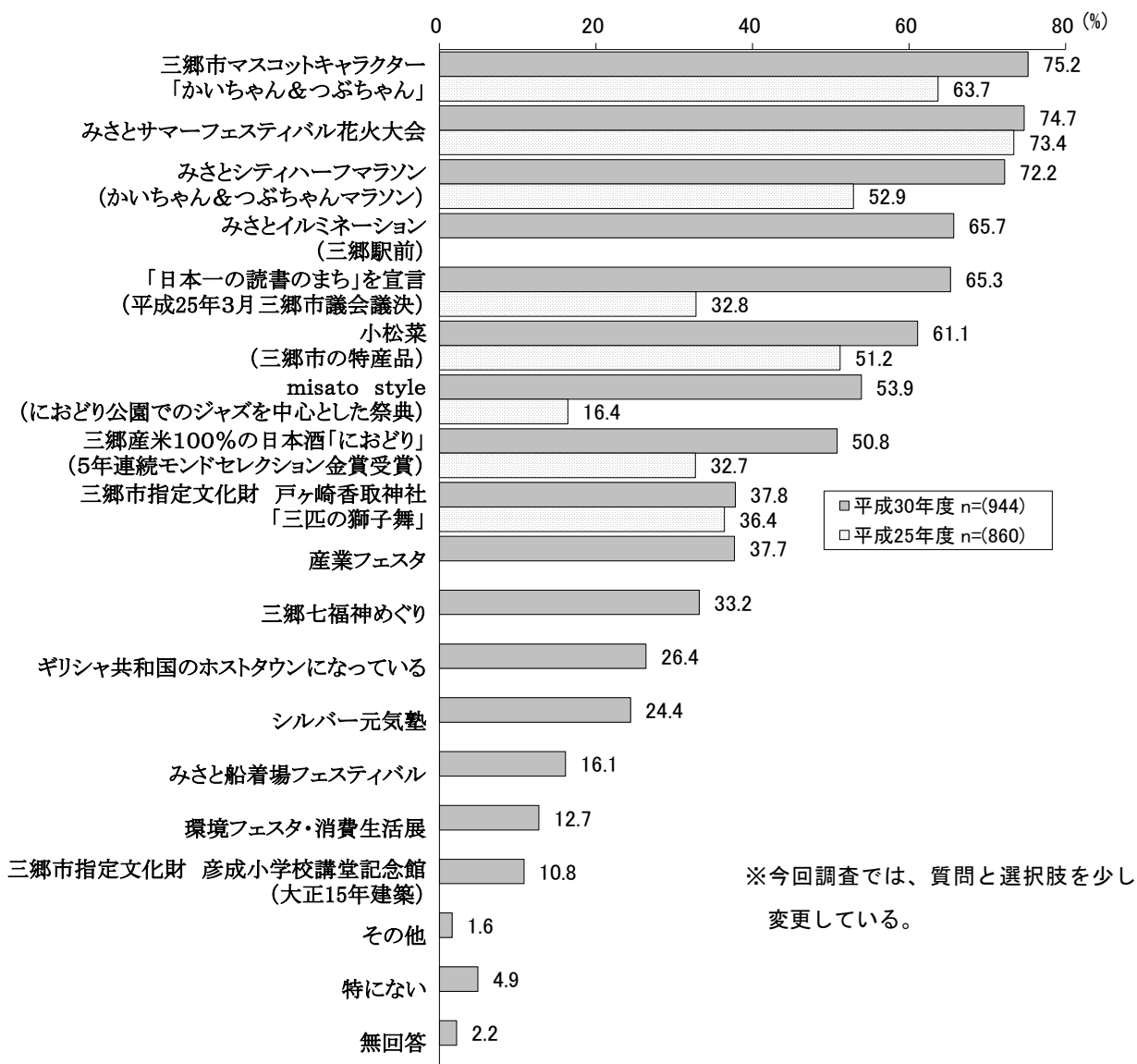
三郷市のまちづくりに関する事柄のうち、見たことや聞いたことがあるものは、「三郷市陸上競技場(セナリオハウスフィールド三郷)」が55.3%、「ピアラシティ交流センター」が55.1%と5割を超えており、次いで「江戸川サイクリングロード」が46.5%、「(仮称)三郷流山橋(江戸川に架かる流山橋の北に新設予定の橋)」が45.9%、「東京外環自動車道の高谷ジャンクションまでの延伸」が44.0%となっている。

平成25年度と比較すると、「ピアラシティ交流センター」が16.1ポイント、「三郷スカイパーク(中川水循環センターの屋上を利用した都市公園)」が11.5ポイントと大きく増加している。また、「江戸川サイクリングロード」が4.9ポイント、「三郷緊急用船着場(江戸川船着場)」が4.0ポイント増加している。

14. 事柄・イベント等について

(1) 市に関する事柄・イベント等の認知状況

問27 三郷市に関する次の事柄・イベント等のうち、あなたが見たことや聞いたことがあるものをすべて選んでください。(あてはまるものすべてに○)



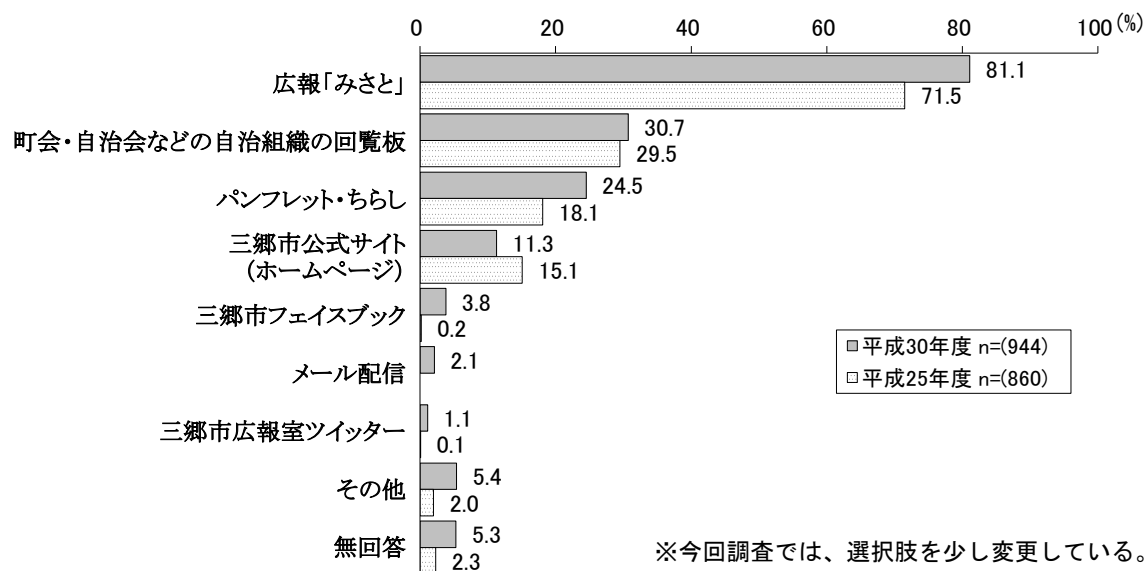
三郷市に関する事柄・イベント等のうち、見たことや聞いたことがあるものは、「三郷市マスコットキャラクター「かいちゃん&つぶちゃん」」が75.2%、「みさとサマーフェスティバル花火大会」が74.7%、「みさとシティハーフマラソン(かいちゃん&つぶちゃんマラソン)」が72.2%と7割を超えて高く、次いで「みさとイルミネーション(三郷駅前)」が65.7%、「「日本一の読書のまち」を宣言(平成25年3月三郷市議会議決)」が65.3%、「小松菜(三郷市の特産品)」が61.1%となっている。

平成25年度と比較すると、「misato style(におどり公園でのジャズを中心とした祭典)」「「日本一の読書のまち」を宣言(平成25年3月三郷市議会議決)」がともに30ポイント以上増加している。また、「みさとシティハーフマラソン(かいちゃん&つぶちゃんマラソン)」「三郷産米100%の日本酒「におどり」(5年連続モンドセレクション金賞受賞)」「三郷市マスコットキャラクター「かいちゃん&つぶちゃん」」がいずれも10ポイント以上増加している。

15. 広報について

(1) 市の事業やイベント情報の入手先

問28 あなたは、三郷市の事業やイベントの情報をどのような方法で入手していますか。
(あてはまるものすべてに○)

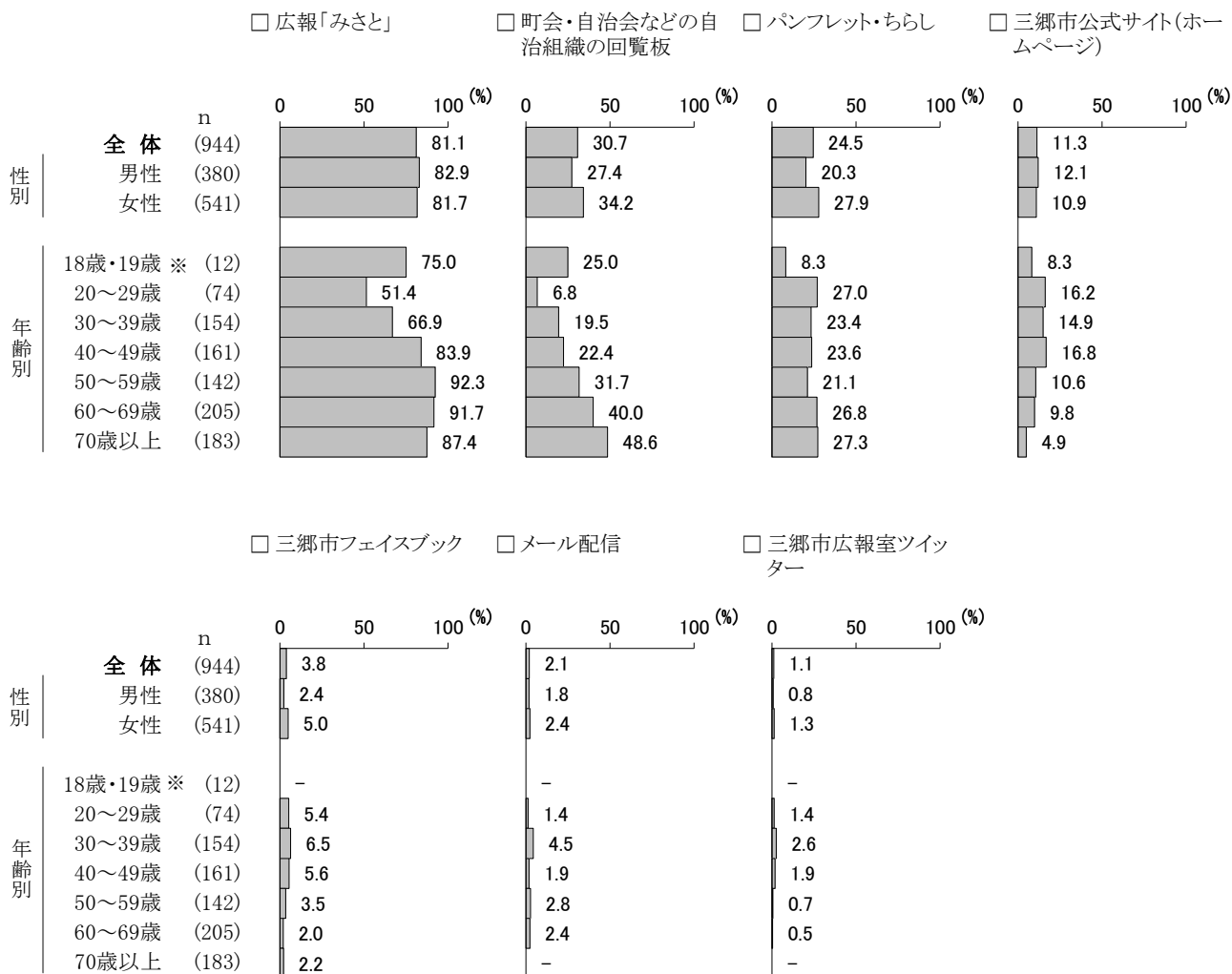


三郷市の事業やイベントの情報の入手先は、「広報「みさと」」が81.1%と最も高く、次いで「町会・自治会などの自治組織の回覧板」が30.7%、「パンフレット・ちらし」が24.5%、「三郷市公式サイト（ホームページ）」が11.3%となっている。

平成25年度と比較すると、上位4項目の順位は同じであるが、その中でも「広報「みさと」」「パンフレット・ちらし」で割合が大きく増加している。一方、4番目の「三郷市公式サイト（ホームページ）」は3.8ポイント減少している。



〇市の事業やイベント情報の入手先・性別／年齢別



性別で見ると、「広報「みさと」」は男女ともに8割を超えて高い。また、「パンフレット・ちらし」は女性(27.9%)が男性(20.3%)よりも7.6ポイント、「町会・自治会などの自治組織の回覧板」は女性(34.2%)が男性(27.4%)よりも6.8ポイント高い。

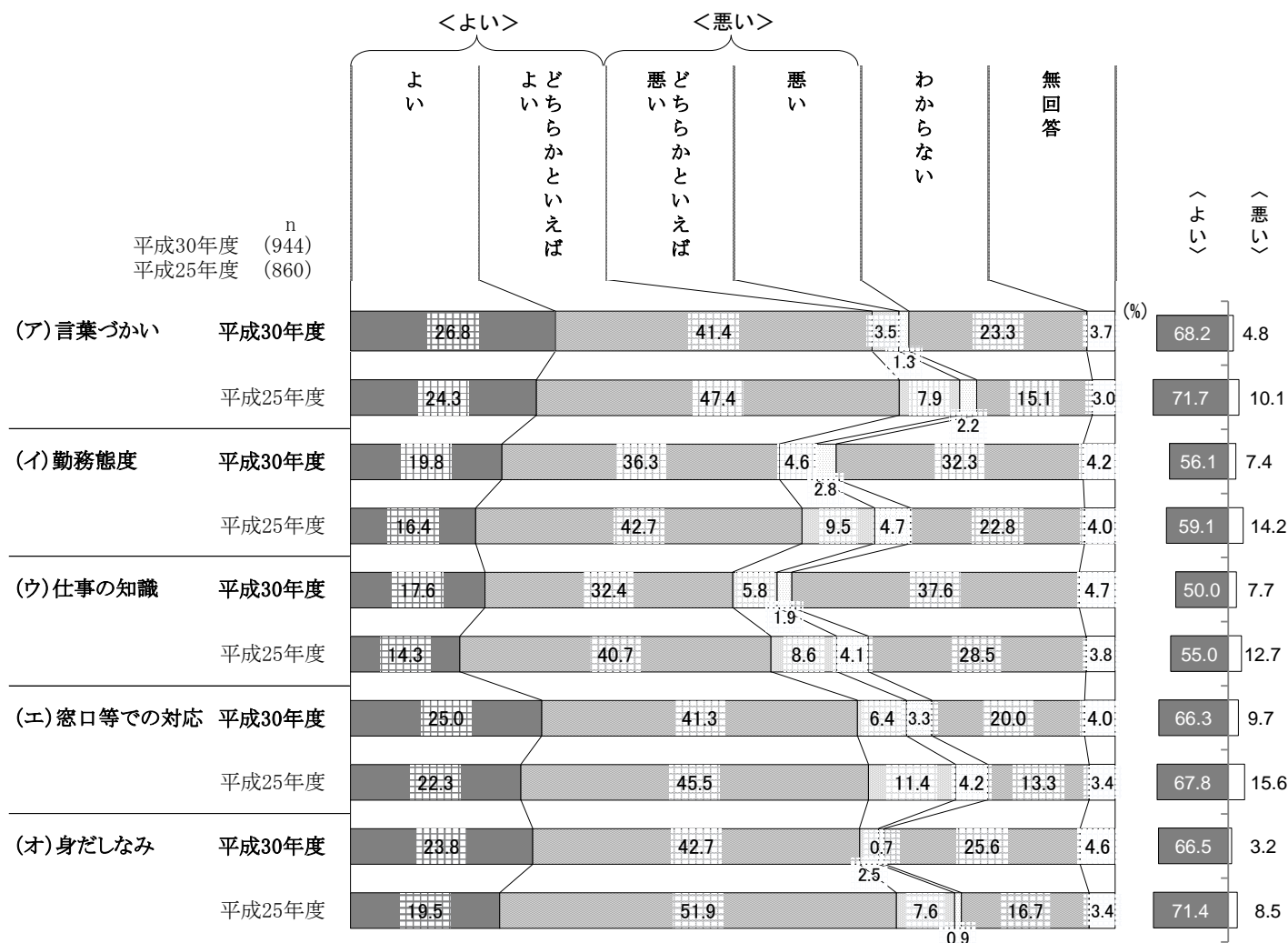
年齢別で見ると、「広報「みさと」」は50～59歳で92.3%、60～69歳で91.7%と9割を超えて高く、40歳以上の年齢層で8割を超えている。「町会・自治会などの自治組織の回覧板」は70歳以上で48.6%と最も高く、年齢が下がるほど割合が低くなる傾向がみられ、20～29歳で6.8%となっている。「三郷市公式サイト(ホームページ)」は20～49歳の年齢層で15%前後と、他の年齢層に比べて高い。

※回答者数が30未満の場合は、統計上の誤差が大きくなるため本文ではふれていない。

16. 市職員の印象について

(1) 市職員の印象

問29 あなたは、市職員についてどのような印象をお持ちですか。(ア)～(オ)の各項目ごとにお答えください。(それぞれの項目で、1つに○)



市の職員の印象は、『言葉づかい』『身だしなみ』『窓口等での対応』で「よい」「どちらかといえばよい」を合わせた<よい>が6割を超えて高い。また、『仕事の知識』『勤務態度』は「わからない」が3割台となっている。

平成25年度と比較すると、いずれの項目も「よい」の割合は増加しているが「どちらかといえばよい」を合わせた<よい>は減少している。一方、「どちらかといえば悪い」「悪い」を合わせた<悪い>は、いずれの項目も5ポイント以上減少している。また、「わからない」はいずれの項目も6ポイント以上増加している。

17. 自由意見

市政についての意見、要望などを自由に記入していただいたところ、346人からご意見をいただきました。記入のあった内容について、「第4次三郷市総合計画後期基本計画」の施策項目にあてはめ集計したところ、以下のとおりとなりました。なお、複数の内容にわたる場合は複数のご意見としてそれぞれの項目へ分類しています。

【項目別意見数（延べ件数）】

項 目		件数
【まちづくり方針】		
1 安全でいつも安心して住めるまちづくり		
1 災害から市民の命と財産を守る	1-1 防災体制の充実	12
	1-2 水害対策の強化	9
2 安心して暮らせる地域社会をつくる	1-4 防犯活動の強化	27
	1-5 交通安全対策の推進	27
2 水と緑を大切にした環境にやさしいまちづくり		
3 自然を身近に感じられるまちをつくり、守る	2-1 環境共生のまちづくりの推進	2
	2-2 緑と水辺による快適環境の創造	8
4 地球にやさしい暮らしを推進する	2-3 生活環境の保全	23
	2-4 ごみの減量と廃棄物の適正処理	6
	2-5 公共下水道整備の推進	6
3 都市基盤の充実した住みやすいまちづくり		
5 ゆとりある快適な都市を実現する	3-1 地域特性に応じた計画的な土地利用の推進	9
	3-2 地域の個性を生かした魅力ある拠点の形成	6
	3-3 快適で安全な住環境の整備	7
	3-4 良好な景観形成の推進	7
	3-5 計画的に配置された公園整備の推進	18
6 便利で快適な市民活動を支える都市を実現する	3-6 円滑に移動できる道づくりの推進	67
	3-7 公共交通の充実	41
	3-8 良質な水の安定供給	1
4 魅力的で活力のあるまちづくり		
7 豊かな暮らしを支えるために、都市の活力を高める	4-1 にぎわいのある商業の振興	41
	4-3 都市型農業の振興	1
8 まちに人々を集め、にぎわいを生み出す	4-4 地域資源を生かした産業の創出	1
	4-5 労働環境の充実	10
	4-6 魅力ある観光の振興	5
5 人が育ち活躍できるまちづくり		
9 誰もが、いつでも読書に親しむ環境をつくる	5-1 日本一の読書のまち三郷の推進	24

項目		件数
10 子どもや若者が学び、健やかに育つ環境をつくる	5-2 学校教育の充実	16
	5-3 青少年健全育成の推進	1
11 誰もがいつでも学び、生きがいを持てる社会をつくる	5-4 生涯学習の推進	1
	5-5 スポーツ・レクリエーションの推進	14
	5-6 文化・芸術の振興	3
	5-7 文化財・伝統文化の保存・継承	3
12 誰もが平等に暮らせる社会を実現する	5-8 平和と人権を大切にする社会づくり	1
	5-10 多様な交流の推進	1
6 健やかで自立した生活を支え合うまちづくり		
13 誰もが健康でいきいきと暮らせるまちをつくる	6-1 健康づくりの推進	14
	6-2 子ども・子育て支援の充実	49
	6-3 高齢者福祉の充実	15
	6-4 障がい者福祉の充実	6
14 互いに支え合う福祉のまちを実現する	6-5 地域福祉の推進	2
	6-6 人にやさしいまちづくりの推進	6
	6-8 地域包括ケアシステムの構築	1
【経営方針】		
2 地域力の醸成	2 コミュニティ活動の促進	1
3 参加・協働のしくみづくり	3 情報共有の推進	17
4 行財政基盤の強化	7 計画行政の推進	15
	8 健全な財政運営	9
	9 公共施設マネジメントの推進	3
その他		46



第3章 調査票

1. 第17回三郷市民意識調査 調査票 (縮尺版)

第17回三郷市市民意識調査への
ご協力をお願い

市民の皆様には、日頃から市政に対しご理解とご協力をいただき、厚くお礼申し上げます。さて、このアンケート調査は、三郷市にお住まいの皆様が市政にどのようなご意見、ご要望をお持ち、どのように暮らしているのかをうかがい、今後の本市のまちづくりの参考とするために行っているもので、平成28年に策定した「第4次三郷市総合計画(後期基本計画)」の進捗評価にも活用させていただきます。

この調査の実施にあたり、平成30年6月1日現在で、市内に居住する満18歳以上の市民のかたを対象とし、2,000名を無作為に選ばせていただきました。

この調査は無記名であり、統計的に処理しますので、皆様にご迷惑をおかけすることは一切ありません。一人でも多くの皆様のご意見をお聞かせいただきたいと存じますので、ご多用のところ誠に恐縮ですが、調査の趣旨をご理解いただきご協力くださいますようお願い申し上げます。

平成30年7月

三郷市長 木津雅晟

調査票記入上の注意

1. あて名のご本人がお答えください。(氏名を記入する必要はありません。)
2. 黒のボールペン又は鉛筆でご記入ください。
3. お答えは、設問ごとに「1つに○」、「あてはまるものすべてに○」などと指定されていますので、あてはまる番号を○で囲んでください。
4. ご記入いただいた調査票は7月20日(金)までに同封の返信用封筒に入れて切手を貼らずにそのままご返送ください。

問い合わせ先：三郷市 市民生活部 広聴室 TEL：048-930-7822
E-MAIL：kouhou@city.misato.lg.jp

◆パソコン・スマートフォンから、インターネットで回答できます。

https://s-kantan.com/city-misato-saitama-u/offer/offerList_detail.action?tempSeq=7159

*パソコンからは、ブラウザのURL欄に上記URLを入力して画面に進んでください。

*スマートフォンからは、右記のQRコードを読み取ってアクセスできます。

*回答の際は、以下の「ID」・「パスワード」を入力してください。

「ID」・「パスワード」から個人が特定されることはありません。

ID：170001

パスワード：6w2ua7

*インターネットで回答をしていただいたきましたら、調査票の返送の必要はございません。



(スマートフォン用)

住みごころちと定住意識について

問1 あなたにとって、現在の三郷市の住みごころちはいかがですか。(1つに○)

1. 非常に住みよい
2. まあ住みよい
3. 普通
4. やや住みにくい
5. 非常に住みにくい

問2 あなたが三郷市にお住まいになっただけは、次のうちどれですか。(1つに○)

1. 生まれたときから三郷市
2. 仕事の都合
3. 学校の都合
4. 住宅の都合
5. 家庭の都合
6. その他 (具体的に)

《問2で「2」、「3」、「4」、「5」、「6」と回答したかたにお聞きします。》

問2-1 あなたが三郷市を選んだ理由は、次のうちどれですか。(2つ以内で○)

1. 住環境がよいため (広さ・日当たり等)
2. 買い物に便利のため
3. 通勤・通学に便利のため
4. 子育てや子どもの教育のため
5. 家族の介護のため
6. 自然環境がよいため
7. その他 (具体的に)

問3 あなたは、これからも三郷市に住みたいと思いますか。(1つに○)

1. ずっと住みたい
2. 当分の間は住みたい
3. できれば市外に転居したい
4. 市外に転居したい
5. わからない



《問3で「3」、「4」と回答したかたにお聞きします。》

問3-1 市外に転居したい理由は、次のうちどれですか。(2つ以内で○)

1. 住環境が悪い (広さ・日当たり等)
2. 買い物に不便のため
3. 通勤・通学に不便のため
4. 子どもの教育のため
5. 家族の介護のため
6. 地域になじめないため
7. 医療機関が近くにないため
8. 余暇を過ごす場所が少ないため
9. その他 (具体的に)

三郷市全体について

問4 あなたは、三郷市に誇りや愛着・親しみを感じていますか。(1つに○)

1. 誇りや愛着・親しみを感じている	3. どちらかといえは誇りや愛着・親しみを感じていない
2. どちらかといえは誇りや愛着・親しみを感じている	4. 誇りや愛着・親しみを感じていない
	5. わからない

問5 ここ数年、以前と比べ三郷市のイメージは変わりましたか。(1つに○)

1. よくなった	4. どちらかといえは悪くなった
2. どちらかといえはよくなった	5. 悪くなった
3. 変わらない	


問6 あなたは三郷市のイメージについて、どのようにお考えですか。(ア)～(サ)の各項目ごとにお答えください。(それぞれの項目で、1つに○)

項目	そう思う	そう思うといえは	どちらかといえは	そう思わない	どちらかといえは	そう思わない	わからない
(ア) 日常生活に便利なまち	1	2	3	4	5		
(イ) 交通の便がよいまち	1	2	3	4	5		
(ウ) 商業施設が充実しているまち	1	2	3	4	5		
(エ) おしゃれで洗練されたまち	1	2	3	4	5		
(オ) 人口が増えているまち	1	2	3	4	5		
(カ) 発展の可能性を秘めたまち	1	2	3	4	5		
(キ) 自然環境のよいまち	1	2	3	4	5		
(ク) 動きやすいまち	1	2	3	4	5		
(ケ) 子育てがしやすいまち	1	2	3	4	5		
(コ) 家族で遊ぶところが多いまち	1	2	3	4	5		
(サ) 文化や伝統が感じられるまち	1	2	3	4	5		

問7 あなたは、三郷のまちの特徴について魅力を感じていますか。(ア)～(コ)の各項目ごとにお答えください。(それぞれの項目で、1つに○)

項目	魅力を感じる	魅力を感じる	魅力を感じる	魅力を感じる	魅力を感じない
(ア) 鉄道交通の利便性	1	2	3	4	5
(イ) 高速道路を利用した交通の利便性	1	2	3	4	5
(ウ) 水と緑に恵まれた環境	1	2	3	4	5
(エ) 大型商業施設のあるまち	1	2	3	4	5
(オ) 今後も発展の可能性を感じるまち	1	2	3	4	5
(カ) 人口が増加傾向にあるまち	1	2	3	4	5
(キ) テレビ・映画撮影などロケ支援の取り組み	1	2	3	4	5
(ク) 「日本一の読書のまち三郷」の取り組み	1	2	3	4	5
(ケ) 子育て施策・子育て環境	1	2	3	4	5
(コ) 地域に伝わる伝統的な祭り	1	2	3	4	5

問8 あなたは、将来の三郷市がどのようなまちになってほしいと思いますか。(2つ以内で○)



1. 治安がよく、災害への備えが充実したまち
2. 市街地と豊かな緑の調和のとれたまち
3. 大学や先端的な研究所等が立地するまち
4. 流通・工業などの産業がさかんなまち
5. 賑わいのある商業施設の整備されたまち
6. 農業・商工業を活かした観光資源のあるまち
7. 豊かな自然が残る、歩いて楽しいまち
8. 市民が気軽に楽しめるスポーツ・レクリエーション施設の整備されたまち
9. 交通機関の整備された、通勤や通学に便利なまち
10. コミュニティ施設や文化施設を利用した市民活動や生涯学習がさかんなまち
11. 高齢者・障がい者・子ども等が安心して暮らせるまち
12. 外国人との交流がさかんなまち
13. その他(具体的に)

問9 あなたの考える将来の三郷市を実現するためには、今後、市としてどのような分野に力を入れていくべきだと思いますか。(3つ以内で○)

1. 医療体制の充実
2. 子育て支援施策の充実
3. 高齢者・障がい者福祉の推進
4. 消防・防災・防犯体制の充実・強化
5. 交通安全対策の推進
6. 自然環境の保全対策の推進
7. 公園緑地の整備
8. 計画的な土地利用の推進
9. 道路・公共交通機関の整備
10. 河川・水路の整備
11. 学校教育の充実
12. 青少年の健全育成の推進
13. 生涯学習の推進
14. スポーツ・文化・芸術の振興
15. 農業・商工業・観光の振興
16. コミュニティ活動の推進
17. 男女共同参画の推進
18. 都市・国際交流の推進
19. 行財政改革の推進
20. 市民と行政の参加と協働による行政運営の推進
21. その他
(具体的に)

防災について

問10 消防法及び三郷市火災予防条例により、住宅用火災警報器の設置が義務となっておりませんが、あなたのお住まいでは、どこに設置していますか。(あてはまるものすべてに○)

1. 寝室
2. 台所
3. 居間
4. 階段
5. その他
(具体的に)
6. 未設置

問11 あなたは日頃、防災のための準備をしていますか。(あてはまるものすべてに○)

1. 消火器の設置
2. 家具などの転倒防止
3. 飲料水や食料の備蓄
4. トイレなど生活用水の確保
5. 非常持ち出し袋の確保
6. 身内との連絡方法の確認
7. 避難経路や避難場所の確認
8. 町会・自治会等の自主防災会活動への参加
9. その他
(具体的に)
10. 特にない

問12 災害などから家族を守る方法について、どのような準備をしていますか。(あてはまるものすべてに○)

1. 住宅用火災警報器を定期的に点検している
2. 普通救命講習会を受講したことがある
3. AEDを設置している施設(コンビニ等も含む)を知っている
4. 地震ブレイカーを知っている
5. 24時間365日実施の埼玉県救急電話相談(電話番号 #7119 又は 048-824-4199)を知っている
6. その他(具体的に)
7. 特にない

読書のまち三郷について

問13 読書活動について、あなたが日頃、心がけていることや取り組んでいることはどのようなことですか。(あてはまるものすべてに○)

1. 本・雑誌(電子書籍を含む)を読む
2. 図書館(室)を利用している
3. 家族に読み聞かせをしている
4. 家族以外に読み聞かせをしている
5. 大人向けの読書イベントに参加している
6. 読書に取り組みやすい環境づくりをしている
7. 読書又は本に関する仕事をしている
8. その他(具体的に)
9. 特にない



問14 あなたが、三郷市の図書館サービスで見たことや聞いたことがあるものをすべて選んでください。(あてはまるものすべてに○)

1. 大人向けの図書館見学・図書館活用講座
2. 映画会
3. ビデオバトル(書評紹介ゲーム)
4. 大人のためのお話し会(朗読会)
5. 三郷市電子図書館で電子書籍が読める(平成30年3月開始)
6. みる・よむ・きく・ぱく・ぱりアリアコーナー(平成30年3月開始)
7. 該当するものはない

スポーツ・レクリエーションについて

問15 あなたは、日頃どの程度の程度スポーツやレクリエーション活動を行っていますか。(1つに○)

1. ほぼ毎日	4. 月1~2回
2. 週2~4回	5. 半年に2~3回
3. 週1回	6. 年1~2回
7. 行っていない	

《問15で「1」、「2」、「3」、「4」、「5」、「6」と回答したかたにお聞きします。》
 問15-1 あなたが、スポーツ・レクリエーション活動を行う理由は何ですか。(2つ以内で○)

1. 健康や体力づくりのため	7. 美容や肥満解消のため
2. 楽しみのため	8. 記録や技能を向上させるため
3. ストレス解消のため	9. その他
4. 運動不足解消のため	(具体的に)
5. 家族とのふれあいのため	10. 特にない
6. 友人・仲間との交流のため	

《問15で「7」と回答したかたにお聞きします。》
 問15-2 あなたが、スポーツ・レクリエーション活動を行わない理由は何ですか。(2つ以内で○)

1. 時間がないため	7. 体が弱いため
2. 好きではないため	8. 必要性を感じないため
3. 興味がなかったため	9. その他
4. 機会がないため	(具体的に)
5. 場所がないため	10. 特にない
6. お金がかかるため	

男女共同参画について

問16 あなたは、男女の地位は平等になっていると思いますか。(ア)~(カ)の各項目ごとにお答えください。(それぞれの項目で、1つに○)

項目	男女の地位	な平等にしている	な平等にいてない	いどちらとも	わからぬ
(ア) 家庭生活		1	2	3	4
(イ) 学校教育の場		1	2	3	4
(ウ) 職場		1	2	3	4
(エ) 社会通念や風潮		1	2	3	4
(オ) 法律や制度の上		1	2	3	4
(カ) 地域活動やPTA活動など		1	2	3	4

問17 あなたは、「ワーク・ライフ・バランス」という言葉を知っていますか。(1つに○)

1. 内容を知っていて実践している 3. 内容は知らないが聞いたことはある
 2. 内容を知っているが実践していない 4. 聞いたこともない

問18 あなたは今までに、パートナー(配偶者、交際相手、元配偶者等)から暴力行為をされたことがありますか。(1つに○)

1. 何度もあった	《問18で「1」、「2」と回答したかたにお聞きします。》 問18-1 そのことを誰かに打ち明けたり、相談したりしましたか。(1つに○)
2. 1、2度あった	
3. まったくない	
1. 相談した	
2. 相談できなかった	
3. 相談しようと思わなかった	

《次ページの問18-1-1へ》

《問18-1で「1」と回答したかたにお聞きします。》

問18-1-1 どなたに相談しましたか。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|------------------|------------------|
| 1. 家族・親戚 | 7. 配偶者暴力相談支援センター |
| 2. 友人・知人 | 8. 民生委員・人権擁護委員 |
| 3. 警察 | 9. その他公的機関 |
| 4. 医師・カウンセラー | 10. その他 |
| 5. 弁護士 | (具体的に) |
| 6. 市役所の相談窓口・電話相談 | |

健康推進について

問19 あなたの1日の歩数は、平均してどのくらいですか。(1つに○)

- | | | |
|-------------|-------------------|------------|
| 1. ほとんど歩かない | 3. 4,000～8,000歩未満 | 5. 把握していない |
| 2. 4,000歩未満 | 4. 8,000歩以上 | |

問20 あなたは、1日30分以上の運動(ウォーキングを含む)を1週間に何回行っていますか。(1つに○)

- | | | | |
|---------|----------|--------|-----------|
| 1. ほぼ毎日 | 2. 週2～4回 | 3. 週1回 | 4. 行っていない |
|---------|----------|--------|-----------|

問21 あなたは朝食を食べていますか。(1つに○)

- | | |
|--------------|---------------|
| 1. 毎日食べている | 3. ときどき食べている |
| 2. ほぼ毎日食べている | 4. ほとんど食べていない |

福祉について

問22 三郷市の福祉に関する次の事柄のうち、あなたが見たことや聞いたことがあるものすべてを選んでください。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|----------------|---------------------|
| 1. ほっとサロン・いきいき | 6. 認知症サポーター |
| 2. 地域包括支援センター | 7. 三郷市ころつこながなる手言語条例 |
| 3. 老人福祉センター | 8. 障がい者差別解消法 |
| 4. 認知症カフェ | 9. 成年後見制度 |
| 5. 地区サロン | 10. 該当するものはない |

参加と協働のまちづくりについて

※「協働」：市民と行政が互いに同じ目的意識を持ち、対等な立場で協力し、目的達成に向けて取り組んでいくこと

問23 あなたは、市民活動やボランティア活動に参加していますか。(1つに○)

※市民活動は、政治・宗教・営利を目的としない公益性を有した市民の自発的な活動とします。

- | | |
|-------------|----------------|
| 1. 参加している | 3. ほとんど参加していない |
| 2. ときどき参加する | 4. 参加していない |

《問23-2へ》

《問23で「1」、「2」と回答したかたにお聞きします。》

問23-1 あなたが参加している活動は、どのようなものですか。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|-----------------|----------------|
| 1. 町会・自治会の活動 | 6. 青少年の健全育成活動 |
| 2. 文化・芸術・スポーツ活動 | 7. 社会福祉・社会奉仕活動 |
| 3. 国際交流・協力活動 | 8. まちづくりに関する活動 |
| 4. 環境の保全を図る活動 | 9. その他 |
| 5. 生涯学習など社会教育活動 | (具体的に) |

《問23で「3」、「4」と回答したかたにお聞きします。》

問23-2 あなたが今後参加したい活動や関心のある活動は、どのようなものですか。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|-----------------|----------------|
| 1. 町会・自治会の活動 | 6. 青少年の健全育成活動 |
| 2. 文化・芸術・スポーツ活動 | 7. 社会福祉・社会奉仕活動 |
| 3. 国際交流・協力活動 | 8. まちづくりに関する活動 |
| 4. 環境の保全を図る活動 | 9. その他 |
| 5. 生涯学習など社会教育活動 | (具体的に) |
| | 10. 特にない |

水道について

問24 あなたは、どのような水を飲んでいきますか。(あてはまるものすべてに○)

- 1. 水道水をそのまま
- 2. 水道水を浄水器に通した水
- 3. ペットボトル水
(ミネラルウォーター等)
- 4. ウォーターサーバーの水 (販売水)
- 5. スーパー等の持ち帰り用の水
- 6. その他
(具体的に)

《問24で「1」と回答したかたにお聞きします。》

問24-1 水道水はおいしいと思いますか。(1つに○)

- 1. そう思う
- 2. どちらかといえばそう思う
- 3. 普通
- 4. どちらかといえばそう思わない
- 5. そう思わない

子育て支援について

問25 三郷市の子育て支援に関する次の事柄のうち、あなたが見たことや聞いたことがあるものをすべて選んでください。(あてはまるものすべてに○)

- 1. こども医療費(0歳児から中学3年生までの医療費助成)
- 2. ファミリー・サポート・センター
- 3. 子育て支援センター
- 4. 子育て支援ステーション ぽほえみ
- 5. 児童館・児童センター
- 6. 病児・病後児保育
- 7. 送迎保育(保育所)
- 8. 一時保育(保育所)
- 9. 幼稚園での預かり保育
- 10. つどいの広場
- 11. 赤やんの駅
- 12. 不妊治療費・検査費の助成
- 13. 該当するものはない

あと少しです！
ご協力をお願いします。



まちづくりについて

問26 三郷市のまちづくりに関する次の事柄のうち、あなたが見たことや聞いたことがあるものをすべて選んでください。(あてはまるものすべてに○)

- 1. 三郷料金所スマートインターチェンジのフルインター化
- 2. (仮称)三郷流山橋(江戸川に架かる流山橋の北に新設予定の橋)
- 3. 東京外環自動車道の高谷ジャンクションまでの延伸
- 4. 江戸川サイクリングロード
- 5. みさとの風ひろば(江戸川サイクリングロードにある休憩所)
- 6. ピアラシティ交流センター
- 7. 三郷市陸上競技場(セナリオハウスフイールド三郷)
- 8. 三郷緊急用船着場(江戸川船着場)
- 9. 二郷半用水緑道
- 10. 三郷スカイパーク(中川水循環センターの屋上を利用した都市公園)
- 11. 映画等のロケーション提供によるシティアプロモーション
- 12. 該当するものはない



事柄・イベント等について

問27 三郷市に関する次の事柄・イベントのうち、あなたが見たことや聞いたことがあるものをすべて選んでください。(あてはまるものすべてに○)

- 1. 三郷市マスコットキャラクター「かいちやん&つぶちやん」※イラスト参照
- 2. 「日本の読書のまち」を宣言(平成25年3月三郷市議会議決)
- 3. みさとシティアワードマラソン(かいちやん&つぶちやんマラソン)
- 4. みさとサマーフェスティバル花火大会
- 5. misato style (におどり公園でのジャズを中心とした祭典)
- 6. みさとイルミネーション(三郷駅前)
- 7. 産業フェスタ
- 8. 環境フェスタ・消費生活展
- 9. みさと船着場フェスティバル
- 10. シルバー元氣塾
- 11. 三郷市指定文化財 戸ヶ崎香取神社「三匹の獅子舞」
- 12. 三郷市指定文化財 彦成小学校講堂記念館(大正15年建築)
- 13. 三郷産米100%の日本酒「におどり」(5年連続モンドセレクション金賞受賞)
- 14. 小松菜(三郷市の特産品)
- 15. 三郷七福神めぐり
- 16. ギリシャ共和国のホストタウンになっている
- 17. その他
(上記以外でおすすめたイベントがありましたら具体的に)
- 18. 特になし

広報について

問28 あなたは、三郷市の事業やイベントの情報をどのような方法で入手していますか。
(あてはまるものすべてに○)

- 1. 広報「みさと」
- 2. 三郷市公式サイト（ホームページ）
- 3. メール配信
- 4. 三郷市広報室ツイッター
- 5. 三郷市フェイスブック
- 6. 町会・自治会などの自治組織の回覧板
- 7. パンフレット・ちらし
- 8. その他
(具体的に)

市職員の印象について

問29 あなたは、市職員についてどのような印象をお持ちですか。(ア)～(オ)の各項目
ごとにお答えください。(それぞれの項目で、1つに○)

項目	印象	よい	どちらか とえば よい	どちらか とえば 悪い	悪い	わから ない
(ア) 言葉づかい		1	2	3	4	5
(イ) 勤務態度		1	2	3	4	5
(ウ) 仕事の知識		1	2	3	4	5
(エ) 窓口等での対応		1	2	3	4	5
(オ) 身だしなみ		1	2	3	4	5

最後に、あなたご自身のことについて

F 1 あなたの性別をお答えください。(1つに○。回答は任意)

- 1. 男性
- 2. 女性

F 2 あなたの年齢はどの区分にあたりますか。(1つに○)

※平成30年7月1日現在でお答えください。

- 1. 19歳以下
- 2. 20～29歳
- 3. 30～39歳
- 4. 40～49歳
- 5. 50～59歳
- 6. 60～64歳
- 7. 65～69歳
- 8. 70歳以上

F 3 あなたのご職業は次のうちどれにあたりますか。(1つに○)

- 1. パートタイマー
 - 2. 農業(主として)
 - 3. 会社員
 - 4. 教員・公務員
 - 5. 自営業(商工業・サービス)
 - 6. 会社・団体などの役員
 - 7. 学生

- 8. 家事従事者(主婦・主夫等)
 - 9. 無職
 - 10. その他
(具体的に)

《次ページのF4へ》

《F3で、「1」、「2」、「3」、「4」、「5」、「6」、「7」と回答したかたに、F3-1～3をお聞きします。》

F 3-1 あなたの通勤・通学先はどちらですか。(1つに○)

- 1. 三郷市内
- 2. 三郷市以外の埼玉県内
- 3. 東京都内
- 4. 千葉県内
- 5. 茨城県内
- 6. その他(道府県名等)

F 3-2 通勤・通学にかかる時間(片道)はどのくらいですか。(1つに○)

- 1. かからない(自宅)
- 2. 30分未満
- 3. 30分～1時間未満
- 4. 1時間～1時間30分未満
- 5. 1時間30分～2時間未満
- 6. 2時間以上

F 3-3 通勤・通学の主な手段は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

- 1. 徒歩
- 2. 自転車・バイク
- 3. 自家用車
- 4. バス
- 5. 鉄道
- 6. その他()

《F3-3で「5」と回答したかたにお聞きします。》

F 3-4 通勤・通学に利用する駅はどちらですか。(1つに○)

※2つ以上の駅を利用している場合は、自宅から最寄りの駅1つに○をしてください。

- 1. 三郷駅
- 2. 新三郷駅
- 3. 三郷中央駅
- 4. 吉川駅
- 5. 吉川美南駅
- 6. 八潮駅
- 7. 松戸駅
- 8. 金町駅
- 9. その他()

《すべてのかたにお聞きます。》

F 4 あなたのお住まいの形態は次のどれにあたりますか。(1つに○)

- | | |
|------------------------|-------------------|
| 1. 持ち家 (一戸建て) | 5. 社宅 |
| 2. 持ち家 (分譲マンション) | 6. 間借り・下宿 |
| 3. 民間賃貸住宅 (マンション・アパート) | 7. その他
(具体的に) |
| 4. 公営賃貸住宅 | |

F 5 あなたの家族構成は次のどれにあたりますか。(1つに○)

- | | |
|------------------------|--------------------|
| 1. 単身世帯 (ひとり暮らし) | 4. 三世代世帯 (親と子と孫など) |
| 2. 一世代世帯 (夫婦のみ、兄弟姉妹のみ) | 5. その他
(具体的に) |
| 3. 二世代世帯 (親子など) | |

F 6 あなたは子育て (18歳以下) をしていますか。(1つに○)

- | | |
|-------|--------|
| 1. はい | 2. いいえ |
|-------|--------|

F 7 あなたは介護をしたり、介護を受けたりしていますか。(1つに○)

※介護認定の有無に関係なく、家族に限定しません。

- | | |
|-------|--------|
| 1. はい | 2. いいえ |
|-------|--------|

F 8 あなたは三郷市に住んでどれくらいになりますか。(1つに○)

- | | |
|-----------|-------------|
| 1. 1年未満 | 4. 5～10年未満 |
| 2. 1～3年未満 | 5. 10～20年未満 |
| 3. 3～5年未満 | 6. 20年以上 |

F 9 三郷市にお住まいになる以前 (直前) の居住地はどちらですか。(1つに○)

- | | |
|----------------|-----------------|
| 1. 生まれたときから三郷市 | 4. 千葉県内 |
| 2. 三郷市以外の埼玉県内 | 5. 茨城県内 |
| 3. 東京都内 | 6. その他 (道府県名等) |

F 10 あなたのお住まいの地区は、どの区分にあたりますか。(1つに○)

- | |
|--|
| 1. 半田、小谷堀、前間、後谷、田中新田、丹後、大広戸、彦成5丁目、早稲田 |
| 2. 仁蔵、下彦川戸、上彦川戸、上彦名、彦成1～4丁目 (みさと団地を除く)、彦音、彦糸、采女、彦川戸、新三郷ららシテイ |
| 3. 茂田井、幸房、岩野木、笹塚、南蓮沼、駒形、三郷 |
| 4. 花和田、彦江、彦沢、番匠免、上口、彦倉、彦野、泉、天神、ピアラシテイ |
| 5. 谷中、市助、谷口、新和1・2丁目、栄1・2丁目、中央 |
| 6. 新和3～5丁目、栄3～5丁目、鷹野 |
| 7. 寄巻、鎌倉、戸ヶ崎 |
| 8. 東町、高州 |
| 9. みさと団地、さつき平 |

◆ご自由にご意見をお聞かせください。◆

三郷市政全般について、ご意見、ご要望等がありましたら、どんなことでも結構ですのでお書きください。

長時間にわたりご協力いただき、ありがとうございました。
ご記入いただいた調査票は、同封の返信用封筒に入れて、
7月20日(金)までに返送ください。



第17回

三郷市市民意識調査報告書

平成31年2月

発行 / 三郷市 市民生活部 広聴室
〒341-8501 三郷市花和田648-1
電話 048 (953) 1111 (代表)